3-081-195-**02** (1)

DVDレコーダー

RDR-GX7

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この「取扱説明書」と別冊の「接続と準備」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

必ずお読みください

著作権について

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 本機は、無許諾のディスク（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- 本機は、接続するテレビの画面に合わせて画郭サイズを選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画郭表示機能を利用して再生などを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

G-GUIDEは、ジェムスター社の登録商標です。
G-CODE及びG-GUIDEシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。
ジェムスター社は、Gガイドシステムが供給する放送番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。
ジェムスター社は、Gガイドシステムに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

録画防止機能について

別売りのチューナーで番組をご視聴の場合、番組に録画防止機能（コピーガード）がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

録画について

- 本機で録画したDVD-RW（VRモード）は、通常のDVDプレーヤーでは再生できません。DVD-RW（VRモード）対応プレーヤーでのみ再生可能です。
- 大切な録画の場合には、DVD-R以外のディスクでかならず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- 万一、本機やディスクの不都合、または停電や結露などの外部要因などによって録画できなかった場合、録画内容の補償やそれに附随する損害については、当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目3番6号赤坂メディアビル
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビまたは液晶テレビなどでは残像現象が起こりやすいのでご注意ください。

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。
  （チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）
  また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

ディスクを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクを入れたまま動かすと、ディスクを傷めることがあります。

音量を調節するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないことがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

クリーニングディスクについて

市販のレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

DVDレコーダーは、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

目次

録画・予約

再生

ディスク編集

デジタルビデオカメラなどの機器とつなぐ（DV編集）

設定と調整

その他

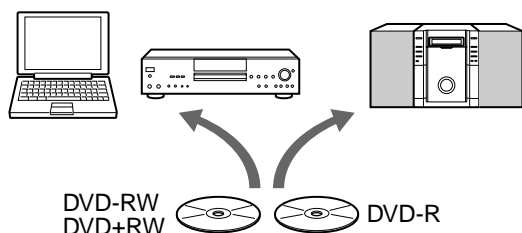
この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。

主な特長

本機は、DVDやCDの再生はもちろん、DVD-RWまたはDVD+RW、DVD-Rディスクを使った録画ができます。また、録画した番組などを編集して楽しむことができます。

録画

DVD-RW/DVD+RW/DVD-Rの録画（☞22ページ）

本機はDVD-RWとDVD+RWの2種類の書き換え可能のディスクと、1回だけ録画可能のDVD-Rディスクの録画に対応しています。テレビ番組の録画やオリジナルディスクの作成、他の機器での再生など、幅広い用途に合わせてディスクを選んでお楽しみいただけます。

番組表で録画/録画予約する（☞26ページ）

本機では、地上波放送とアナログBS放送の番組表（Gガイド）を受信できます。番組表から番組を選び、簡単に録画/録画予約したり、見たりすることができます。また、キーワードやジャンルを使って、好きな番組を簡単に探すこともできます。

番組名の自動記録/表示（☞12、60ページ）

録画/録画予約した番組（タイトル）は、自動的に番組表の番組名がタイトル名としてディスクに保存されますので、ディスクの内容を確認したり、見たいタイトルを簡単に探したりできます。また、タイトル名を変えたいときは、手動でお好きなタイトル名を入力することもできます。

多彩な録画/録画予約機能（☞22ページ）

番組表に加えて、Gコードや日時指定（タイマー）による録画予約や、予約機能のある機器（BSデジタルチューナーやデジタルCSチューナーなど）と連動するシンクロ録画といった多彩な録画/録画予約を行うことができます。

録画スペースの自動検索（☞24ページ）

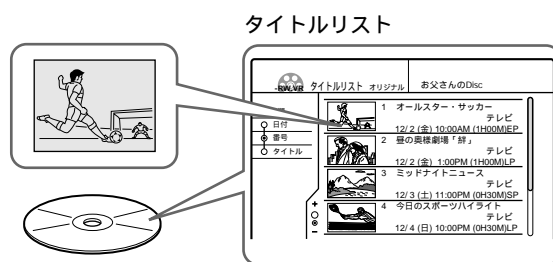
録画ボタンを押すだけで、空いている録画スペース（容量）を自動的に探し出し、録画を始めます。ビデオテープのように、あらかじめ録画するスペースを探して、頭出しする必要がありません。

録画や再生時の画質の調整（☞35、55ページ）

本機では、録画時と再生時に画質の調整をすることができます。ビデオテープの映像をディスクに録画する場合に、画質を調整して録画できます。また、市販のDVDビデオを再生するときにも、画質を調整できます。

再生

タイトルリスト画面を使った再生（☞45ページ）

ディスクに録画したタイトルを画面に一覧表示することができます（タイトルリスト）。タイトルリスト画面からタイトルを選び、再生や編集をかんたんに始めることができます。タイトル名と録画した日付のみの表示画面と、サムネイルおよび詳細情報も見られる画面とを、お好みで切り換えることができます。

TVバーチャルサラウンド（TVS）（☞54ページ）

DVDビデオのマルチチャンネル音声信号をテレビのステレオスピーカーから、臨場感のあるサラウンド音声として出力することができます。4種類のサラウンドから選ぶことができます。

ディスクの編集

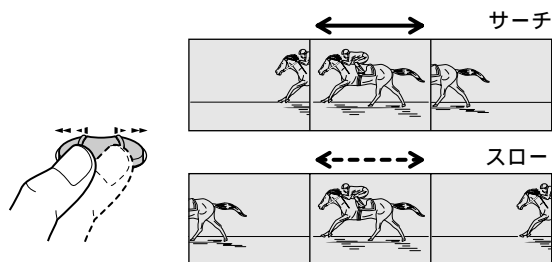
プレイリスト編集（DVD-RWのVRモードのみ）（☞65ページ）

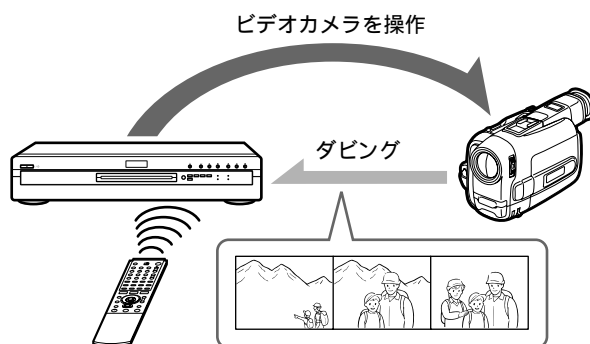
1枚のディスクで、録画したオリジナルのタイトルを編集するだけでなく、プレイリスト（編集用の映像）で多彩な編集を楽しめます。ディスクの空き容量に関係なく、複数のプレイリストのタイトルを作成することができます。プレイリストから編集すれば、オリジナルのタイトルの内容はそのままで、何回でも編集することができます。

チャプターの作成（☞64ページ）

VRモードで録画したDVD-RWディスクでは、好きな場面にチャプターマーク（区切り）を入れ、タイトルを細かくチャプターごとに分けることができます。
チャプターに分けておくと、再生や編集のときにかんたんにシーンが探せます。他の種類のディスクや記録フォーマットでは、録画中に一定間隔でチャプターマークを自動的に入れることができます。

クイックサーチ機能（☞49ページ）

指1本で早送り/早戻し再生やスロー再生、コマ送り再生の変速再生を可能にした、新しい操作方法のジョグスティックを搭載しています。再生時はもちろん、編集においても、場面を探す操作が快適に行えます。

DV編集

i.LINKケーブル1本で本機とDV/Digital8方式のデジタルビデオカメラをつなぐだけで、テープに録画した映像をDVDディスクにダビングできます。
DVDレコーダーでビデオカメラを操作して、用途に合わせて多彩なダビング・編集が快適に行えます。

ワンタッチダビング（☞75ページ）

本機のONE TOUCH DUBボタンを押すだけで、接続しているデジタルビデオカメラを自動操作し（DV/Digital8方式のテープの停止および巻戻しをしてから）、デジタルビデオカメラに入っているテープの内容を頭からまるごとDVDディスクにダビングします。

プログラムダビング（☞76ページ）

DV/Digital8方式のテープ上の必要な場面を選んでダビングできます。DVD-Rを含む本機に対応しているどの録画可能なディスクにもダビングすることができます。本機は選んだ場面と順番をプログラムとして保存しますので、いつでもプログラムを呼び出して、同じ内容のDVDディスクをコピー作成することができます。

ディスク編集ダビング（☞79ページ）

DV/Digital8方式のテープの内容をDVD-RWのVRモードのディスクにダビングすることで、テープから時間をかけて映像を探すのではなく、ディスクの映像を1つ1つのシーンに自動的に分け、簡単にシーンを選び快適に編集ができます。編集した情報はプログラムとして保存されますので、プログラムを呼び出して、お好きなDVDディスクにダビングできます。

次のページにつづく

主な特長（つづき）

場面の自動チャプター化（DVD-RWのVRモードのみ）（☞75、76、79ページ）

DVD-RWディスクにDV/Digital8方式のテープの内容をダビングしているとき、デジタルビデオカメラの撮影時に録画を開始した場所に、自動的にチャプターマークが作られます（シーン検出自動チャプター）。チャプターを使って、再生や編集をするときに、かんたんに場面を探すことができるようになります。

取扱説明書の使いかた

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った説明を主体としています。
リモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVD	DVDビデオまたはDVD+Rで使える機能
-RW VR	本機で録画したDVD-RWのVRモードで使える機能
-RW VIDEO	本機で録画したDVD-RWのビデオモードで使える機能
+RW	DVD+RWで使える機能
-R	DVD-Rで使える機能
CD	音楽用CDで使える機能

ご注意

- 取扱説明書（本書）で使われている画面イラストと実際に出る画面は異なることがあります。
- 取扱説明書（本書）でのディスクについての説明は、本機で録画したディスクに対応しています。他機で録画したディスクを本機で再生しても、説明があてはまらないことがあります。

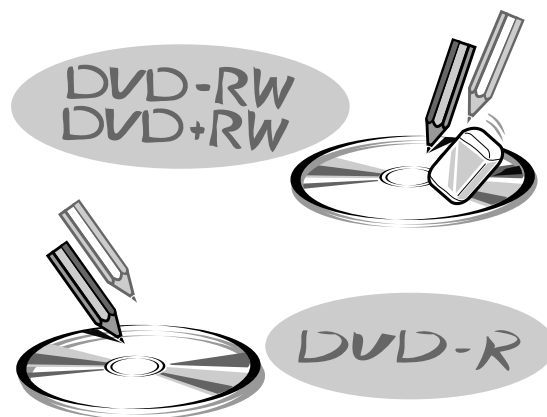
DVDレコーダーの基礎知識

「DVDディスクはどうやって録画するの？」「ビデオテープの録画とどう違うの？」ここでは、DVDディスクに録画するときの基本的な手順などについて説明します。

手順1：ディスクの種類を選ぶ

ビデオテープは60分、120分など録画時間によって種類が分かれていますが、録画用DVDディスクはそれぞれ異なる特徴によって種類が分かれています。裏表紙の早見表を参考に、用途に合ったディスクの種類をまず選んでください。
本機では以下のディスクに録画することができます。

1枚のディスクに繰り返して録画したいとき、または録画の後に編集をしたいときは、書き換えのできるDVD-RWやDVD+RWディスクを選びます。

内容を変えずに保存したい録画のときは、書き換えが不可能なDVD-Rディスクをお使いください。

ご注意

書き換え可能/不可能以外にもディスクによって違いがあります。

☛ 裏表紙の「ディスク早見表」をご覧になり、用途に適したディスクを選んでください。

手順2：ディスクを初期化して録画の準備をする

ディスクを本機に入れてください。ビデオデッキと違い、未使用のディスクを入れると、自動的に初期化を始めます。初期化は録画の前に必要な手順です。

DVD-RWのとき

DVDビデオフォーマット（ビデオモード）、DVDビデオレコーディングフォーマット（VRモード）のどちらでも初期化することができます。ビデオモードのディスクは他のDVD機器で再生することができます。VRモードのディスクはより多彩な編集機能を楽しむことができます。

DVD+RWのとき

DVD+RWビデオフォーマットで初期化されます。
この種類のディスクも様々なDVD機器で再生することができます。

DVD-Rのとき

DVDビデオフォーマットで初期化されます。
DVD-RW（ビデオモード）と同様に、他のDVD機器で再生することができます。

ご注意

- 1枚のDVD-RWディスクに2つのフォーマットを混合させることはできません。
- 初期化したDVD-RWのフォーマットを変えることはできますが、ディスクの録画内容が全て消去されます。
- DVD機器によっては、本機で録画したディスクが再生できない場合があります。

初期化が終わるとディスクの録画準備は完了です。

次のページへつづく

手順3：録画をする

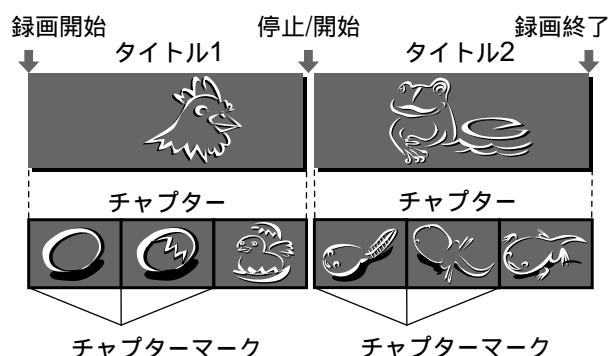
テレビ番組を録画してみましょう。番組表（Gガイド）に対応しているので、番組表を使って簡単に録画予約することができます。また、本機にはGコードなどのビデオデッキでおなじみの便利な録画予約機能もあります。さらに、本機にデジタルビデオカメラなどを接続して、ダビングや編集を楽しむこともできます。

手順4：録画した内容を再生する

メニュー画面から再生したい映像（タイトル）を一目で選び、すぐに再生できます。テープとは異なり、DVDディスクでは頭出しも素早く行えます。

タイトル、チャプターとは？

DVDの録画内容はタイトルと、タイトルをさらに細かく分けたチャプターで成り立っています（☛右図）。
本機では、録画を始めたところから録画を終えたところまでが1つのタイトルになります。1つのタイトルからチャプターを一定間隔ごとに自動的に作ることができます。また、DVD-RWのVRモードは手動で好きなように作ることもできます。

録画した映像は「タイトル」というブロックに分かれ、タイトルはさらに細かく「チャプター」というブロックに分かれます。

手順5：録画したディスクを編集する

ディスクの編集は従来のテープよりもずっと簡単にできます。本機ではDVDならではの、数多くの編集機能をお楽しみいただけます。

メニュー画面で素早くかんたんに編集

メニュー画面からタイトルや場面を選ぶだけで、編集を始めることができます。

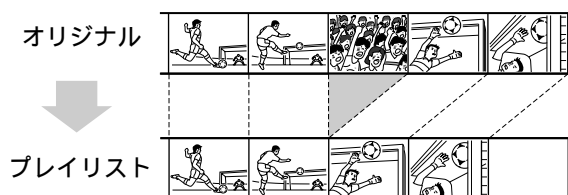
タイトルごとの保護設定

大切な録画を誤消去や重ね録りから守るのに、従来のビデオデッキではテープをまるごと保護していました。本機では録画したタイトルごとに保護することができます（プレイリストのタイトルは除く）。

多彩な編集も1枚のディスクで行える プレイリスト編集 （VRモードのDVD-RWのみ）

ビデオテープの場合、編集するには2台のビデオデッキを使って、元のテープから別のテープに必要な部分だけを時間をかけて録画しなおさなければなりませんでした。

DVDディスクでは、録画した内容を残したまま、同じディスク上に「プレイリスト」と呼ばれる編集用の映像を作ることができます。本機1台だけで、録画をしなおすこともなく、必要な場面を選ぶだけで編集が行えます。

例：複数のサッカーの試合をDVD-RWディスクのVRモードで録画した。元の試合は保存したいが、ゴールの場面を集めたダイジェストも作りたい。このようなときは、元の録画はそのままで、ゴールの場面だけを選んでプレイリストを作ることができます。

これで完成です！

他のDVD機器で再生する

完成したDVDは、他のDVD機器で再生することができます。ファイナライズという操作が必要な場合がありますので、必ず編集や録画をすべて終えてから行ってください。

DVD-RW（VRモード）のとき

VRモード再生対応の機器で再生する場合はファイナライズの必要はありませんが、機器などによっては必要な場合があります。ファイナライズをしても録画や編集ができます。

DVD+RWのとき

録画したディスクを取り出す際に、自動的にファイナライズされます。ファイナライズをしても録画や編集ができます。

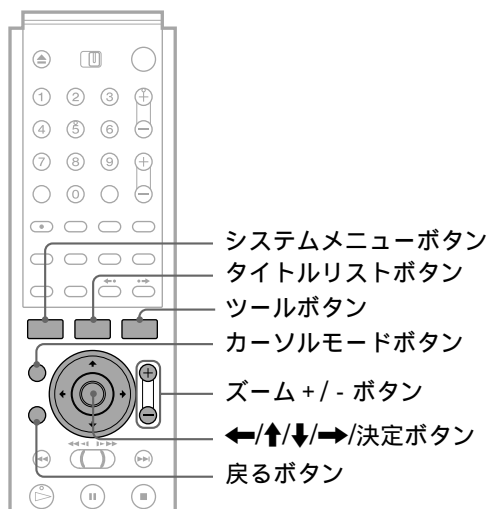
DVD-RW（ビデオモード）のとき

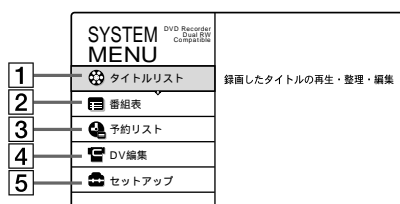
本機以外で再生するときは、ファイナライズが必要です。ファイナライズ後は録画や編集ができません。初期化を行うと、録画内容をすべて消去し、新たに録画することができます。

DVD-Rのとき

本機以外で再生するときは、ファイナライズが必要です。ファイナライズ後は録画や編集ができません。

画面表示について
（メニュー）

システムメニュー、タイトルリスト、ツール、サブメニューの4種類のメニュー画面を使ってほとんどの操作が行えます。
また、ディスク情報画面でディスクの状態を確認できます。メニュー画面からタイトルやディスクの名前を付けることもできます。

システムメニュー

システムメニューボタンを押すと、システムメニューが出ます。本機の主な機能を操作するには、まずこのメニュー画面を出します。

1 **タイトルリスト**
録画またはダビングした番組（タイトル）の一覧が出ます。再生や編集するときなどに使います（☞45、60ページ）。

2 **番組表**
番組表で録画したり番組を検索するときに使います（☞18、26ページ）。

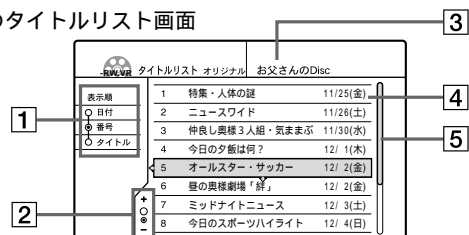
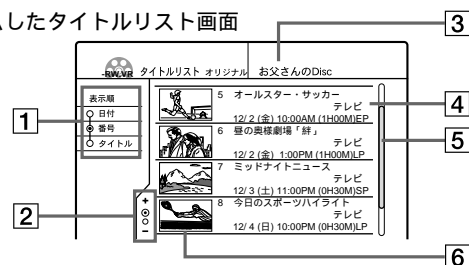
3 **予約リスト**
録画予約を確認したり、変更や削除したりするときに使います（☞33ページ）。

4 DV**編集**
DV/Digital8方式のテープの内容を編集してダビングするときに使います（☞76ページ）。

5 **セットアップ**
本機をお好みの設定にするときに使います（☞90ページ）。

タイトルリスト

タイトルリストには録画した番組（タイトル）が表示されます。
タイトルリストボタンを押すか、システムメニューから「タイトルリスト」を選ぶと、タイトルリストが出ます。録画またはダビングしたすべてのタイトルが表示されます。詳しい情報を表示する（ズーム）には、ズーム＋ボタンを押します。前の画面に戻るには、ズーム－ボタンを押します。

通常のタイトルリスト画面

ズームしたタイトルリスト画面

1 **表示順ボタン**
タイトルの表示順を変える（☞46ページ）。

2 **ズーム表示**
現在のズームの状態を示します（☞46ページ）。

3 **ディスク名**

4 **タイトル情報**
タイトル番号やタイトル名、録画日時などを表示します。
録画中のタイトルには、●が表示されます。

5 **スクロールバー**
すべてのタイトルが1ページの画面でおさまらないとき、このバーが表示されます。表示されていないタイトルを表示するには、↑/↓を押します。

6 **タイトルのサムネイル画像**
各タイトルの映像を静止画で表示します。

ご注意

- 本機で表示できない文字は、□でタイトルリストに表示されます。
- DVDビデオやCD、CD-R、CD-RWを再生するときは、タイトルリストは出ません。
- 他のDVD機器で録画したディスクはタイトルリストが出ないことがあります。

タイトルリストの種類について

ディスクの種類および記録フォーマットによって、表示されるタイトルリストは異なります。

- DVD-RW **(ビデオモード)、**DVD+RW**、**DVD-R**のとき**
  タイトルリスト（タイトル）が出て、ディスクのタイトルを表示します。

- DVD-RW **(**VR**モード)**
  タイトルリスト（オリジナル）またはタイトルリスト（プレイリスト）が出て、ディスクのオリジナルまたはプレイリストのタイトルを表示します。タイトルリスト（プレイリスト）を選ぶと、本機表示窓の「PLAYLIST」が点灯します。

DVD-RW（VRモード）のタイトルリストを切り換えるには

以下の操作をして、オリジナルまたはプレイリストのどちらかのタイトルリストを出してください。

1 **タイトルリストボタンを押す。**
タイトルリストが出ます。

2 **ツールボタンを押す。**
ツールが出ます。

3 **↑/↓で「オリジナル表示」または「プレイリスト表示」を選び、決定ボタンを押す。**
選んだタイトルリストが出ます。

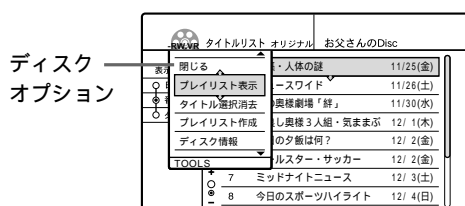
タイトルリストをページで表示するには（ページモード）

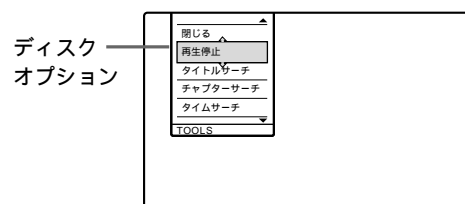
タイトルリストが出ているときに、カーソルモードボタンを押すと、ページモードになります。↑/↓を押すたびに、次/前のページにタイトルリストの表示が切り換わります。
ページモードを元の表示に戻すには、カーソルモードボタンをもう一度押します。

ご注意

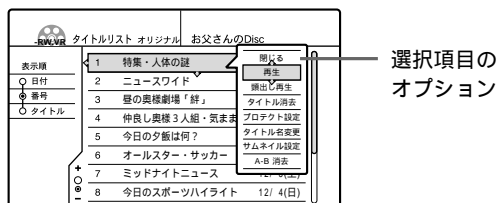
- タイトルリストを消すと、ページモードは解除されます。
- すべてのタイトルが1ページの画面でおさまるときは、ページモードは使えません。

ツール

ツールボタンを押すと、ツールが出て、使用しているディスクや本機のオプションが出ます。
例1：タイトルリストが出ているときに、ツールボタンを押したとき

例2：DVDを再生しているときに、ツールボタンを押したとき

次のページにつづく

サブメニュー

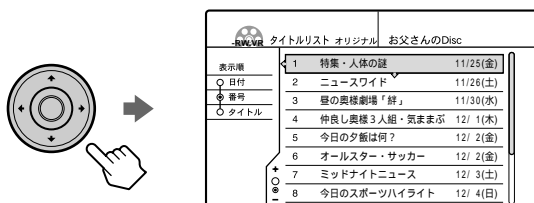
表示されているリストから項目を選び、決定ボタンを押すと、サブメニューが出ます。選んだ項目に当てはまるオプション項目がサブメニューに表示されます。

例：タイトルリスト

画面の使い方

本機の全ての操作をかんたんに行うことができます。通常、操作項目がメニュー画面に表示され、←/↑/↓/→と決定ボタンのみで操作項目を選ぶことができます。一度、この操作方法を覚えると、本機をかんたんに操作することができます。

1 **システムメニューボタンを押す。**
主な機能を操作するシステムメニューが出ます。

2 **↑/↓で機能を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ機能の画面が出ます。

例：「タイトルリスト」を選んだとき

- **ツールを使うには**
  ツールを出して、使用しているディスクのオプション機能を表示します。
  1 ツールボタンを押す。
  ツールが出ます。
  2 ↑/↓で項目を選び、決定ボタンを押す。

- **サブメニューを使うには**
  サブメニューを出して、特定のタイトルのオプション機能を表示します。
  1 ↑/↓でリストからタイトルを選び、決定ボタンを押す。
  サブメニューが出ます。
  2 ↑/↓で項目を選び、決定ボタンを押す。

3 **戻るボタンを繰り返し押して、リスト表示を消す。**

1つ前の画面に戻るには

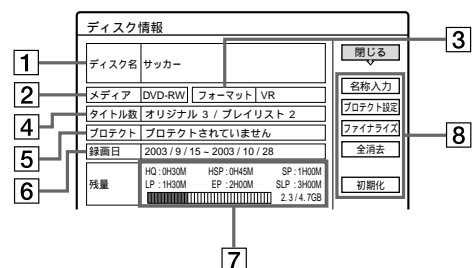
戻るボタンを押します。

ディスク情報画面

使用しているディスクの状況を確認することができます。

1 **本機にディスクが入っているときに、ツールボタンを押す。**
ツールが出ます。

2 **↑/↓で「ディスク情報」を選び、決定ボタンを押す。**
ディスク情報画面が出ます。
画面上の項目はディスクの種類や記録フォーマットによって異なります。

例：DVD-RW（VRモード）

1 **ディスク名**

2 **メディア**
ディスクの種類

3 **フォーマット**
記録フォーマットの種類（DVD-RWのみ）

4 **タイトル数**
タイトルの総数

5 **プロテクト**
ディスクが保護設定されているかどうかの表示（DVD-RWのVRモードのみ）

6 **録画日**
最近および一番古くに録画した日時

7 **残量（目安）**
- それぞれの録画モードでの連続して録画できる最長時間
- ディスクの空きを表すバー表示
- ディスクの空き容量/ディスクの総容量

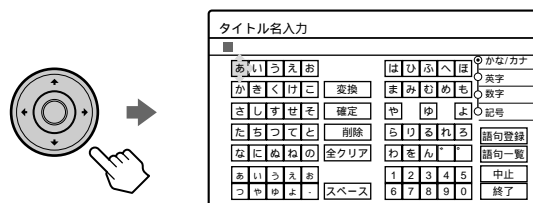
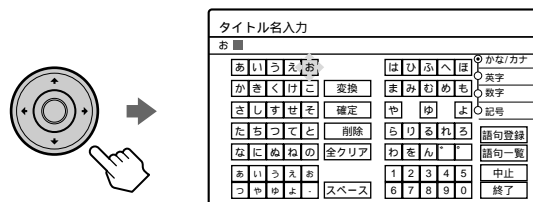
8 **ディスク設定ボタン**
- 名称入力：ディスクの名前を付けます（☞40ページ）
- プロテクト設定：ディスクを保護します（☞41ページ）
- ファイナライズ：ディスクをファイナライズします/DVDメニューが作成されます（☞39ページ）
- ファイナライズ解除：ファイナライズしたディスクをファイナライズ前の状態に戻します（DVD-RWのVRモードのみ）（☞40ページ）
- 全消去：ディスク上の全てのタイトルを消去します（☞41ページ）
- 初期化：ディスクを初期化しなおします（☞42ページ）

ご注意
- 本機では、1GBを10億バイトとして表示しています。

文字の入力のしかた

ディスク名やタイトル名、プログラム名、チャンネル名を入力することができます。それぞれ最大64文字まで入力することができますが、タイトルリストのようなメニュー画面に表示できる実際の文字数は変わることがあります。文字を入力する画面が出たら、次の操作をしてください。

1 **←/↑/↓/→で画面の右端にある、「かな/カナ」、「英字」、「数字」、「記号」のいずれかを選び、決定ボタンを押す。**
選んだ種類の文字が表示されます。
カタカナは、ひらがなを変換していくと候補として表示されます。

例：タイトル名入力

2 **←/↑/↓/→で入力する文字を選び、決定ボタンを押す。**
画面の上部に選んだ文字が表示されます。

- **ひらがなの入力を確定するには**
←/↑/↓/→で「確定」を選び、決定ボタンを押します。

- **漢字またはカタカナに変換するには**
←/↑/↓/→で「変換」を選び、決定ボタンを押します。↑/↓で漢字の候補またはカタカナを表示して、決定ボタンを押します。

- **英字を半角または全角に切り換えるには**
←/↑/↓/→で「全/半」を選び、決定ボタンを押します。↑/↓で全角文字または半角文字を切り換え、決定ボタンを押します。

- **文字の間にスペースを入れるには**
「スペース」を選びます。

次のページにつづく

画面表示について（つづき）

3 手順1～2を繰り返して、全ての文字を入力する。

入力文字表示欄

- **文字を挿入するには**
  1. **←/↑/↓/→で入力文字表示欄にカーソルを移動する。**
  2. **←/↑/↓/→で文字を挿入したい場所の右にカーソルを移動する。**
  3. **←/↑/↓/→で挿入する文字を入力する。**
     入力を確定すると文字が挿入されます。
- **文字を1文字ずつ消すには**
  1. **←/↑/↓/→で入力文字表示欄にカーソルを移動する。**
  2. **←/→で消したい文字の右にカーソルを移動する。**
  3. **←/↑/↓/→で「← 削除」を選び、決定ボタンを押す。**
- **全ての文字を消すには**
  ←/↑/↓/→で「全クリア」を選び、決定ボタンを押す。

4 ←/↑/↓/→で「終了」を選び、決定ボタンを押す。

文字入力が終了し、元の画面に戻ります。

連文節の漢字変換について

連文節の文章を漢字変換すると、まず最初の1文節だけ漢字変換されます。文節の区切りを変更するときは次のように操作します。

1「文字の入力のしかた」の手順**2**で文節の文字を入力する。
2 ←/↑/↓/→で「変換」を選び、決定ボタンを押す。
3 ←/→で文節の長さを調整する。
選んだ長さの文節で自動的に漢字変換します。
いくつかの漢字の候補がある場合は、↑/↓で選び、決定ボタンを押します。次の文節が自動的に変換されます。

文字入力を中止するには

←/↑/↓/→で「中止」を選び、決定ボタンを押します。または、戻るボタンを押します。入力文字表示欄の文字は入力されずに、元の画面に戻ります。

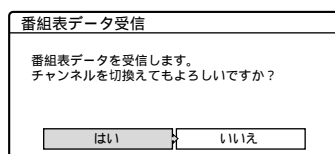
ご注意

- 記号の中には半角表示できないものもあります。
- 文字が確定されていないときは、文字入力表示欄カーソルを動かすことはできません。

番組表について

地上波やBSアナログ放送の番組表を表示して、番組の検索や録画をすることができます。番組表の録画については☞26ページをご覧ください。

番組表（Gガイド）とは

番組表（Gガイド）とは、番組表のデータを送信している放送局（ホスト局）（☞105ページ）からデータを受信して、新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている番組表をテレビ画面に表示したものです。本機は、1日に数回ホスト局からこのデータを受信して、更新された番組表を表示します。
番組表データの受信時には、ホスト局にチャンネルが切り換わります。チャンネルが切り換わる前に、チャンネルを切り換えるかどうか確認するメッセージが表示されますので、ご使用の状況に合わせて番組表のデータを受信しないように選ぶことができます。番組表データを受信しないと、その回の番組表が更新されませんが、次のデータ受信時に更新を行います。

ちょっと一言

- チャンネルをとばすように設定したチャンネルは（☞別冊「接続と準備」）、番組表に表示されません。
- CATV独自の番組は、番組表には表示されません。ただし、CATVのVHF/UHF放送を本機で受信しているときは、地上波の番組表を受信できる場合があります。ご利用のCATV局で番組表が受信できるかどうかについては、CATV局にお問い合わせください。
- BSデジタル、CS放送の番組は、番組表には表示されません。CATV受信している場合でも表示されません。
- 放送大学の番組は、番組表には表示されません。

番組表を受信できないときは

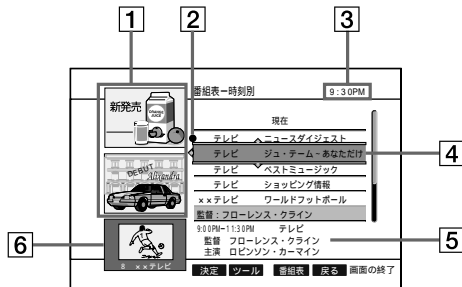
番組表のデータが受信できない、または更新されないときは、以下の原因が考えられます。必要に応じて設定や接続などを正しくやりなおしてください。

原因	設定/接続
アンテナ線や電源コードを正しくつないでいない。	アンテナ線や電源コードを正しくつなぎなおす（☞別冊「接続と準備」の「準備**2**：テレビのアンテナをつなぐ」、☞別冊「接続と準備」の「準備**6**：電源コードをつなぐ」）。
地域番号や受信チャンネルが正しく設定されていない。	☞別冊「接続と準備」の「準備**9**：チャンネルの設定を確認する」でチャンネルの設定を確認し、正しく設定されていないときは、セットアップ画面から「かんたん設定」をやりなおす（☞別冊「接続と準備」）。
時刻が正しく設定されていない。	セットアップ画面の「基本設定」から「時刻設定」をやりなおす（☞別冊「接続と準備」）。
かんたん設定をしてから1日程度たっていない。	番組表のデータを受信するまで1日程度かかる場合がある。1日程度たってから、番組表の受信を確認する。
番組表を受信する放送局または時刻を手動で変更した。	番組表を受信する放送局と時刻の変更は、放送局などの都合で変更となったとき以外は行わない。セットアップ画面から「かんたん設定」をやりなおす（☞別冊「接続と準備」）。

ご注意

- 設定や接続をやりなおしてから番組表を正しく受信するまでに1日程度かかることがあります。
- シンクロ録画予約待機中（☞37ページ）も、番組表の受信・更新ができません。
- 番組表のデータの受信時刻と予約録画や録画、ディスクの再生が重なったときも、番組表の受信・更新ができません。

次のページにつづく

番組表の使いかた

1 **パネル広告**
広告が表示されます。パネル広告を選ぶと、説明が表示される広告もあります。

2 **●（赤丸）**
録画中の番組に表示されます。

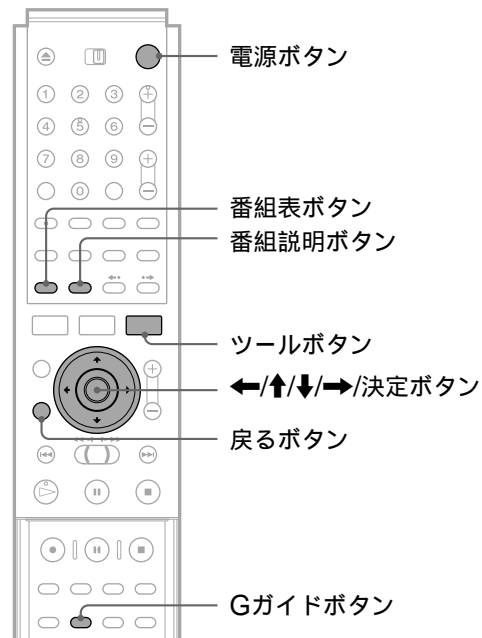
（赤）
録画予約が設定されている番組に表示されます。

（グレー）
一部分に録画予約が設定されている番組に表示されます。

3 **現在時刻**

4 **番組名とテキスト広告**
放送予定の番組を表示します。放送局の広告が表示される場合もあります。

5 **番組説明**
カーソルで選んでいる番組の説明が表示されます。

6 **番組画面**
番組表を表示するときに選んでいた放送局の番組の画面です。

1 **電源ボタンを押す。**

2 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

3 **番組表ボタンを押す。**
番組表が出ます。

4 **ツールボタンを押す。**
ツールが出ます。

5 **↑/↓で番組表一覧を選び、決定ボタンを押す。**

6 **↑/↓で番組表の種類を選び、決定ボタンを押す。**

7 **←/↑/↓/→で番組を選び、決定ボタンを押す。**
サブメニューが出ます。
番組を見るときは、「選局」を選んでください。
録画予約するには、「録画予約」を選んでください。

番組の詳しい情報を見るには

↑/↓で情報を見たい番組を選び、番組説明ボタンを押します。番組の詳しい情報が表示されます。↑/↓で画面がスクロールします。戻るボタンを押すと、元の画面に戻ります。

番組表の種類

番組表には次の種類があります。

チャンネル別	チャンネル別に約2日分のすべての番組を表示します。一部の番組は約8日分まで表示されます。
時刻別	時刻別に約2日分の番組を表示します。放送時間が30分以下の番組は表示されないことがあります。
ジャンル別	放送局が指定したスポーツ、ドラマなどのジャンル別に約8日分の番組を表示します。ジャンルが設定されていない番組は表示されません。
トピックス	放送局からのお知らせや便利な情報などを表示します。記載される内容は定期的に変更されます。

ちょっと一言

- システムメニューを使って、番組表を出すこともできます。
- Gガイドボタンを押しても番組表を出せます（時刻別番組表が最初に出ます）。
- 放送が始まっていない番組を選んでも、選んだ番組のチャンネルが選局されます。

ご注意

- 番組表データの受信中は、番組表は表示されません。
- 詳しい情報のない番組もあります。
- 番組表が正しく受信されていても、放送局の都合により番組が変更されることがあります。

キーワードやジャンルを使って番組を探す

キーワードやジャンルを使った検索で、項目が一致する番組の一覧を見ることができます。ここでは、例として「午後8時に放送されるユニバーサルサッカー」の番組を検索してみます。

1 **「番組表の使いかた」（☞18ページ）の手順1〜3の操作をする。**

番組表が出ます。

例：時刻別

2 **ツールボタンを押す。**

ツールが出ます。

3 **↑/↓で「番組検索」を選び、決定ボタンを押す。**

検索条件設定画面が出ます。

4 **↑/↓で「時間帯」を選び、決定ボタンを押す。**

時間帯の一覧が出ます。

5 **↑/↓で検索する時間帯を選び、決定ボタンを押す。**

6 **↑/↓で「キーワード」または「ジャンル」を選び、決定ボタンを押す。**

ここでは「キーワード」を選びます。キーワード一覧が出ます。

5個すべてをキーワード、またはジャンルに設定することもできます。

ジャンルを使って検索するには

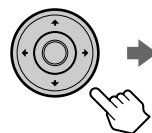
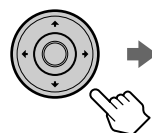
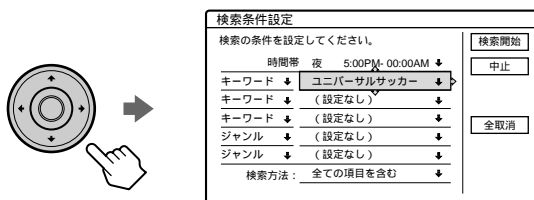
「ジャンル」を選びます。

ジャンルの一覧が出ます。

↑/↓でジャンルを選び、決定ボタンを押します。続けて、手順**8**以降を行ってください。

次のページにつづく

番組表について（つづき）

7 ↑/↓で「ユニバーサルサッカー」を選び、決定ボタンを押す。

検索条件設定
検索の条件を設定してください。
時間帯	夜　5:00PM- 00:00AM	
キーワード	ユニバーサルサッカー	検索開始
キーワード	（設定なし）	中止
キーワード	（設定なし）	
ジャンル	（設定なし）	全取消
ジャンル	（設定なし）	
検索方法：	全ての項目を含む	

キーワード一覧にないときは

お買い上げ時には、キーワードは一覧表示されません。下記のいずれかを行ってください。

登録語句から探す

1. **↑/↓で「登録語句」を選び、決定ボタンを押す。**
2. **←/↑/↓/→で検索するキーワードを選び、決定ボタンを押す。**
   お買い上げ時には、登録語句はありません。あらかじめ登録しておくことをおすすめします（☞21ページ）。語句は番組表の情報欄から文字を選んで登録します。

語句を入力して探す

1. **↑/↓で「文字入力」を選び、決定ボタンを押す。**
2. **検索する文字を入力する。**
   文字の入力のしかたについては、「文字の入力のしかた」（☞15ページ）をご覧ください。
3. **←/↑/↓/→で「語句登録」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「終了」を選び、決定ボタンを押す。**

8 ↑/↓で「検索方法」を選び、決定ボタンを押す。

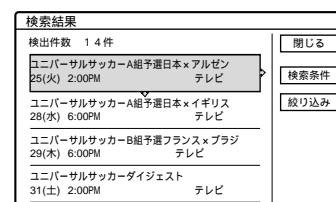
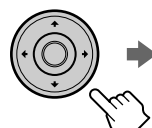
検索方法の一覧が出ます。

9 ↑/↓で検索方法を選び、決定ボタンを押す。

検索条件をすべて取消す場合は、←/↑/↓/→で「全取消」を選び、決定ボタンを押してください。

10 ←/↑/↓/→で「検索開始」を選び、決定ボタンを押す。

検索結果画面が出ます。

検索結果
検出件数　１４件
ユニバーサルサッカーA組予選日本×アルゼン 25(火) 2:00PM ○○テレビ
ユニバーサルサッカーA組予選日本×イギリス 28(水) 6:00PM ○○テレビ
ユニバーサルサッカーB組予選フランス×ブラジ 29(木) 6:00PM テレビ○○
ユニバーサルサッカーダイジェスト 31(土) 2:00PM ○○テレビ
閉じる
検索条件
絞り込み

11 ↑/↓で検索結果から見たい番組を選び、決定ボタンを押す。

サブメニューが出ます。

12 番組を見るとき

↑/↓で「選局」を選び、決定ボタンを押す。

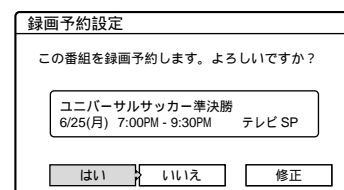
番組が表示されます。

ちょっと一言

- 放送が始まっていない番組を選んでも、選んだ番組のチャンネルが選局されます。

番組を録画/録画予約するとき

1. **↑/↓で「録画予約」を選び、決定ボタンを押す。**
   録画予約設定画面が出ます。

録画予約設定
この番組を録画予約します。よろしいですか？
ユニバーサルサッカー準決勝
6/25(月) 7:00PM - 9:30PM ○○テレビ SP
はい　いいえ　修正

2. **←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**
   「録画予約手続きが完了しました」が表示されます。
   選んだ番組が放送中の番組であれば、録画が始まります。

検索条件を変更する・追加するには

検索結果画面から、➡で「絞り込み」を選び、決定ボタンを押します。「キーワード」または「ジャンル」の検索項目を変更または追加してから検索を実行します（「キーワードやジャンルを使って番組を探す」（☞19ページ）の手順**6**〜**11**を行います）。
キーワードやジャンルをすべて変更して検索したいときは、「全取消」を選び、決定ボタンを押してください。

検索条件を確認するには

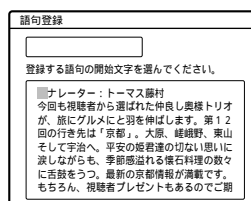
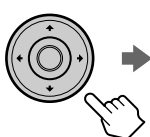
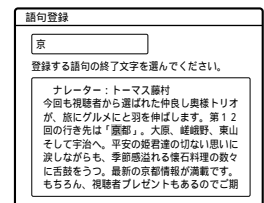
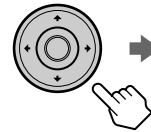
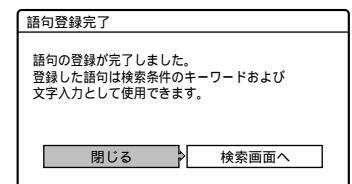
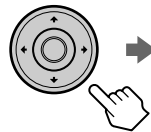
検索結果画面から、➡で「検索条件」を選び、決定ボタンを押します。検索設定確認画面が出ます。

語句を登録する

番組表の情報欄の文字を使って、キーワード検索に使用する語句を登録します。入力できる文字数は、最大全角10文字、半角20文字までです。

1 **「番組表の使いかた」の手順1〜5の操作をして、「時刻別」または「チャンネル別」、「ジャンル別」を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ番組表が出ます。

2 **⬆/⬇で登録する語句を含む番組を選び、決定ボタンを押す。**
サブメニューが出ます。

3 **⬆/⬇で「語句登録」を選び、決定ボタンを押す。**
語句登録画面が出ます。

4 **⬅/⬆/⬇/➡で番組情報欄の中から登録するキーワードの始点を選び、決定ボタンを押す。**

5 **⬅/⬆/⬇/➡で登録するキーワードの終点を選び、決定ボタンを押す。**
語句登録完了画面が出ます。

6 **⬅/➡で「閉じる」を選び、決定ボタンを押す。**

ちょっと一言

- 「検索画面へ」を選ぶと検索条件設定画面に戻り、引き続き番組を検索できます。

録画・予約

ここでは、テレビ画面に表示される番組表を使ってできる録画や予約、また番組表を使わない録画や予約について説明します。
番組表を使うと、チャンネル別、時刻別、ジャンル別に番組を表示したり、出演者やあらすじなどの詳しい番組情報を見ることもできます。

番組表（Gガイド）についてのご注意

- 番組表のデータは、特定の放送局から1日に数回送信されます。このため、☞別冊「接続と準備」の「手順**8**：かんたん設定をする」が終わってから番組表の受信が終了するまでに、1日程度かかることがあります。番組表の受信・更新中は、番組表は空欄になります。
- お住まいの地域や電波状況によっては、番組表を受信できない場合があります。また、気象条件などにより、番組表を受信・更新できないこともあります。これらの場合、番組表は空欄になります。
- 本機の日付と時刻が正しく設定されていないと、番組表を受信・更新できません。
- 放送局側の都合により、番組の内容や放送時間が変更になることがあります。本機での予約は、放送局側の都合による変更には対応できません。
- 引越しした場合は、受信する放送局が同じであっても、最適な番組表のために必ず☞別冊「接続と準備」の「手順**8**：かんたん設定をする」をやりなおしてください。
- 番組表の受信中は、チャンネルを切り換えないでください。番組表が正しく受信できなくなります。
- 番組表の送信については、☞105ページをご覧ください。

録画・予約の前に必ずお読みください

本機ではいろいろな種類のディスクに録画できます。録画する前に以下をお読みになり、目的に合ったディスクを選んでください。

録画できるディスクについて

本機では、DVD-RW、DVD+RW、DVD-Rディスクを録画に使用します。
本機では以下のディスクで録画できます。

ディスクの種類		
DVD-RW*1	Ver.1.1 Ver.1.1 CPRM対応*2	
DVD+RW*1		
DVD-R*1	Ver.2.0	

*1 DVD-RW、DVD+RW、DVD-Rロゴは商標です。
*2 CPRM（Content Protection for Recodable Media）とは、著作権を保護する為に、映像素材を暗号化する技術です。

DVD-RWおよびDVD+RWは、録画を繰り返し行うことができます。DVD-Rは、録画を繰り返し行うことはできません。一度だけ録画可能です。
本機では次のディスクで録画することはできません。
- 8cmディスク
- DVD+R
- DVD-RW（Ver.1.0）
- DVD-RAM
- CD-R/CD-RW

ご注意

- 録画できる高速記録対応ディスクは以下の通りです。
  – DVD-RWは2倍速対応ディスク（Revision 1.0）まで
  – DVD-Rは4倍速対応ディスク（Revision 1.0）まで
  – DVD+RWは4倍速対応ディスクまで
- 高速記録対応ディスクでも録画にかかる時間は短くなりません。なお、1倍速に対応していないディスクは本機では録画できません。
- 「1回だけ録画可能」の映像を録画するときは、CPRM対応のディスクをお使いください（☞24ページ）。

- パッケージに「ビデオ用」または「for Video」と記載のあるディスクをお求めください。
- 他のDVD機器で録画したDVD-RやDVD-RW（ビデオモード）に新たに録画を追加できません。
- 他のDVD機器で録画したDVD+RWに新たに録画を追加できないことがあります。新たに録画を追加するときは、本機でDVDメニューが書き換えられることがあるのでご注意ください。本機で読み込みができないパソコンで記録したデータが含まれている場合、データが消去されることがあります。

ディスクの種類と記録フォーマット

ディスクの種類と記録フォーマット（DVD-RWのビデオモードとVRモード）によって、機能が異なります。以下の表を参考にして、ディスクの種類を選んでください。
未使用のディスクを本機に入れると、自動的にディスクの初期化が始まります。DVD-RWのディスクは、新しいディスクを入れるたびにVRモードかビデオモードを選択します。セットアップ画面の「オプション」の「ディスク初期化」であらかじめどちらかのモードを設定しておくこともできます（95ページ）。

ディスクの種類による違い

詳しくは、カッコ内のページをご覧ください。

ディスクの種類	特徴
-RW VIDEO +RW -R	- 音声多重放送の番組を録画するとき、1つの音声のみ録画します（95ページ）。 - 一定の間隔で、自動的にチャプターを作成します（93ページ）。 - かんたんな編集ができます（タイトルの消去/タイトル名の変更、60ページ）。
-RW VR	- 音声多重放送の番組を二カ国語とも録画します。 - チャプターを手動または自動的に作成します（64ページ）。 - プレイリストを作成して、いろいろな編集ができます（65ページ）。 - CPRM対応のディスクで、「1回だけ録画可能」な映像を録画します（24ページ）。

ご注意
- 録画したディスクを他のDVD機器で再生するには、ディスクをファイナライズする必要があります。ファイナライズについて詳しくは、39ページをご覧ください。
- 1枚のDVD-RWディスクに2種類の記録フォーマットを設定することはできません。ディスクの記録フォーマットを変更するには、ディスクを初期化してください（42ページ）。ただし、それまで録画した内容はすべて消去されますのでご注意ください。

録画モードについて

録画モードボタンを繰り返し押して、録画モードを選ぶことができます。録画できる時間や画質は以下の6種類です。録画時間が短いほど、高画質での録画が可能です。

録画モード	録画可能時間（分）
HQ	60
HSP	90
SP（標準モード）	120
LP	180
EP	240
SLP	360

ご注意
- ディスク1枚の録画可能時間は目安としてご覧ください。
- 以下のようなときに録画時間が異なることがあります。
  – 受信状態の悪いテレビ放送など録画する画質が悪い場合
  – 編集されたディスクに追加して録画する場合
  – 静止画像や音声のみを録画し続けた場合

録画できない映像について

「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像は、録画することができません（DVDビデオ、CS放送のペイ・パー・ビュー、BSデジタル放送など）。
録画中の映像の途中から「録画禁止」のコピー制御信号が入る場合、その時点で録画は終了します。
この様な場合は画面上にメッセージが出ます。

次のページにつづく

録画・予約の前に必ずお読みください（つづき）

コピー制御信号が含まれている映像について

コピー制御信号として「録画自由」「1回だけ録画可能」「録画禁止」の3種類のいずれか1つが含まれている場合があります。本機では著作権保護を目的として、これらのコピー制御信号に対して以下のように動作します。
本機で「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれる映像を録画するには、DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応のディスクを使用して、VRモードで録画してください。

本機での録画の可否

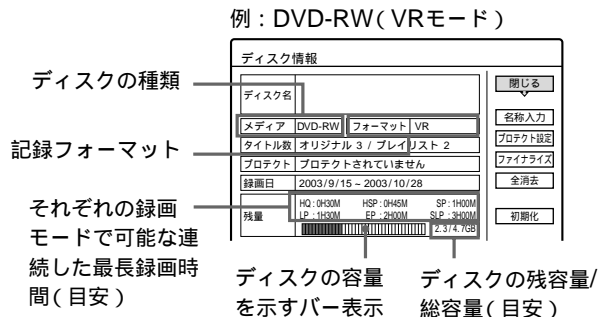
	「録画自由」	「1回だけ録画可能」	「録画禁止」
DVD-RW Ver.1.1	○	×	×
DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応			
VRモード	○	○*	×
ビデオモード	○	×	×
DVD+RW	○	×	×
DVD-R Ver.2.0	○	×	×

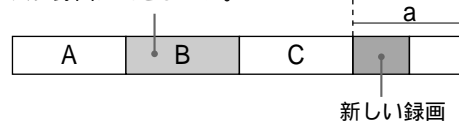
* 「1回だけ録画可能」のコピー制御信号を含むタイトルを録画したことのあるディスクは、CPRM対応の機器でのみ再生が可能です。

ディスクの残量を見る（ディスク情報）

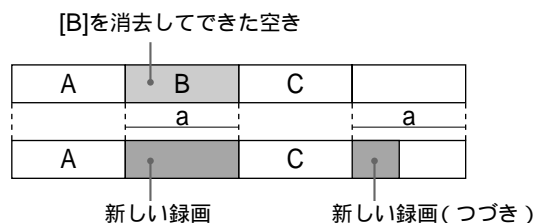
録画済みのディスクを使用して新たに録画する場合、録画するのに充分な空きがあることをあらかじめ確認してください。DVD-RWやDVD+RWでは、タイトルを消去してディスクの空きを作ることができます。

1 **本機にディスクを入れて、ツールボタンを押す。**
ツールが出ます。

2 **↑/↓で「ディスク情報」を選び、決定ボタンを押す。**
ディスク情報画面が出ます。
ディスクの種類や記録フォーマットによって、画面に表示される項目は異なります。
表示されるディスクの空き容量と実際に録画できる時間は異なることがあります。

-R ディスクに番組を録画するとき

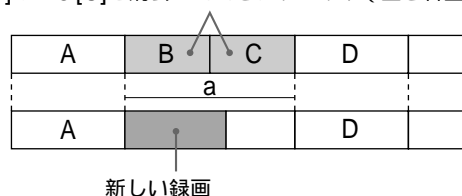
最後の部分[a]にのみ新たに録画することができます。録画するのに充分な空き容量があることをご確認ください。

DVD-Rでは、ディスクの空きを作ることはできません。タイトルを消去しても、タイトルリストのタイトル名が隠れているだけで、ディスクの空き容量は増えません。

-RW VR ディスクに番組を録画するとき

ディスクの空き[a]に録画されます。録画するのに充分な空き容量があることを確認してください。

ディスクの空きを作るには

DVD-RWのVRモードでは、タイトルを消去した分だけ空き容量を作ることができ、消去して空いたスペースに、新たに録画をします。
プレイリストに使用しているオリジナルのタイトルを消去することはできません。
1つのタイトルを消去するには、☞61ページをご覧ください。
複数のタイトルを消去するには、☞62ページをご覧ください。

-RW VIDEO +RW ディスクに番組を録画するとき

最も大きな空きのあるブロック（ひとまとまりの空き容量）[a]を探して録画します。そのブロックが録画するのに充分な容量か確認してください。

ディスクの空きを作るには（ディスクマップ）

DVD-RWのビデオモード、DVD+RWのみディスクマップ画面でディスクの状態を確認し、タイトルを消去して空きを作ることができます。

1 本機にディスクを入れて、タイトルリストボタンを押す。
2 ツールボタンを押す。
ツールが出ます。
3 ↑/↓でツールから「ディスクマップ」を選び、決定ボタンを押す。
ディスクマップ画面が出ます。
- **ディスクの空きを確認するには**
←/→で空いてる場所を選びます。
空き容量と、それぞれの録画モードでの最長の録画時間が表示されます。

- **ディスクマップを使って、タイトル消去によるディスクの空きを作るには**

1 ←/→で消去したいタイトルを選び、決定ボタンを押す。
タイトルが選ばれます。

選択を取り消すには、もう一度決定ボタンを押します。
複数のタイトルを消去するには、手順**1**を繰り返します。

2 ↓で「消去」を選び、決定ボタンを押す。
確認画面が出ます。

3 ←/→で「確定」を選ぶ。
選んだすべてのタイトルが消去され、ディスクに空きができます。「消去」を取り消すには、「再選択」を選びます。

4 戻るボタンを押してディスクマップ画面を消す。

ちょっと一言

- 一度にプロテクト設定（保護）をしていないタイトルを全て消去することができます（☞41ページ）。

ご注意

- タイトルを消去すると、ディスクの種類や記録フォーマットによってタイトルの番号が変わることがあります。
- ファイナライズの後は、DVD-RWのビデオモードまたはDVD-Rに録画を追加することができません。
- 再生または録画中にタイトルを消去することはできません。

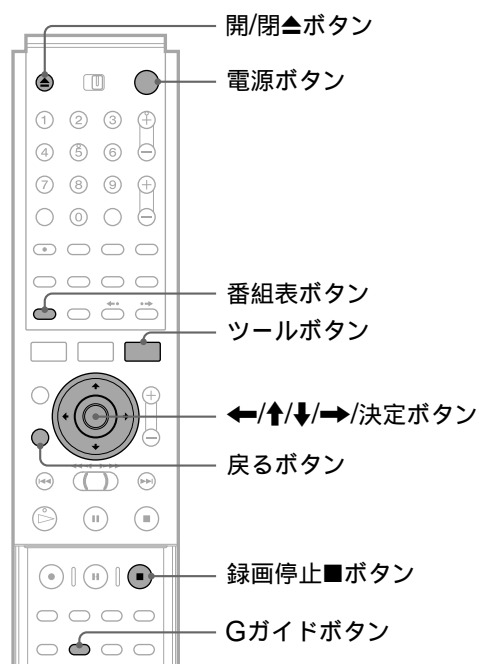
録画・予約する

いろいろな方法でテレビ番組を録画・予約できます。

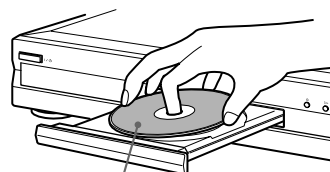
録画を始める前に…
- ディスクに空き時間があるか確認してください（☞24ページ）。
- DVD-RW（ビデオモード）、DVD-R、DVD+RWでは音声多重放送を記録できません。音声多重放送の番組を録画するときは、音声の種類（「主音声」か「副音声」）を設定してください（☞95ページ）。
- 録画の画質を調整してください（☞35ページ）。
- 本機では電源の入/切にかかわらず予約録画が始まります。また録画中に電源を切っても、録画に影響はありません。

番組表で録画・予約する

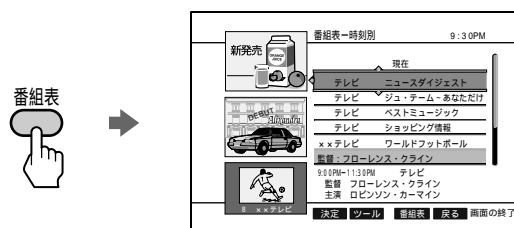
-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

ここでは、番組表を表示させ、番組表から番組を選んで予約するしかたについて説明します。各番組表の見かたについては「番組表について」（☞17ページ）をご覧ください。
番組表で予約したい番組を選ぶと、選んだ番組の日時と放送局を自動的に予約設定します。
Gコード（☞30ページ）、タイマー予約（☞31ページ）と合わせて30番組まで予約設定することができます。

1　電源ボタンを押す。
本機の電源が入り、I/⏻ランプが緑に点灯します。

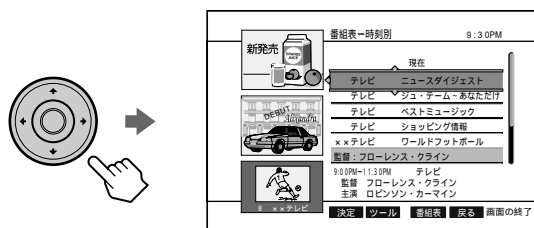
2　テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。
アンプを使うときは
アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

3　開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。

録画したい面を下に

4　開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。
本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVDディスクを入れた場合、自動的に初期化されます。DVD-RWを使うときは、記録フォーマットを選んでください。

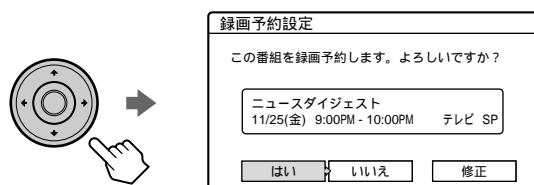
5　番組表ボタンを押す。
番組表が出ます。

別の番組表を表示するには
「番組表の使いかた」（☞18ページ）の手順**4**〜**7**を操作して番組表を選びます。

番組表が出ないときは
「番組表を受信できないときは」（☞17ページ）をご覧になり、設定や接続を確認してください。

6 **←/↑/↓/→で録画したい番組を選ぶ。**

7 **決定ボタンを押す。**

サブメニューが出ます。

8 **↑/↓で「録画予約」を選び、決定ボタンを押す。**

予約内容（番組名、日付、録画開始・終了時刻、放送局名またはチャンネル番号、録画モード）が出ます。

9 **←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

予約設定完了画面が出て、自動的に番組表に戻ります。
予約した番組は、番組表に⏻が表示されます。
TIMER RECランプが点灯し、本機が予約待機になります。
録画が始まると●（赤丸）が表示されます。
本体のREC●ランプは、録画中は赤色に点灯します。

録画モード、毎回録画、延長時間を設定するには

←/→で「修正」を選び、録画モード、毎回録画、延長時間（番組の終了時間を遅らせる）を設定します。毎回録画では、連続ドラマなど毎週や毎日放送される番組を毎（水）、月-金など毎回録画するように設定できます。

10 **戻るボタンを押して番組表を消す。**

録画モードの調整

空き容量の足りないディスクを入れていると、本機は録画できるように自動的に録画モードを選びます。この機能はお買い上げ時に設定されています。

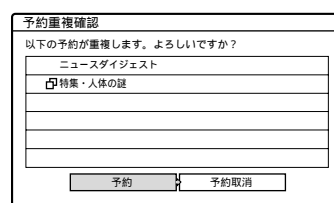
この機能を使わないようにするには

1. 予約リスト（☞33ページ）が出ているときに、ツールボタンを押す。
2. ↑/↓で「録画モード自動調整」を選ぶ。
3. ←/→で「切」を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- この機能は録画予約のときのみ働きます。クイックタイマーやシンクロ録画では働きません。

予約が重なったときは

次の画面が出ます。

設定をそのままにしておくときは、←/→で「予約」を選び、決定ボタンを押します。予約の優先順位にしたがって録画します（☞38ページ）。
設定を解除または変更するときは、「予約取消」を選びます。

現在放送中の番組を録画するには

番組表から現在放送中の番組を選んで、手順**7**〜**10**の操作を行うとすぐに録画が始まります。番組が終了すると自動的に録画が停止します。

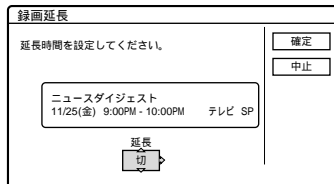
録画中に裏番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

次のページにつづく

予約録画中に録画時間を延ばすには

予約録画中に、録画時間を延ばすことができます。

1 録画中にツールボタンを押す。
2 ↑/↓で「録画延長」を選び、決定ボタンを押す。
次の画面が出ます。

3 ↑/↓で時間を選び、決定ボタンを押す。
10分ごとに録画時間を延ばすことができます。
延ばせる時間は最長60分です。
4 ←/↑/↓/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

ちょっと一言

- 予約リスト（☞33ページ）のサブメニューからも「録画延長」を設定することができます。

予約の設定を途中で取り消すには

戻るボタンを押します。番組表に戻ります。

番組の詳しい情報を見るには

☞18ページをご覧ください。

予約を確認する・変更する・取り消すには

☞33ページをご覧ください。

番組表から予約を変更するには

1 番組表を出す。
2 ←/↑/↓/→で予約を設定した番組（◴（赤）または◴（グレー））を選び、決定ボタンを押す。
サブメニューが出ます。
3 ↑/↓で「予約修正」を選び、決定ボタンを押す。
録画予約修正画面が出ます。
4 ←/↑/↓/→で設定を変更する。
設定の変更を中止するときは、「中止」を選びます。
5 ←/↑/↓/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

番組表から予約を取り消すには

1 番組表を出す。
2 ←/↑/↓/→で予約を設定した番組（◴（赤）または◴（グレー））を選び、決定ボタンを押す。
サブメニューが出ます。
3 ↑/↓で「予約消去」を選び、決定ボタンを押す。
録画予約消去画面が出ます。
4 ←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。
予約消去を中止するには、「いいえ」を選びます。

予約録画中に録画を止めるには

録画停止■ボタンを押します。■ボタンを押しても録画停止しません。録画停止するまでに数秒かかることがありますのでご注意ください。

ちょっと一言

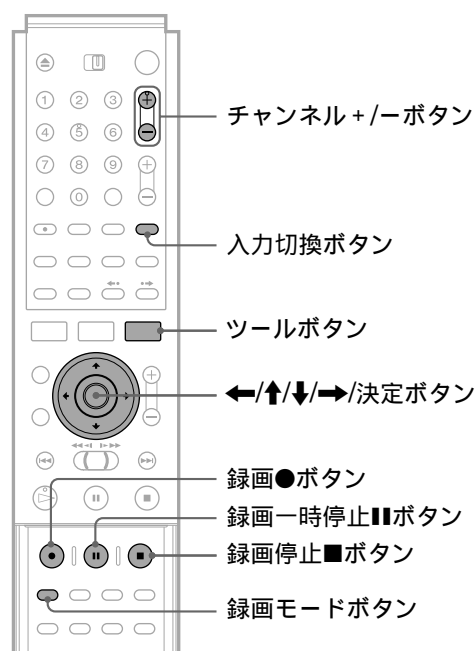
- 手順**8**でサブメニューの「選局」を選ぶと、手順**6**で選択した番組の放送局の現在放送中の画面に切り換わります。番組が放送中のときは、選択した番組を見ることができます。
- 録画したタイトルは、タイトルリストから再生できます（☞45ページ）。
- 番組表に表示されない先の日時の番組は、タイマーで予約できます（☞31ページ）。
- システムメニューを使って、番組表を出すこともできます。
- Gガイドボタンを押しても番組表を出せます（時刻別番組表が最初に出ます）。
- キーワードやジャンルなどを指定して番組を検索することができます（☞19ページ）。
- 本機が予約待機になっていても、本機を使うことができます。録画予約が始まる5分前に、テレビ画面にメッセージが出ます。

ご注意

- 番組表での予約は、番組の放送時間の変更には対応できません。したがって、スポーツ中継の延長などで放送時間が変わっても、設定された時間どおりに録画されます。延長が予想される場合には、録画時間をあらかじめ延長しておくことをおすすめします（☞27ページ）。
- 放送局側の都合により、番組の内容が変更になることがあります。
- 予約があっても、優先順位の高い番組（☞38ページ）を録画中は予約録画は実行されません。
- 「毎日」などの毎回録画を設定しても、優先順位の高い予約が重なっている日は録画が実行されません。予約リスト（☞33ページ）のタイトルに、予約が重なっていることをお知らせする⧉がつきますので、優先順位を確認してください。
- 画面に「録画手続きが完了しました。このディスクで録画できない予約があります。開始時刻までに録画の準備をしてください。」が出たら、ディスクを入れ換えるか、タイトルを消去して録画可能な容量を作ってください（DVD-RW/DVD+RWのみ）（☞61ページ）。

録画ボタンで見ている番組を録画する

-RW VR -RW VIDEO +RW -R

テレビで見ている番組を番組表を使わないで録画する方法です。

1 **録画用のディスクを入れ、チャンネル+/−ボタンで録画する番組のチャンネルまたは外部入力を選ぶ。**

2 **録画モードボタンを押して録画モードを選ぶ。**

ボタンを押すたびに、以下のように表示されます。

HQ → HSP → SP → LP → EP → SLP

録画モードについて詳しくは、☞23ページをご覧ください。

3 **録画●ボタンを押す。**

録画が始まります。
録画を停止するまで、またはディスクがいっぱいになるまで録画が続きます。

録画を止めるには

録画停止■ボタンを押します。■ボタンを押しても録画停止しません。録画停止まで数秒かかることがありますのでご注意ください。

録画を一時停止するには

録画一時停止❚❚ボタンを押します。もう一度ボタンを押すと一時停止は解除されます。❚❚ボタンを押しても録画一時停止しません。

ちょっと一言

- ツールから録画を始めたり、止めることができます。ツールボタンを押して、↑/↓で「番組録画」または「録画停止」を選び、決定ボタンを押します。
- タイトルリストからも録画を止めることができます。録画しているタイトルを選び、決定ボタンを押します。サブメニューから「録画停止」を選びます。
- 録画中にテレビの電源を切っても、録画に影響はありません。本機につないだチューナーから録画しているときは、チューナーの電源は切らないでください。
- 本機の入力端子につないだ機器から録画するときは、手順**1**で入力切換ボタンを押して「L1」または「L2」、「L3」、「DV 」を選びます。詳しくは、「ビデオ機器などをつないで録画する」（☞87ページ）をご覧ください。
- ツールからも録画モードを選ぶことができます（☞35ページ）。

ご注意

- 録画●ボタンを押してから、すぐに録画が始まらないことがあります。
- 録画中または録画一時停止中に録画モードを変えることはできません。
- 録画中に電源が切れた場合、録画中の番組は消去されることがあります。

決めた時間だけ録画する
（クイックタイマー）

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

録画中に、録画●ボタンを押すだけで、30分単位で録画を止めるまでの時間を決めることができます。

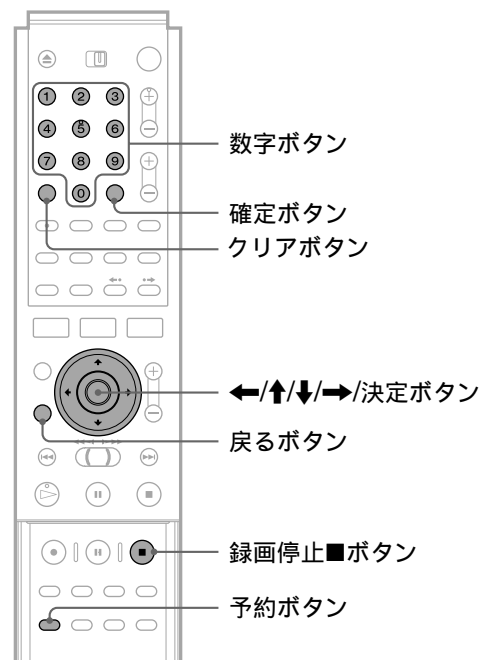
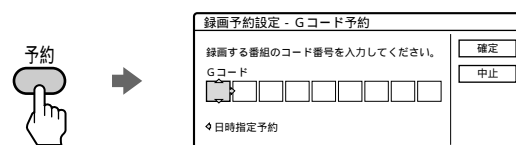
録画中に録画●ボタンを繰り返し押して、録画を止めるまでの時間を選ぶ。
ボタンを押すたびに30分ずつ時間が増えます。

→ 0:30 → 1:00 → …→ 5:30 → 6:00 → （通常の録画）

録画が終了してカウンターが「0：00」になると、自動的に録画が止まりますが本機の電源は切れません。録画終了後に電源を切りたいときは、録画中に本機の電源を切っておいてください。カウンターが「0：00」になるまでそのまま録画します。

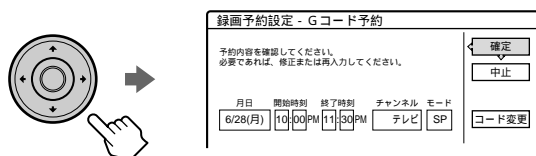
クイックタイマーを解除するには
本体表示窓にカウンターが表示されるまで、録画●ボタンを繰り返し押します。通常の録画に戻ります。

Gコードで予約する
-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているGコードを使う録画予約です。予約したい番組の日時とチャンネルを自動的に設定できます。
番組表とタイマー予約（☛31ページ）、合わせて30番組まで予約できます。

1 録画用のディスクを入れ、予約ボタンを押す。
録画予約設定－Gコード予約画面が出ます。

録画予約設定－日時指定予約画面が出たら、←で画面を切り換えます。

2 数字ボタンを押してGコードの番号を入れ、確定ボタンを押す。
- **間違えたときは**
  クリアボタンを押して、正しい番号を入れ直します。
- **途中で設定を止めるときは**
  ←/↑/↓/→で「中止」を選び、決定ボタンを押します。

3 **↑/↓で「確定」を選び、決定ボタンを押す。**

日付、開始/終了時刻、チャンネル番号またはチャンネル名、録画モードが表示されます。

設定した項目を変更するには

1 ←/→で変更したい項目を選ぶ。

2 ↑/↓で項目を変更する。

予約を取り消すには、「中止」を選びます。
Gコード番号を入力し直すには、「コード変更」を選びます。

4 **←/↑/↓/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。**

TIMER RECランプが点灯し、本機が予約待機になります。

5 **戻るボタンを押して、画面を消す。**

録画を止めるには

録画停止■ボタンを押します。■ボタンを押しても録画停止しません。録画停止まで数秒かかることがありますのでご注意ください。

予約が重なったり連続したときは

☞34ページをご覧ください。

録画時間を延ばすには

☞28ページをご覧ください。

予約録画を確認する・変更する・取り消すには

☞33ページをご覧ください。

本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには

☞別冊「接続と準備」の「本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには」にしたがって、つないだ機器のガイドチャンネルを設定しておきます。

ちょっと一言

- この予約でも、録画モード自動調整機能（☞27ページ）は働きます。
- 予約リスト画面が出ているときにツールで「録画予約」を選び、録画予約設定画面を出すことができます（☞33ページ）。
- 本機が予約待機になっていても、本機を使うことができます。録画予約が始まる5分前に、テレビ画面にメッセージが出ます。

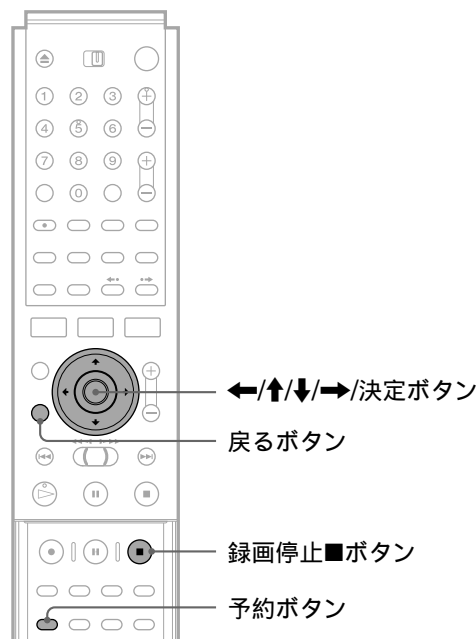
ご注意

- 録画予約を設定する前に時計が正しく設定されているか確認してください。時計を正確に設定していないと、録画予約を正しく設定することができません。

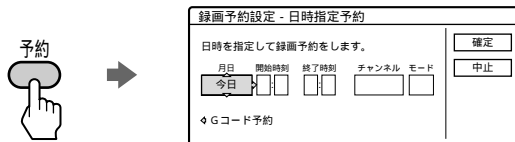
タイマーで予約する（日時指定予約）

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

1カ月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。番組表予約とGコード予約（☞30ページ）と合わせ、30番組まで予約できます。

次のページにつづく

録画・予約する（つづき）

1 **録画用のディスクを入れ、予約ボタンを押す。**

録画予約設定（日時指定予約）画面が出ます。

録画予約設定－Gコード画面が出たら、⬅を押して画面を切り換えます。

2 **⬅/⬆/⬇/➡で以下の項目を設定する。**

1 ⬆/⬇で日付を選び、➡を押す。

⬆/⬇を押すたびに、以下のように切り換わります。

今日→ 明日 →………→ 5/18（日）（1カ月後）
→ 毎（日）→………→ 毎（土）→ 月-金
→ 月-土 → 毎日 → 今日

2 ⬆/⬇で開始時刻を選び、➡を押す。

3 ⬆/⬇で終了時刻を選び、➡を押す。

4 ⬆/⬇でチャンネルを選び、➡を押す。

⬆/⬇を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル → BSチャンネル → 入力1
→ 入力2 → 入力3

- **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
  「入力1」または「入力2」、「入力3」を選びます。

5 ⬆/⬇で録画モードを選ぶ。

- **間違えたときは**
  ⬅/➡で変更したい項目を選び設定しなおします。
- **途中で設定を止めるには**
  ⬅/⬆/⬇/➡で「中止」を選び、決定ボタンを押します。

3 **⬅/⬆/⬇/➡で「確定」を選び、決定ボタンを押す。**

予約リスト（☞33ページ）が出ます。
TIMER RECランプが点灯し、本機が予約待機になります。

4 **戻るボタンを押して、予約リストを消す。**

予約録画中に録画を止めるには

録画停止■ボタンを押します。■ボタンを押しても録画停止しません。録画停止まで数秒かかることがありますのでご注意ください。

予約が重なったり連続したときは

☞34ページをご覧ください。

録画時間を延ばすには

☞28ページをご覧ください。

予約録画を確認する・変更する・取り消すには

☞33ページをご覧ください。

ちょっと一言

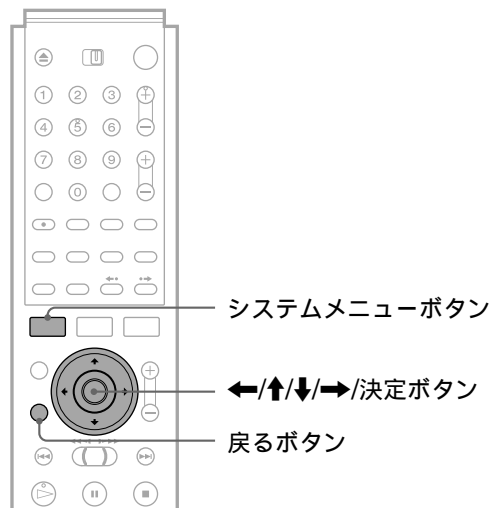
- この予約でも、録画モード自動調整機能（☞27ページ）は働きます。
- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は次の日付に設定されます。
- 予約リスト画面が出ているときにツールで「録画予約」を選び、録画予約設定画面を出すことができます（☞33ページ）。
- 本機が予約待機になっていても、本機を使うことができます。録画予約が始まる5分前に、テレビ画面にメッセージが出ます。

ご注意

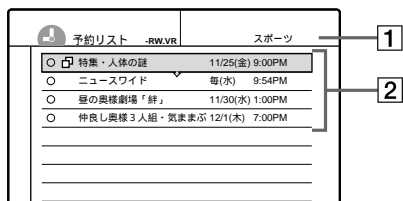
- 録画予約を設定する前に時計が正しく設定されているか確認してください。時計を正確に設定していないと、録画予約を正しく設定することができません。
- デジタル衛星放送を録画するには、デジタルチューナーの電源を入れ、録画したい番組を選びます。録画が終わるまでチューナーはそのままにしてください。タイマー機能が付いている機器を接続しているときは、シンクロ録画機能を使うことができます（☞37ページ）。

予約を確認する・変更する・取り消す

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

予約リストを使って、設定した予約の確認、変更、取り消しができます。

1 **システムメニューボタンを押す。**
システムメニューが出ます。

2 **↑/↓で「予約リスト」を選び、決定ボタンを押す。**
予約リストが出ます。

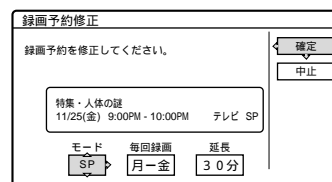
本体予約のとき

1 **ディスク名**
ディスク名を入力するには、「名前をつける」（☛40ページ）をご覧ください。

2 **予約情報**
録画日時などが出ます。
- **予約が重なったとき、🗗 が付きます。**
- **録画をしている設定には、●（赤丸）が付きます。**
- **番組の全てまたは一部が録画できないときは、●（灰色）が付きます。**

3 **↑/↓で確認・変更・取り消す予約を選び、決定ボタンを押す。**
サブメニューが出ます。

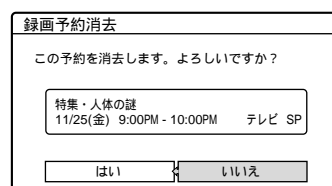
4 **↑/↓で確認・変更・取り消す項目を選び、決定ボタンを押す。**

予約を変更するには

1 「予約修正」を選び、決定ボタンを押す。
予約修正画面が出ます。

2 ←/↑/↓/→で項目を選び、予約を変更する。
他の予約も変更するには、同じ操作を繰り返します。
変更を取り消すには、戻るボタンを押すか、←/↑/↓/→で「中止」を選び決定ボタンを押します。

3 ←/↑/↑/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

予約を取り消すには

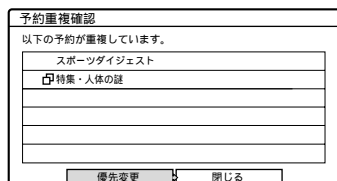
1 「予約消去」を選び、決定ボタンを押す。
確認画面が出ます。

予約の取り消しを止めるには、戻るボタンを押すか、←/↑/↑/→で「いいえ」を選び決定ボタンを押します。

2 ←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

予約の重なりを確認するには

1 「重複確認」を選び、決定ボタンを押す。

重なっている予約を確認する画面が出ます。リストの上にいくほど、予約の優先順位が高くなります。予約の設定の新しいものが高くなります。順位の低いものは録画されないことがあります。

2 ←/→で「閉じる」を選ぶ。

予約リストに戻ります。予約を変更または取り消すには、手順**3**〜**4**を繰り返し操作します。

予約の優先順位を変更するには、「優先変更」を選びます。詳しくは、「重なった予約の優先順位を変更する」（☞34ページ）をご覧ください。

5 戻るボタンを押して、予約リストを消します。

ちょっと一言

- 録画中の予約を変更することはできませんが、録画時間を延ばすことはできます（☞28ページ）。
- サブメニューの「予約詳細」を選ぶと、予約内容の詳しい情報を見ることができます。

ご注意

- 予約があっても、優先順位の高い番組を録画中は予約録画は実行されません。
- 毎日などの毎回録画を設定しても、優先順位の高い予約が重なっている日は録画が実行されません。「予約リスト」のタイトルに、予約が重なっていることをお知らせする🗗がつきますので、優先順位を確認してください。

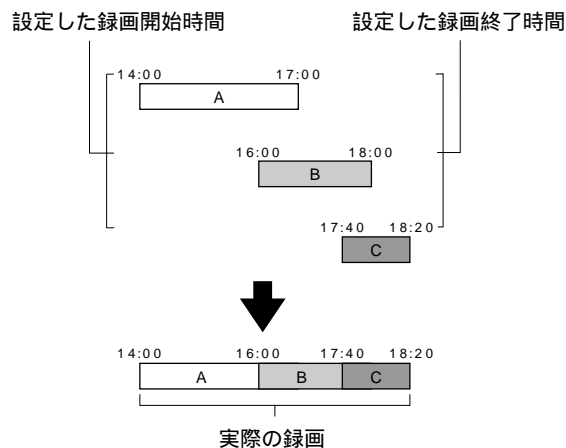
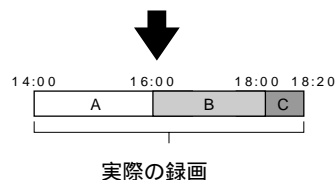
重なった予約の優先順位を変更する

本機では、予約が重なった場合、録画の「優先順位」にしたがって録画します。
「優先順位」は、予約を設定した順番に、新しいものが高くなるように設定されます。
予約が重なった場合、優先順位が高いものが録画され、低いものは録画されなかったり、途中からまたは途中までしか録画されないということが起こります。
重要な録画の場合は、優先順位を確認し、必要に応じて優先順位を変更してください。

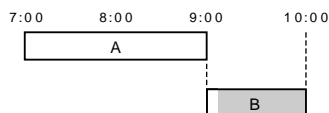
予約が重なっているときは

番組表やGコード、タイマーで予約したときは、あとから設定した予約が優先されます。

例：番組[A]、[B]、[C]の順に予約した場合（番組[C]の優先順位が一番高い）

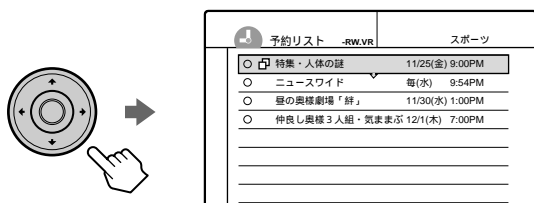
→ 番組[B]が始まったら番組[B]の録画が始まり、番組[C]が始まったら番組[C]の録画が始まります。

番組[B]の優先順位を番組[C]よりも高くすると、番組[B]は設定した録画終了時間まで録画されます。

予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは

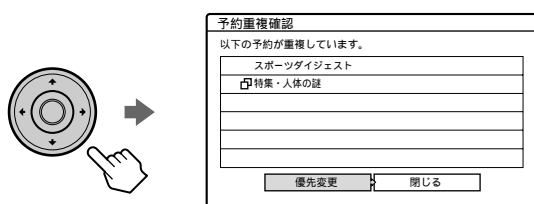
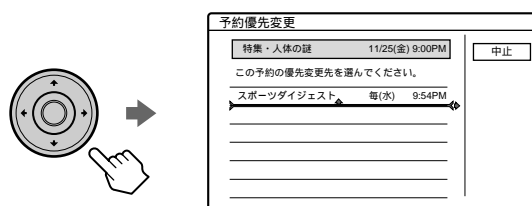
優先順位の低い番組の最初または最後の部分が若干録画されないことがあります。

例：番組[A]の方を後から予約した場合
→　番組[B]の最初の部分が若干録画されません。

ちょっと一言
- 録画中に予約の優先順位を変えることもできます。

ご注意
- 予約が重なっている場合も、優先度の低いほうの予約の最初または最後の部分が若干録画されない場合があります。

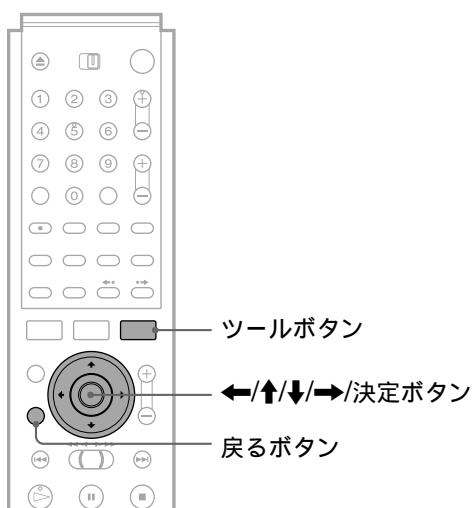
1 **システムメニューボタンを押す。**
システムメニューが出ます。

2 **↑/↓で「予約リスト」を選び、決定ボタンを押す。**
予約リストが出ます。

3 **↑/↓で重複している番組を選び、決定ボタンを押す。**
サブメニューが出ます。

4 **↑/↓で「重複確認」を選び、決定ボタンを押す。**
予約重複確認画面が出ます。

5 **←/→で「優先変更」を選び、決定ボタンを押す。**
予約優先変更画面が出ます。

6 **↑/↓で番組の移動先を選び、決定ボタンを押す。**
番組が移動します。
番組の優先順位は、リストの上にいくほど高くなります。
「中止」を選ぶと、優先順位の変更を行わずに予約リストに戻ります。

録画の画質、映像サイズを設定する

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

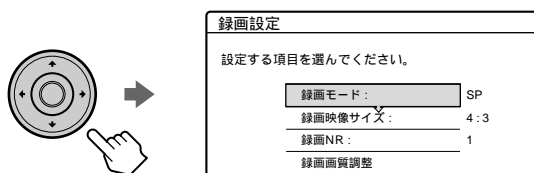
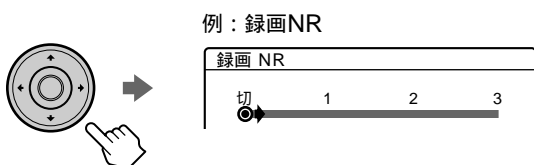
録画するときの画質や映像サイズを設定することができます。

1 **録画を開始する前に、ツールボタンを押す。**
ツールが出ます。

次のページにつづく

2 **↑/↓で「録画設定」を選び、決定ボタンを押す。**

設定画面が出ます。

3 **↑/↓で設定する項目を選び、決定ボタンを押す。**

例：録画NR

録画モード

録画する時間や画質に合わせて録画モードを設定します。詳しくは、「録画モードについて」（☞23ページ）をご覧ください。

- HQ
- HSP
- SP（お買い上げ時の設定）
- LP
- EP
- SLP

録画映像サイズ

録画する番組に合った映像サイズに設定します。

- 4：3（お買い上げ時の設定）
  映像サイズを4：3に設定する。
- 16：9
  映像サイズを16：9（ワイド画面）に設定する。

録画映像サイズの設定は、DVD-RおよびDVD-RW（ビデオモード）では、録画モードがHQまたはHSP、SPに設定されている場合に有効です。その他の録画モードでは、4：3になります。

DVD-RW（VRモード）では、実際の映像のサイズに合わせて録画します。例えば、16：9（ワイド画面）の映像の場合、「4：3」に設定していても16：9で録画されます。
DVD+RWでは、全て4：3で録画されます。

録画NR **（ノイズリダクション）**

映像信号に含まれているノイズを低減する。

録画画質調整

各項目ごとに画質を調整します。
↑/↓で調整する項目を選び、決定ボタンを押します。

- コントラスト：コントラストを調整する。
- 明るさ：全体の明るさを調整する。
- 色の濃さ：色をより濃く、またはより明るく調整する。
- 色あい：色のバランスを調整する。

4 **←/↑/↓/→で設定を調整し、決定ボタンを押す。**

設定の番号が大きくなるにつれ、効果も大きくなります。お買い上げ時の設定は下線です。

項目	設定
録画NR	切　1～3
録画画質調整	
コントラスト	-3～0～3
明るさ	-3～0～3
色の濃さ	-3～0～3
色あい	-3～0～3

5 **他の項目も調整するときは、手順3～4を繰り返す。**

6 **戻るボタンを押して、設定画面を消す。**

ご注意

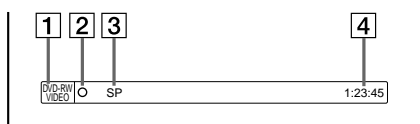
- ここでの設定は本機に対するもので、それぞれのタイトルごとに設定することはできません。

録画中にディスクの状態を確認する

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

録画時間やディスクの種類などの情報を録画中に確認することができます。

1 録画中に画面表示ボタンを2回押す。

録画情報が出ます。

1 ディスクの種類/記録フォーマット
2 録画状態
3 録画モード
4 録画時間

2 画面表示ボタンを押して、録画情報を消す。

タイトル内にチャプターを作るには

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

本機は自動的に、録画中にチャプターマークを6分または15分ごとに入れ、録画中のタイトルをチャプターで分けることができます。セットアップ画面の「フィーチャー」の「自動チャプターマーク」で「6分毎」または「15分毎」の間隔を選んでください(☞93ページ)。

ちょっと一言

- 手動でチャプターを入れたりチャプターマークを消すには、☞64ページをご覧ください。

ご注意

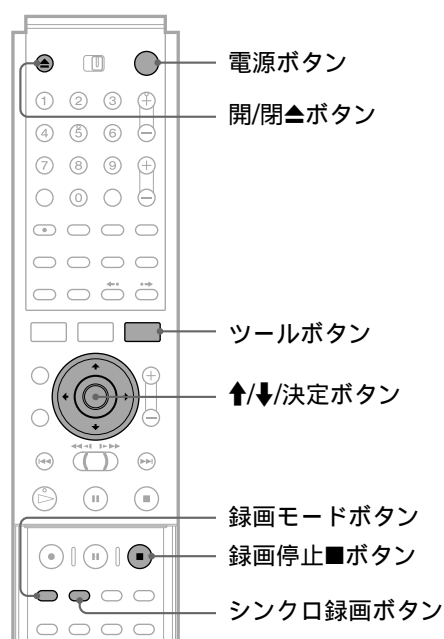
- 「フィーチャー」で「自動チャプターマーク」を「マークしない」に設定していると、チャプターは自動的に作られません。
- チャプターマークを追加することができないとき、ディスクの録画や編集ができなくなることがあります。

本機につないだチューナーから録画する(シンクロ録画)

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

番組予約機能の付いたチューナー(BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナー、CATVチューナーなど)をつなぐと、チューナーの電源と連動させて録画予約ができます。別売りのチューナーは、必ず本機の入力1端子につないでください(☞別冊「接続と準備」の「別売りのデコーダーやチューナーを本機につなぐ」)。予約開始時刻にチューナーの電源が入ると、本機が感知し、自動的に入力1の録画が始まります。

予約を始める前に…

- ディスクに空き時間があるか確認してください(☞24ページ)。
- DVD-RW(ビデオモード)、DVD-R、DVD+RWでは音声多重放送を記録できません。音声多重放送の番組を録画するときは、音声の種類(「主音声」か「副音声」)を設定してください(☞95ページ)。
- 録画の画質を調整してください(☞35ページ)。

1 電源ボタンを押す。

本機の電源が入り、I/⏻ランプが緑に点灯します。

2 テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力(「ビデオ」など)に切り換える。

アンプを使うときは

アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

次のページにつづく

本機につないだチューナーから録画する（つづき）

3 開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。

録画したい面を下にして置きます。

4 開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。

本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。一度も録画していないDVDディスクを入れた場合、自動的に初期化されます。DVD-RWを使うときは、記録フォーマットを選んでください。

5 音声多重放送の番組を録画する場合、外部入力の音声を選ぶ。

1. **ツールボタンを押す。**
2. **↑/↓で「外部入力音声」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「二重音声」を選び、決定ボタンを押す。**

6 録画モードボタンを押して録画モードを選ぶ。

繰り返し押して、「HQ」または「HSP」、「SP」、「LP」、「EP」、「SLP」を選びます。

7 つないだチューナーで番組予約をして、チューナーの電源を切る。

8 シンクロ録画ボタンを押す。

SYNCHRO RECランプが点灯します。
自動的に本機の電源が切れ、スタンバイモードになります。
本機はシンクロ録画予約待機になります。

チューナーの電源が入ると、録画が自動的に始まり、チューナーの電源が切れると、録画は自動的に止まります。

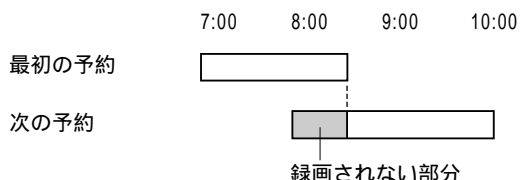
シンクロ録画中に録画を止めるには

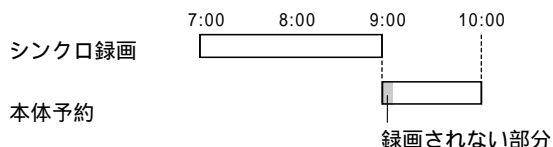
録画停止■ボタンを押します。

シンクロ録画予約待機を解除するには

録画が始まる前に、シンクロ録画ボタンを押すか、本機の電源を入れてSYNCHRO RECランプを消します。

シンクロ録画と本機の予約が重なったときは

先に始まる予約を優先して録画します。後から始まる予約は、先の予約の録画が終わってから録画が始まります。

シンクロ録画の終了時刻と、本機の予約の開始時刻が同じとき

シンクロ録画が終わってしばらくすると本機の録画予約が始まります。

ご注意

- チューナーからの映像信号を確認してから電源が入り、録画が始まるため、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 本機の電源を入れないと、シンクロ録画予約の設定は行えません。必ず本機の電源を入れてください。
- シンクロ録画中は、通常の録画など、他の操作はできません。
- シンクロ録画予約待機中に、本機の電源を入れると、予約の設定は解除されますのでご注意ください。
- 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている番組は録画できません。また、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている番組を録画するには、DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応のディスクを使用して、VRモードで録画してください。詳しくは、「録画できない映像について」（☛23ページ）をご覧ください。
- AVマウス付チューナーをつないだ場合、本機のシンクロ録画をするときは、AVマウスを使わないでください。
- シンクロ録画予約待機中（SYNCHRO RECランプが点灯中）に、つないだチューナーを使うには、シンクロ録画ボタンを押してシンクロ録画予約待機を解除してください。
  録画が始まる前に、チューナーの電源を切り、本機の電源を入れて、シンクロ録画ボタンでシンクロ録画を設定し直してください。
- チューナーによっては、シンクロ録画できないことがあります。チューナーの取扱説明書をご覧ください。
- シンクロ録画予約待機中は、番組表の受信・更新および時計の自動補正（☛別冊「接続と準備」の「時計を合わせる」）ができません。

ファイナライズする

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

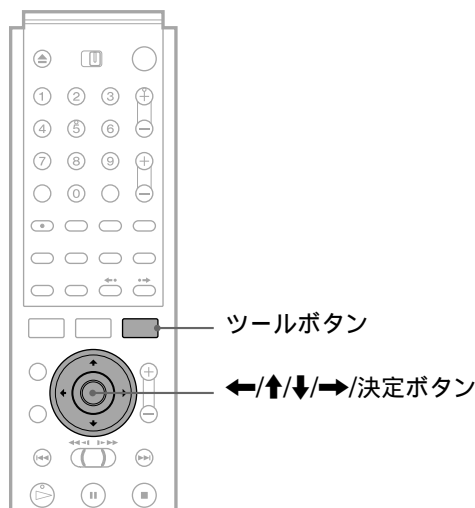
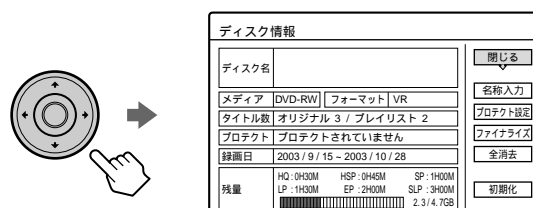
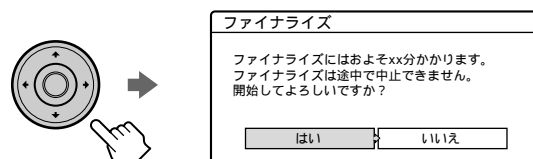
本機で録画したディスクを他のDVD機器で再生するとき、ディスクをファイナライズして再生できるようにします。
ファイナライズする前に、次の表でディスクの種類による違いをご確認ください。
DVD-RW（ビデオモード）やDVD+RW、DVD-Rをファイナライズすると、DVDメニューが自動的に作られ、他のDVD機器で再生するときに表示することができます。
本機にファイナライズしたディスクを入れたとき、FINALIZEDランプが点灯します。

ディスクの種類による違い

-RW VR	VRモード再生対応の機器でディスクを再生するとき、ファイナライズをする必要はありません。 DVD機器によって、または録画した時間が短いとき、ディスクをファイナライズする必要があることがあります。ファイナライズをしてもディスクに録画や編集をすることができます。
+RW	録画したディスクを取り出す際に、自動的にファイナライズされるため、ファイナライズをする必要はありません。 DVD機器によって、または録画した時間が短いとき、ディスクをファイナライズする必要があることがあります。ファイナライズをしてもディスクに録画や編集をすることができます。
-RW VIDEO	本機以外で再生するときは、ファイナライズをする必要があります。ファイナライズした後、ディスクに録画や編集をすることはできません。もう一度録画したいときは、ディスクを初期化し直してください（☞42ページ）。その場合、ディスクの全ての内容は消去されます。
-R	本機以外で再生するときは、ファイナライズをする必要があります。ファイナライズした後、ディスクに録画や編集をすることはできません。

1　本機にディスクを入れて、ツールボタンを押す。
ツールが出ます。

2　↑/↓で「ディスク情報」を選び、決定ボタンを押す。
ディスク情報画面が出ます。

ディスク情報
ディスク名
メディア　DVD-RW　フォーマット　VR
タイトル数　オリジナル 3 / プレイリスト 2
プロテクト　プロテクトされていません
録画日　2003 / 9 / 15 ~ 2003 / 10 / 28
残量　HQ : 0H30M　HSP : 0H45M　SP : 1H00M　LP : 1H30M　EP : 2H00M　SLP : 3H00M　2.3 / 4.7GB
閉じる　名称入力　プロテクト設定　ファイナライズ　全消去　初期化

3　↑/↓で「ファイナライズ」を選び、決定ボタンを押す。
ファイナライズにかかる時間が表示され、確認の画面が出ます。

4　←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。
本機がディスクのファイナライズを始めます。

次のページにつづく

ディスクのファイナライズを解除するには

他のDVD機器でファイナライズしたDVD-RW（VRモード）に録画または編集できないとき、メッセージが表示されます。ディスクのファイナライズを解除してください。
上の手順**3**で「ファイナライズ解除」を選びます。

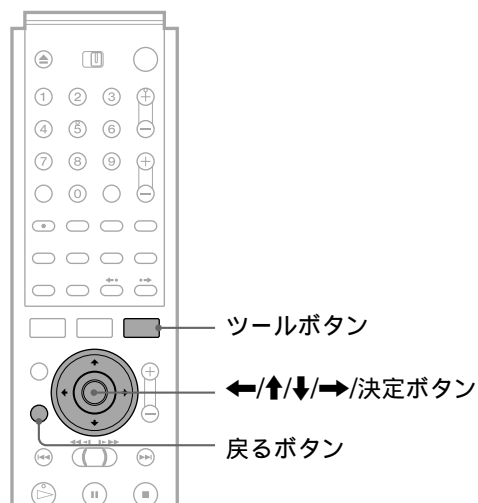
ちょっと一言

- 本機で一度ファイナライズしたディスクは再びファイナライズする必要はありません。

ご注意

- ディスクの状態や録画、DVD機器によっては、ファイナライズしても再生できないことがあります。
- 他のDVD機器で録画したディスクを本機でファイナライズすることはできません。

録画後にディスクを設定する

ディスク情報画面で、ディスクの名前をつけたり、ディスクの保護をすることができます。保護設定をしているタイトル以外のディスクの内容を消去することもできます。

名前をつける（名称入力）

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

ディスクに名前をつけたり、変更したりすりことができます。入力できる文字数は、最大全角32文字、半角64文字までです。つけた名前はタイトルリストなどに表示されます。

1 **本機にディスクを入れて、ツールボタンを押す。**

ツールが出ます。

2 **↑/↓で「ディスク情報」を選び、決定ボタンを押す。**

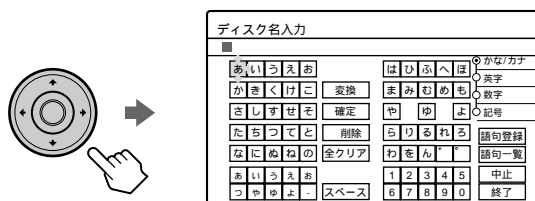
ディスク情報画面が出ます。
例：DVD-RW（VRモード）のとき

ディスク情報

ディスク名			
メディア	DVD-RW	フォーマット	VR
タイトル数	オリジナル 3 / プレイリスト 2		
プロテクト	プロテクトされていません		
録画日	2003 / 9 / 15 ~ 2003 / 10 / 28		
残量	HQ : 0H30M　HSP : 0H45M　SP : 1H00M LP : 1H30M　EP : 2H00M　SLP : 3H00M 2.3 / 4.7GB		

閉じる
名称入力
プロテクト設定
ファイナライズ
全消去
初期化

3 **↑/↓で「名称入力」を選び、決定ボタンを押す。**

ディスク名を入力する画面が出ます。

4 **☞15ページの操作にしたがって、名前を入力する。**

新しい名前が表示されたディスク情報画面が出ます。

5 **戻るボタンを押して、画面を消す。**

ご注意

• 他機で再生した場合、ディスク名が表示されないことがあります。

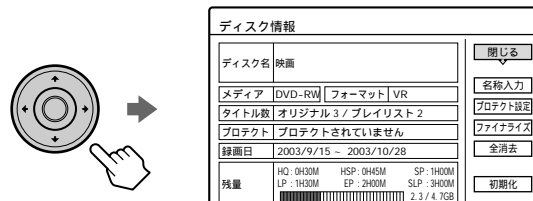
保護する（プロテクト設定）

-RW VR

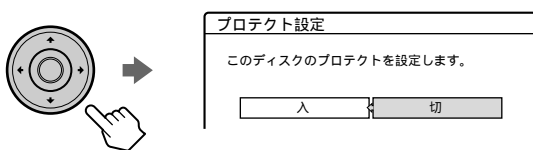
間違えて編集したり、消去しないようにディスクごとに、全てのタイトルを保護することができます。それぞれのタイトルごとに保護するには、☞61ページをご覧ください。

1 **本機にディスクを入れ、ツールボタンを押す。**

ツールが出ます。

2 **↑/↓で「ディスク情報」を選び、決定ボタンを押す。**

ディスク情報画面が出ます。

3 **↑/↓で「プロテクト設定」を選び、決定ボタンを押す。**

ディスク保護を設定する画面が出ます。

4 **←/→で「入」を選び、決定ボタンを押す。**

ディスク情報画面に戻ります。

5 **戻るボタンを押して、画面を消す。**

ディスク保護を解除するには

1 上の手順**1**～**3**を操作する。
ディスク保護を設定する画面が出ます。

2 ←/→で「切」を選び、決定ボタンを押す。
ディスク情報画面に戻ります。

3 戻るボタンを押して、画面を消す。

全てのタイトルを削除する（タイトル全消去）

-RW VR　-RW VIDEO　+RW

タイトル保護されているタイトル以外、全てのタイトルを消去します。
ディスク名や記録フォーマットはそのまま残ります。

1 **本機にディスクを入れ、ツールボタンを押す。**

ツールが出ます。

次のページにつづく

録画後にディスクを設定する（つづき）

2 **↑/↓で「ディスク情報」を選び、決定ボタンを押す。**

ディスク情報画面が出ます。

3 **↑/↓で「全消去」を選び、決定ボタンを押す。**

確認画面が出ます。
ディスクに保護されているタイトルがあるとき、保護されているタイトルのリストが表示されます。

4 **←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

タイトルが消去されます。

初期化する

-RW VR　-RW VIDEO　+RW

初期化を行うと、ディスクの内容をすべて消去し、ブランクディスクにすることができます。DVD-RWの記録フォーマット（VRモードとビデオモード）を変更したり、ファイナライズしたDVD-RWのビデオモードでも再び録画できるようになります。DVD+RWのディスクも初期化してブランクディスクにすることができます。消去した内容を復元することはできませんので、大切な内容を誤って消去しないように中身を必ず確認してから初期化を行ってください。

1 **本機にディスクを入れ、ツールボタンを押す。**

ツールが出ます。

2 **↑/↓で「ディスク情報」を選び、決定ボタンを押す。**

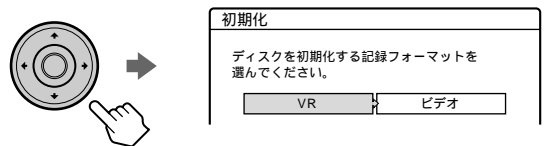
ディスク情報画面が出ます。

3 **↑/↓で「初期化」を選び、決定ボタンを押す。**

確認画面が出ます。

4 **←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

DVD-RW**で、セットアップ画面の「オプション」で「ディスク初期化」を「初期化時に選択」に設定しているとき**

記録フォーマットの選択画面が出ます。

←/→で「VR」または「ビデオ」を選び、決定ボタンを押します。
ディスクの初期化が始まります。

ご注意

- ディスクを初期化すると、保護しているタイトルやタイトル名などのすべての情報が消去されます。
- ディスク保護を設定している場合は、初期化できません（DVD-RWのVRモードのみ）。

再生

ここでは、ディスクの再生や再生に必要な設定など再生における基本的な操作について説明します。

再生の前に必ずお読みください

お手持ちのディスクを再生する前に必ずお読みください。

再生できるディスクについて

本機では以下のディスクを再生できます。
12cmと8cmの両ディスクに対応しています。

ディスクの種類	
DVDビデオ*	DVD VIDEO
DVD-RW*　Ver.1.0 Ver.1.1 Ver.1.1 CPRM対応	DVD RW
DVD+RW*	RW DVD+ReWritable
DVD-R*	DVD R R4.7
DVD+R*	RW DVD+R
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R/CD-RW （音楽用CDフォーマットのみ）	COMPACT disc Recordable ReWritable

* DVDビデオ、DVD-RW、DVD+RW、DVD+R、DVD-Rロゴは商標です。

地域番号（リージョンコード）について

DVDビデオのパッケージには地域番号が表示されています。
地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

次のページにつづく

再生できないディスクについて

本機では次のディスクを再生することはできません。

- CD-ROM（フォトCDを含む）
- 音楽用CDフォーマットで記録された以外のCD-RとCD-RW
- CD-EXTRAのデータ部分
- ビデオCD
- スーパーVCD
- DVD-ROM
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- スーパーオーディオCDのHD（ハイデンシティ）レイヤー
- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）のDVDビデオ（☞43ページ）
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク（本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため）

CDのDTS音声再生時のご注意

- DTSで記録されたCDを再生するとアナログ出力からは極端に大きなノイズが出ます。本機のアナログ出力をアンプにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS Digital Surround™ の再生をお楽しみいただくには、本機のデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surround™ デコーダーを接続する必要があります。
- CDのDTS音声を再生するときは、音声ボタンを繰り返し押して、音声を「ステレオ」に設定してください（☞53ページ）。
- DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないでいるときにCDのDTS音声を再生すると、セットアップ画面の「音声設定」の「デジタル出力」で「DTS」を「切」に設定しても（☞93ページ）、デジタル音声出力端子から異音が出ます。

DVDのDTS音声再生時のご注意

- DTS音声信号はデジタル音声出力端子から出力します。
- DTS音声でDVDを再生するときは、セットアップ画面の「音声設定」の「デジタル出力」で「DTS」が「入」になっているか確認してください（☞93ページ）。
- DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器に接続するときは、セットアップ画面の「音声設定」の「デジタル出力」で「DTS」を「入」にしないでください（☞93ページ）。スピーカーから異音が出て耳に悪影響をおよぼしたり、スピーカーを破損したりする恐れがあります。

DVDビデオ再生操作について

DVDビデオはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

ご注意

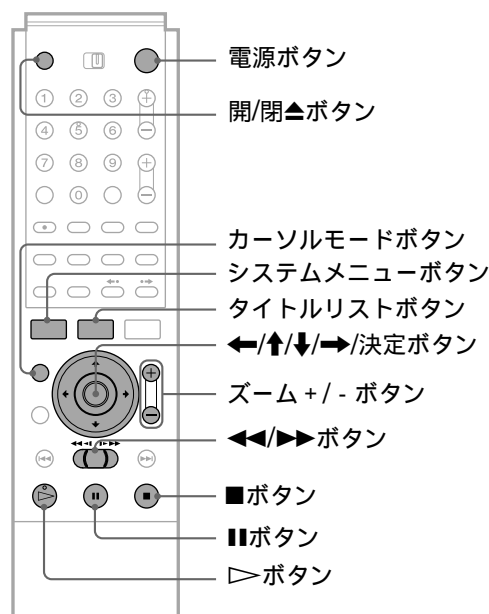
- 再生できる高速記録対応ディスクは以下の通りです。
  - DVD-RWは2倍速対応ディスク（Revision 1.0）まで
  - DVD-Rは4倍速対応ディスク（Revision 1.0）まで
  - DVD+RW、DVD+Rは4倍速対応ディスクまで
- 他のDVD機器で記録されたDVD-RW/DVD-RまたはDVD+RW/DVD+R、CD-R/CD-RWディスクには傷や汚れ、また記録状態や記録機、CD/DVD書き込みソフトの特性等が原因で再生できないものがあります。また、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業を正しくしていないディスクは再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をお読みください。
- 本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社により著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合があります。

タイトルを選んで再生する

録画したタイトルやDVDビデオなどの再生方法について説明します。

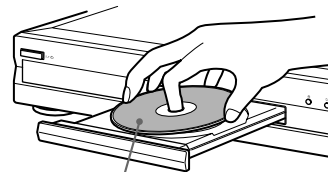
録画したタイトルを再生する

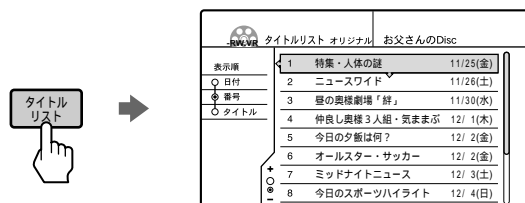
-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

録画したディスクのすべてのタイトルがタイトルリストに表示され、好きなタイトルを選んで再生できます。詳しくは、☞12ページもご覧ください。市販のDVDビデオを再生する場合は☞47ページをご覧ください。

1 **電源ボタンを押す。**
本機の電源が入り、I/⏻ランプが緑に点灯します。

2 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**
アンプを使うときは
アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

3 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを開ける。**

4 **ディスクを置く。**

5 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**
表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

6 **タイトルリストボタンを押す。**
タイトルリストが出ます。
DVD-RW（VRモード）のとき、ツール（☞13ページ）から「オリジナル表示」または「プレイリスト表示」を選んでください。

7 **↑/↓でタイトルを選び、決定ボタンを押す。**
サブメニューが出ます。

8 **↑/↓で「再生」を選び、決定ボタンを押す。**
選んだタイトルの再生が始まります。

音量を調節するには

テレビまたはアンプの音量を調節します。

再生を止めるには

■ボタンを押します。

電源を切るには

電源ボタンを押します。

次のページにつづく

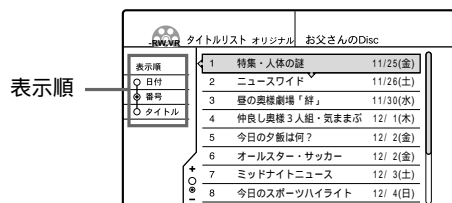
タイトルを選んで再生する（つづき）

ちょっと一言

- 手順**6**のタイトルリストボタンのかわりに、システムメニューからタイトルリストを出すことができます。システムメニューボタンを押して、↑/↓で「タイトルリスト」を選び、決定ボタンを押します（☞14ページ）。
- カーソルモードボタンでページモードを選ぶことができます（☞13ページ）。ページモードでは、↑/↓でタイトルリストのページを変えることができます。
- ▷ボタンを押して再生することができます。
- タイトル名を変えるには、「タイトル名を入力・変更する」（☞60ページ）をご覧ください。
- ツールから、再生を始めたり、止めたりすることができます。

タイトルの順番を変えるには（表示順）

録画した日付けまたはタイトルの番号、タイトル名の順番にタイトルを表示させることができます。

1 タイトルリストが出ているときに、⬅を押す。
「表示順」が選ばれます。

2 ↑/↓で「日付」または「番号」、「タイトル」を選び、決定ボタンを押す。
選んだ項目の順番にタイトルが並び変わります。

項目	順番
日付	タイトルを録画した日付けの順番。一番最後に録画したタイトルが一番上に表示されます。
番号	録画したタイトルの番号の順番。
タイトル	タイトルの名前順。

詳細をリストに表示させるには（ズーム）

タイトルリストが出ているときに、ズーム＋（プラス）ボタンを押す。
タイトルの詳細が表示されます。
ズームー（マイナス）ボタンを押すと、通常のタイトルリストに戻ります。

例：DVD-RW（VR**モード**）

1 **タイトル情報**
タイトル番号やタイトル名、録画した日時、チャンネル、録画モードが表示されます。
- 保護したタイトルには「🔒」が付きます。
- 録画中のタイトルには「●」（赤丸）が付きます。

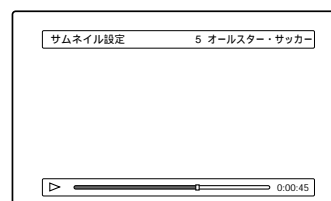
2 **タイトルのサムネイル画像**
各タイトルの映像を静止画で表示します。

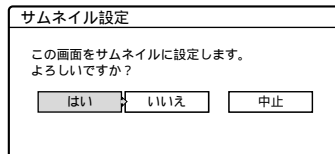
タイトルのサムネイル画像を変えるには（サムネイル）（DVD-RWのVRモードのみ）

拡大（ズーム）したタイトルリストのサムネイル画像をお好きな場面に変更することができます。

1 本機にディスクを入れて、タイトルリストボタンを押す。
タイトルリストが出ます。

2 ↑/↓で変えたいサムネイル画像のタイトルを選び、決定ボタンを押す。
サブメニューが出ます。

3 ↑/↓で「サムネイル設定」を選び、決定ボタンを押す。
サムネイル画像を設定する画面が出ます。
選んだタイトルの再生が始まります。

4 再生画面を見ながら、❚❚ボタン、ジョグスティック◀◀/▶▶、▷ボタンでサムネイル画像にしたい場面を選び、決定ボタンを押す。
選んだ場面で一時停止し、確認画面が出ます。

サムネイル設定
この画面をサムネイルに設定します。
よろしいですか？
はい　いいえ　中止

画像を選びなおすときは、「いいえ」を選びます。

5 ⬅/➡で「はい」を選び、決定ボタンを押す。
選んだ場面がサムネイル画像に設定されます。

6 戻るボタンを押して、画面を消す。

ちょっと一言

- 録画後、タイトルの最初の画像が自動的にサムネイル画像として設定されます。

ご注意

- タイトルのサムネイル画像は本機でのみ表示されます。
- サムネイルの表示に時間がかかる場合があります。

DVDビデオやCDを再生する

DVD　CD

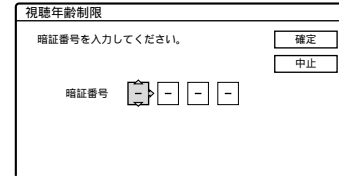
市販のDVDビデオやCDのディスクを再生します。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。ディスクによっては、禁止されている操作もあります。

ディスクを入れ、▷ボタンを押す。
再生が始まります。

テレビ画面にメニューが出たとき
「DVDのメニューを使う」（☞48ページ）をご覧ください。

視聴年齢制限されたディスクを再生するには

「このディスクは視聴制限されています」が出たら、以下の手順を操作してください。

1 ⬅/➡で「はい」を選び、決定ボタンを押す。
暗証番号を入力する画面が出ます。

2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力する。
カーソルが「確定」に移動します。

3 決定ボタンを押す。
再生が始まります。

暗証番号の登録や変更は、「視聴年齢制限」（☞93ページ）をご覧ください。

再生を止めたところから再生する
（つづき再生）

再生を止めたあと、そのつづきから再生できます。

- DVD**の場合**
ディスクトレイを開けない限り、本機の電源を切ってもつづき再生することができます。
- CD**の場合**
本機の電源を切るか、ディスクトレイを開けない限り、つづき再生することができます。

1 再生中、■ボタンを押して、再生を止める。
本体表示窓に「RESUME」が出ます。
「RESUME」が出ないときはつづき再生はできません。

2 ▷ボタンを押す。
手順**1**で再生を止めたところから、再生が始まります。

ディスクを最初から再生するには

ツールからつづき再生を解除します。
ツールボタンを押して、⬆/⬇で「つづき再生解除」を選び、決定ボタンを押します。

タイトルの最初から再生するには

ツールでタイトル/トラックの最初から再生することができます。
ツールボタンを押して、⬆/⬇で「頭出し再生」を選び、決定ボタンを押します。自動的にそのタイトルの最初から再生が始まります。

次のページにつづく

タイトルを選んで再生する（つづき）

ご注意

- ディスクによっては、つづき再生ができないことがあります。
- 再生を止めたところによっては、つづき再生の始まりがずれることがあります。
- 次の場合、つづき再生できません。
  - ディスクトレイを開けたとき
  - 他のタイトルを再生したとき
  - タイトルリストでオリジナルとプレイリストを切り換えたとき
  - 消去などの編集をしたとき
  - 本機の設定を変更したとき
  - 電源を切ったとき（CDのみ）
  - 新たに録画を追加したとき（DVD-RWのVRモード以外）

DVDのメニューを使う

-RW VIDEO　+RW　-R　DVD

DVDビデオには、DVD独自のメニューが記録されているものがあります。
複数のタイトル（映像や曲）が記録されているDVDはトップメニューボタンを、ディスクの内容（字幕や音声の言語など）をメニューで選択できるDVDはメニューボタンを使って再生できます。

1 トップメニューボタンまたはメニューボタンを押す。

ディスクのメニューが出ます。
メニューの内容はディスクによって異なります。

2 ←/↑/↓/→または数字ボタンで再生または変更する項目を選ぶ。

3 決定ボタンを押す。

ちょっと一言

- ファイナライズをしたDVD-R、DVD+RWまたはDVD-RW（ビデオモード）で、トップメニューボタンまたはメニューボタンでメニューを出すことができます。ファイナライズについて詳しくは、「ファイナライズする」（☞39ページ）をご覧ください。

プログレッシブ映像で再生する

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R　DVD

本機のコンポーネント映像出力のY、PB/CB、PR/CR端子およびD1/D2映像出力端子をプログレッシブ方式に対応したテレビにつなぎ、本体のPROGRESSIVEボタンで、プログレッシブ（525p）映像信号表示を選ぶことができます（PROGRESSIVEランプが点灯）。
映像信号の表示方式においては、「用語解説」（☞111ページ）をご覧ください。

PROGRESSIVEボタンを押すたびに、以下のように切り換わります。

インターレース（PROGRESSIVEランプ消灯）
↕
プログレッシブ（PROGRESSIVEランプ点灯）

- インターレース
  通常（インターレース方式）のテレビにつないでいるときに選びます。

- プログレッシブ
  プログレッシブ方式に対応したテレビにつないでいるときに選びます。プログレッシブ映像で再生します。

映像素材について

DVDの映像素材には、大きく分けてビデオ素材とフィルム素材があります。ビデオ素材は、1秒30フレーム、60フィールドでDVDに記録されたもので、一般的にテレビドラマやテレビアニメーションなどの番組があります。フィルム素材は、1秒24コマでDVDに記録されたもので、映画フィルムの多くがこれにあたります。DVDの中には、ビデオ素材とフィルム素材の両方が記録されているものがあります。これらの素材を1秒あたり60のコマ（フレーム）で構成しているプログレッシブ方式に対応したテレビで自然に再現するために、DVDの記録状態に合わせて変換方法が使い分けされます。本機で録画したタイトルはビデオ素材で記録されます。記録されている映像素材に関わらず、常にビデオ素材に変換したい場合は、セットアップ画面から「画面設定」の「プログレッシブ設定」で設定できます（☞91ページ）。

ご注意

- ビデオ素材のディスクをコンポーネント映像出力のY、P_B/C_B、P_R/C_R端子およびD1/D2映像出力端子からプログレッシブ出力する場合、映像補完処理を行っているため、画像によっては、映像の一部が不自然になることがあります。出力1または出力2のS1映像または映像端子からの出力は、設定に関わらずインターレース方式です。
- プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビにつないでいるときに「プログレッシブ」を選んだ場合、映像が見られなくなります。また、ディスクに記録されたビデオ信号がプログレッシブ方式への変換に適さない場合もあります。インターレース方式に切り換えてください。

見たい・聞きたいところを探す

早送りや早戻しをして、見たいところや聞きたいところを探したり、一時停止やスロー再生をすることができます。

再生

こんなときは	操作	ディスク
一時停止	IIボタンを押す。一時停止を解除するにはIIボタンまたは▷ボタンを押す。	すべてのディスク
タイトル/チャプター/トラックの頭出し	再生中に◄◄ または►►ボタンを押す。 • ►►：次のタイトル/チャプター/トラックの先頭に進みます。 • ◄◄：前のタイトル/チャプター/トラックの先頭に戻ります。 DVD-RW（VRモード）では、手動でチャプターマークを追加することができます（☞64ページ）。	すべてのディスク
再生停止およびディスクの取り出し	開/閉▲ボタンを押す。	すべてのディスク
少し先の場面に進む	•→（フラッシュ＋）ボタンを押す。 不要な場面を少しだけとばして、先に進みたいときに便利です。	DVD -RWVIDEO -RW VR -R +RW
前の場面に戻る	←•（フラッシュー）ボタンを押す。 セリフを聞きなおしたり、場面を見逃したときなどに便利です。	DVD -RWVIDEO -RW VR -R +RW
早送り/早戻し再生	再生中にジョグスティック◄◄◄/►►►（サーチ）を右側または左側に軽くかたむけます。次のように表示が切り換わります。 早戻し再生　早送り再生 FR1　FF1 FR2　FF2 FR3　FF3 通常の再生に戻すには、▷ボタンを押します。 ジョグスティックを右側または左側にかたむけると、ジョグスティックをはなすまで選んだ速さで再生します。再生の速さはディスクの種類や記録フォーマットによって異なります。	すべてのディスク（音楽CDではFR3/FF3はできません）
スロー再生	一時停止中にジョグスティック◄◄◄/►►►を1秒以上押します。 ▷ボタンを押すと通常の再生に戻ります。	DVD -RWVIDEO -RW VR -R +RW
コマ送り再生	一時停止中にジョグスティック◄◄◄/►►►を軽く押します。 ▷ボタンを押すと通常の再生に戻ります。	DVD -RWVIDEO -RW VR -R +RW

タイトル・チャプター・トラックを探す

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R　DVD　CD

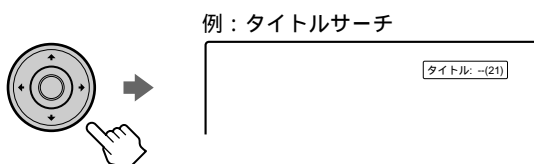
DVDのタイトルまたはチャプター、CDのトラックで映像や曲を探すことができます。
タイトルやトラックなどには、ディスク上で番号がつけられているので、その番号を選んで頭出しします。また、タイムコードを入力してタイトルの経過時間で場面を探すこともできます。

1 **再生中にツールボタンを押す。**
ツールが出ます。

2 **↑/↓で検索項目を選び、決定ボタンを押す。**

- タイトルサーチ（DVDのみ）
- チャプターサーチ（DVDのみ）
- トラックサーチ（CDのみ）
- タイムサーチ（DVDのみ）：タイムコードを入力して場面を探します。

番号の入力画面が出ます。

例：タイトルサーチ

カッコ内の数字はディスクに記録されているタイトルやチャプター、トラックなどの総数です。

3 **数字ボタンでタイトルやチャプター、トラック、タイムコードなどの番号を入力する。**
例えば、タイムコードで始まりから2時間10分20秒過ぎた場面を探すには、手順**2**で「タイムサーチ」を選んだあと「21020」と入力します。

入力しなおすには
クリアボタンを押して入力した数字を削除し、入力しなおします。

4 **確定ボタンを押す。**
選んだ場面の再生が始まります。

検索を止めるには

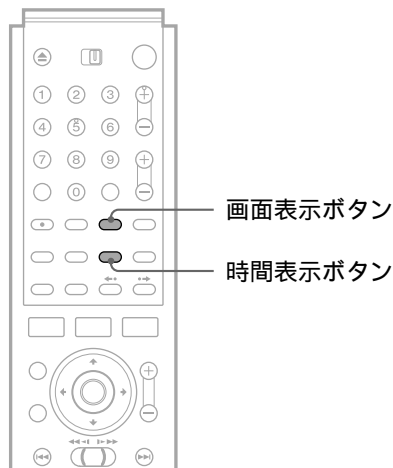
戻るボタンを押します。

ご注意

- DVD-RW（VRモード）では、静止画はタイムサーチできません。
- 入力した番号がディスクにない場合、検索はできません。

ディスクの情報や残り時間を見る

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R　DVD　CD

再生中のタイトル、チャプター、トラックの経過時間と残り時間を見ることができます。録画したディスクのディスク名を見ることもできます。

画面表示ボタンを押す。

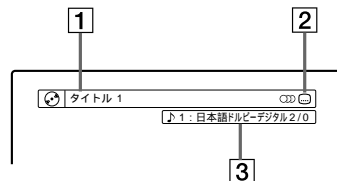
ボタンを繰り返し押すと、以下のように表示が切り換わります。

タイトル/トラック情報（画面1）
↓
再生モード/時間情報（画面2）
↓
（画面表示なし）

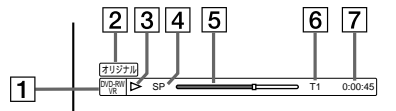
ディスクの種類や再生状態によって画面は異なります。

本機で録画されたディスクは以下のように表示されます。

画面1

例：DVDビデオのとき

1. **タイトル/トラック番号/タイトル名**
2. **ディスクの機能（アングル、音声、字幕など）**
3. **現在の選ばれている機能または音声の設定（一時的に表示されます）**

画面2

例：DVD-RW（VRモード）のとき

1. **ディスクの種類/記録フォーマット（☞23ページ）**
2. **タイトルの種類（オリジナルまたはプレイリスト）（☞13ページ）**
3. **再生モード**
4. **録画モード（☞23ページ）**
5. **再生状態バー**
6. **タイトル番号（☞46ページ）**
7. **経過時間**

残り時間を見るには

画面2が表示されているときに、時間表示ボタンを押します。
ボタンを繰り返し押すと、以下のように表示が切り換わります。

DVDのとき

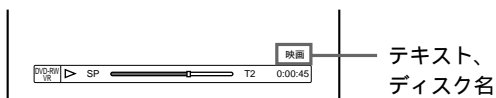
- タイトルの経過時間（時：分：秒）
- タイトルの残り時間
- チャプターの経過時間
- チャプターの残り時間
- ディスク名（DVD-RW/DVD+RW/DVD-Rのみ）

CDのとき

- トラックの経過時間（分：秒）
- トラックの残り時間
- ディスクの経過時間
- ディスクの残り時間
- ディスク名

ディスクの情報や残り時間を見る（つづき）

ディスク名を見るには

時間表示ボタンを繰り返し押して、CD、DVD-RW、DVD+RW、DVD-Rに記録されているテキストまたは入力したディスク名を表示させます。
DVD-RW/DVD+RW/DVD-Rのディスク名を入力するには、「名前をつける」（☞40ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

- 画面を表示しないときには、セットアップ画面の「オプション」で「自動画面表示」を「切」に設定してください（☞96ページ）。

表示窓で経過時間と残り時間を見るには

再生や時間の情報およびディスク名をテレビ画面および本機前面の表示窓で見ることができます。

時間表示ボタンを押す。
ボタンを繰り返し押すと、以下のように表示が切り換わります。

DVDのとき

CDのとき

ちょっと一言

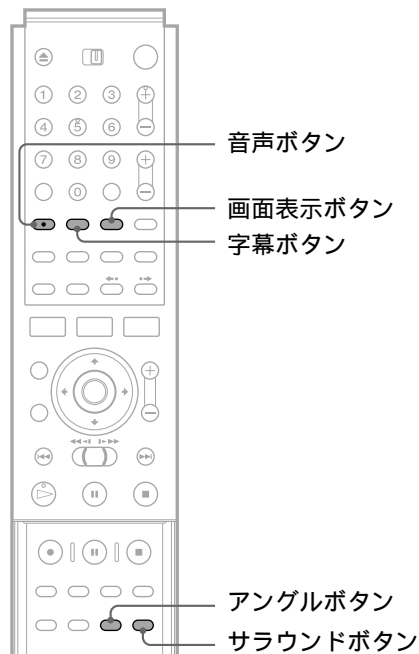
- 1行で表示しきれないディスク名は、表示窓にスクロールして表示されます。

ご注意

- ディスクの種類によってはディスク名が表示できないことがあります。
- 本機で表示できるのはCDのディスク名など最初の部分のみです。
- 本機で表示できる文字は、半角の英語/数字/記号のみです。表示できない文字は「＊」で表示されます。

音声と映像を楽しむ
（音声切り換え・TVS・アングル・字幕）

-RW VR　DVD　CD

ディスクや記録されている内容に合わせて、いろいろな音声や映像を楽しむことができます。リモコンの各ボタンで設定を切り換えます。

音声切り換え（DVD-RWのVRモード、DVDビデオ、CDのみ）

ディスクによって、音声記録方式や言語、出力する音声を選ぶことができます。
再生中に音声ボタンを繰り返し押して、言語や音声を選んでください。

項目	内容
DVDビデオ	音声言語が選べます。言語はDVDビデオによって異なります。*
DVD-RW（VRモード）	録音された音声トラックが表示されます。お買い上げ時の設定は、下線の項目です。 例：• 1：主（主音声） • 1：副（副音声） • 1：主/副（主音声/副音声）
CD	お買い上げ時の設定は、下線の項目です。 • ステレオ：通常のステレオ音声 • 1/L：左チャンネルの音（モノラル） • 2/R：右チャンネルの音（モノラル）

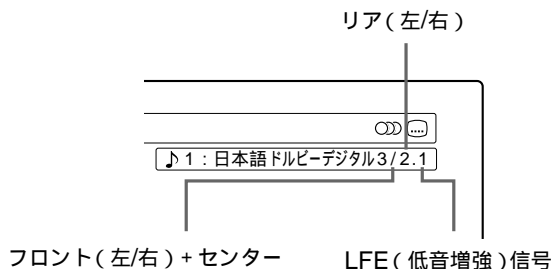
* 4桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」（☞113ページ）をご覧ください。同じ言語が2個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。

ご注意

- DVD-RW（VRモード）では、デジタル音声出力（同軸または光）端子にアンプを接続している場合、音声を切り換えるには、セットアップ画面の「音声設定」で「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に設定します（☞93ページ）。

再生しているチャンネルを表示する

現在再生中のDVDビデオに記録されている音声記録方式、チャンネル数を表示することができます。
再生中に画面表示ボタンを押してください。

ドルビーデジタル5.1chの場合：

音声信号について

ディスクに録画した音声信号は次のチャンネルを含んでいます。それぞれのチャンネルは各スピーカーより出力されます。

- フロント（左）
- フロント（右）
- センター（モノラル）
- リア（左）
- リア（右）
- リア（モノラル）：ドルビーサラウンド処理された記号または、ドルビーデジタル信号のモノラルのリア成分です。
- LFE（Low Frequency Effect：低音増強）信号

ご注意

- セットアップ画面の「音声設定」で「DTS」を「切」にしている場合（☞93ページ）、ディスクにDTS音声が含まれていてもDTSの表示は出ません。

再生

次のページにつづく

TVバーチャルサラウンド（TVS）*（DVDビデオのみ）

ステレオテレビまたは2台のフロントスピーカーだけで、仮想サラウンド効果が楽しめます。
再生中にサラウンドボタンを繰り返し押して、項目を選んでください。設定を解除するときは、「切」を選んでください。

TVSモード	内容
ダイナミック	1組の仮想スピーカーを創り出します。ステレオスピーカー内蔵テレビのように左右のフロントスピーカーが近い時に効果的です。
ワイド	5組の仮想スピーカーを創り出します。ステレオスピーカー内蔵テレビのように左右のフロントスピーカーが近い時に効果的です。
ナイト	低音量でもサラウンド効果を得ることができ、ワイドと同様の仮想スピーカーを創り出します。セリフなどの小さな音声が聞きやすくなります。
スタンダード	3組の仮想スピーカーを創り出します。2台のフロントスピーカーにつないでいるときに効果的です。

* TVS機能は、ソニーが開発したステレオテレビ用サラウンド技術です。

ご注意

- 音声信号の出力をセットアップ画面の「音声設定」で「デジタル出力」（光または同軸端子）に設定している場合、サラウンド効果を楽しむためには、「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に設定します（☛93ページ）。
- リア音声が記録されていないディスクの場合、サラウンド効果は得られません。
- サラウンドを設定しているときは、つないでいる機器（アンプなど）のサラウンドの設定は「切」にしてください。
- より高いサラウンド効果を得るには、スピーカーはリスニングポジションから距離的にも環境的にも左右対称になるように設置します。
- 「ナイト」の効果の度合はディスクによって異なります。
- 本機で録画したディスクにTVS機能は使えません。

アングル（DVDビデオのみ）

複数のアングルがディスクに記録されているとき、正面から見た映像を左右から見た映像に切り換えるなど、好きなアングルを選べます。アングルを変えられるときは、本体表示窓に「ANGLE」が点灯します。
再生中にアングルボタンを繰り返し押して、項目を選んでください。（切り換えられるアングルはディスクにより異なります。）

ご注意

- ディスクによっては、複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- 本機で録画したディスクでアングルは切り換えられません。

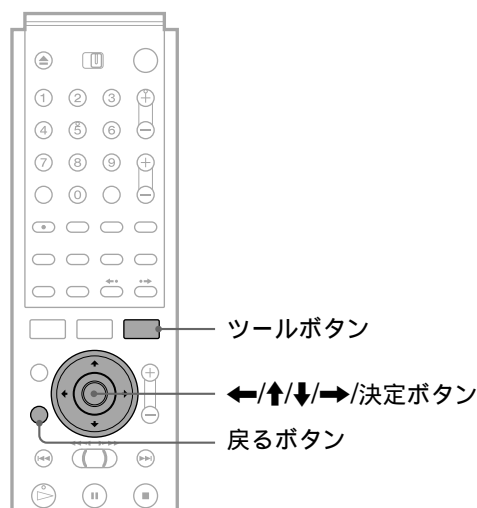
字幕（DVDビデオのみ）

ディスクに字幕が記録されているとき、字幕を表示したり切り換えたりできます。
再生中に字幕ボタンを繰り返し押してください。切り換えられる字幕はディスクにより異なります。

ご注意

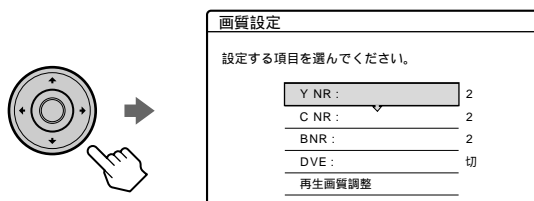
- ディスクによっては字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。
- 本機で録画したディスクで字幕は切り換えられません。

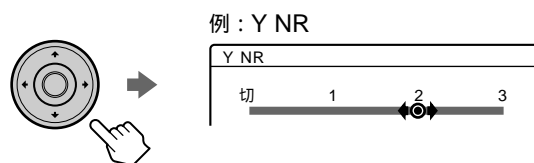
画質と音声を調整する

お好みに合わせて、再生する映像の画質や音質を調整することができます。

画質を調整する

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R　DVD

1 **再生中にツールボタンを押す。**
ツールが出ます。

2 **↑/↓で「画質設定」を選び、決定ボタンを押す。**
次の画面が出ます。

3 **↑/↓で設定する項目を選び、決定ボタンを押す。**
設定画面が出ます。

例：Y NR

- Y NR
  映像信号中の輝度成分に含まれるノイズを低減する
- C NR
  映像信号中の色成分に含まれるノイズを低減する
- BNR（ブロックノイズリダクション）
  画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減する
- DVE（デジタルビデオエンハンサー）
  画像の輪郭を強調する
- 再生画質調整
  各項目ごとに画質を調整することができる。↑/↓で設定する項目を選び、決定ボタンを押します。
  - コントラスト：コントラストを調整する
  - 明るさ：全体の明るさを調整する
  - 色の濃さ：色をより濃く、またはより明るく調整する
  - 色あい：色のバランスを調整する

4 **←/→で調整し、決定ボタンを押す。**
数値が大きくなるほど、効果も大きくなります。お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

項目	設定
Y NR	切　1　2　3
C NR	切　1　2　3
BNR	切　1　2　3
DVE	切　1　2　3
再生画質調整	
コントラスト	-3 ～ 0 ～ 3
明るさ	-3 ～ 0 ～ 3
色の濃さ	-3 ～ 0 ～ 3
色あい	-3 ～ 0 ～ 3

次のページにつづく

5 **手順3～4を繰り返し操作して、他の項目をそれぞれ調整する。**

6 **戻るボタンを押して、画面を消す。**

ご注意

- 画像の輪郭がぼやけるときは、「BNR」を「切」にします。
- ディスクの種類や再生している場面によっては、BNRの効果がわかりにくいことがあります。場面によってはBNRの効果がないこともあります。
- SLPの録画モードで録画したディスクを再生しているときは、BNRの効果がわかりにくいことがあります。

ゴーストリダクションを働かせるには

地上波放送を見ているときに、ゴースト（画面が2重3重になったり、縦線が見える現象）が起きた場合に、ゴーストリダクションを働かせます。

1 地上波放送を見ているときにツールボタンを押す。
ツールが出ます。
2 ↑/↓で「GR設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 ←/→で「入」を選び、決定ボタンを押す。

ちょっと一言

- ゴーストリダクションはチャンネルごとに設定できます。

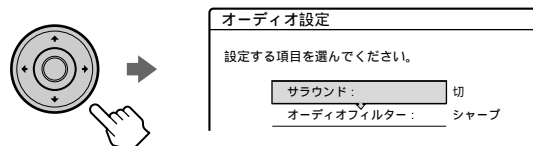
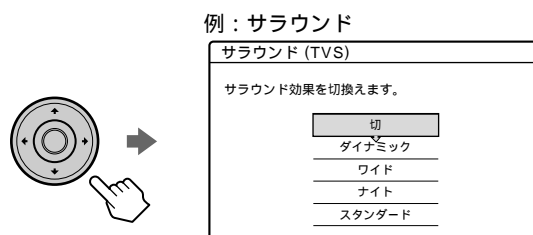
ご注意

- ゴーストリダクションは、チャンネルを切り換えた後、数秒してから働き、強いゴーストから順に少なくしていきます。このとき、画像が一瞬またたくことがあります。また、電波が弱い場合は、ゴーストリダクションは通常よりも時間がかかる場合があります。
- アンテナの設置や調整のときは、「GR設定」を「切」にすると、ゴーストの少ない方向を確認できます。
- 次のときは効果が充分に出ないため、「GR設定」を「切」にしてください。
  – ゴーストが強すぎるとき
  – ゴーストが同時に10波以上起きているとき
  – 飛行機に反射して起きるゴーストなど、一定でないゴーストのとき
  – 室内アンテナなどアンテナの設置や調整が適切に行われていないとき

音声を調整する

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R　DVD　CD

1 **ツールボタンを押す。**
ツールが出ます。

2 **↑/↓で「オーディオ設定」を選び、決定ボタンを押す。**
次の画面が出ます。

3 **↑/↓で設定する項目を選び、決定ボタンを押す。**

例：サラウンド

サラウンド（DVDビデオのみ）
TVSモードを設定することができます。詳しくは、「TVバーチャルサラウンド（TVS）」（☞54ページ）をご覧ください。

- 切（お買い上げ時の設定）
- ダイナミック
- ワイド
- ナイト
- スタンダード

オーディオフィルター
22.05kHz（Fs 44.1kHz*）、24kHz（Fs 48kHz）、48kHz（Fs 96kHz）以上の雑音を除去するために使う、デジタルフィルターの種類を選びます。

- シャープ（お買い上げ時の設定）：フラットな音質で明瞭な音像定位が得られる。通常はこの設定にする
- スロー：雰囲気のあるあたたかい音が得られる

* サンプリング周波数

この機能は、出力1/2音声右左端子からの出力に効果があります。

4 ←/↑/↓/→でオプションを選び、決定ボタンを押す。

5 戻るボタンを押して、画面を消す。

ご注意

• ディスクや視聴条件によっては、オーディオフィルターの効果がわかりにくいことがあります。

ディスク編集

ここでは、DVDでの編集について紹介します。また、ディスクに録画したタイトルのいろいろな編集について説明します。

編集の前に必ずお読みください

本機でいろいろな編集機能をたのしむことができます。編集する前に以下を読んで、お手持ちのディスクでできる編集機能をご確認ください。編集の途中でディスクを取り出した場合や、録画予約が始まった場合など、編集した内容が取り消されることがあるのでご注意ください。

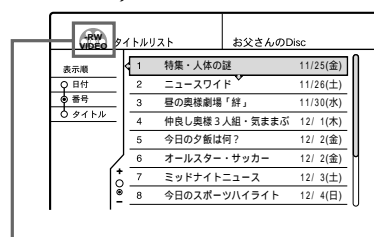
ディスクの種類、記録フォーマット、タイトルの種類について

タイトルリストボタンを押し、タイトルリスト画面上部に表示されたディスクの種類と記録フォーマットを確認します。ディスクがVRモードのときは、タイトルの種類（オリジナルまたはプレイリスト）もご確認ください。誤ってプレイリストのタイトルの代わりにオリジナルのタイトルを編集した場合、消去したタイトルを復活させたり、編集したタイトルを元の状態に戻したりすることはできません。

DVD+RW、DVD-R、DVD-RW（ビデオモード）の編集

-RW VIDEO　+RW　-R

かんたんな編集をすることができます。一度編集を行うと、元の状態に戻すことはできません。

DVD+RW/DVD-R/DVD-RW（ビデオモード）のときのタイトルリスト画面

ディスクの種類/記録フォーマット

ビデオモードで録画したタイトルでできる編集機能：

—誤消去しないように、タイトルを保護する（☞61ページ）。
—タイトルに名前をつける（☞60ページ）。
—1つのタイトルを消去する（☞61ページ）。
—複数のタイトルを消去する（☞62ページ）。

ご注意

- ディスクをファイナライズすると、編集や録画はできなくなります（DVD-RWのVRモードとDVD+RWは除く）。
- DVD-RWのビデオモードやDVD+RW、DVD-Rで、プレイリスト（☞以下を参照）を作ることはできません。

DVD-RW（VRモード）の編集

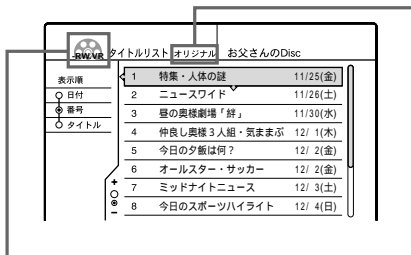
-RW VR

DVD-RWのVRモードでは編集方法が2つあり、「オリジナル」と呼ばれる実際に録画したそのままの映像（タイトル）を編集する方法と、「プレイリスト」と呼ばれるオリジナルの映像を元に作る仮想映像を編集する方法です。それぞれ性質も長所も異なりますので、以下を読んで、より用途に適した方を選んでください。

「オリジナル」を編集する

オリジナルのタイトルでできる編集機能：
―誤消去しないように、タイトルを保護する（☞61ページ）。
―タイトルに名前をつける（☞60ページ）。
―複数のタイトルを消去する（☞62ページ）。
―１つのタイトルを消去する（☞61ページ）。
―タイトル内の一部を消去する（A-B 消去）（☞63ページ）。

オリジナルのタイトルは一度編集を行うと、元の録画内容に戻せません。元の録画内容を全く変えずに保存しておきたいときは、プレイリストを作って編集してください（☞右記を参照）。

タイトルリスト（オリジナル）はディスク上の全オリジナルタイトルを表示します。

ディスクの種類/記録フォーマット　**タイトルの種類**

ご注意

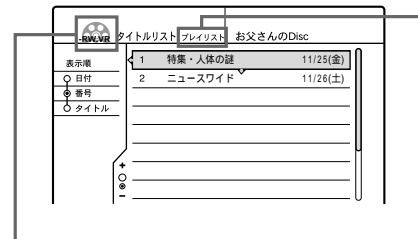
- オリジナルのタイトルは、プレイリストのタイトルに対してデータを供給します。オリジナルのタイトルからプレイリストのタイトルを作ると、そのオリジナルのタイトルは消去できなくなります。

「プレイリスト」を編集する

プレイリストとは、オリジナルのタイトルから編集用に作られたタイトルの集合のことです。プレイリストを作ると、再生順などの再生に必要な管理情報だけをディスクに保存します。

例：サッカーの決勝トーナメントの数試合をDVD-RWのVRモードに録画した。ゴール場面などのハイライトでダイジェストを作りたいが、元の録画も残しておきたい。
このような場合、ハイライトの場面を集めて再生情報（プレイリスト）を作ることができます。また、プレイリストタイトルの中で場面の順序を並べ換えることもできます。

上記の例の他にも、プレイリストでいろいろな編集ができます。オリジナル編集と組み合わせて幅広い独自の編集方法をおたのしみいただけます。

タイトルリスト（プレイリスト）はディスク上のプレイリストタイトルを表示します。

ディスクの種類/記録フォーマット　**タイトルの種類**

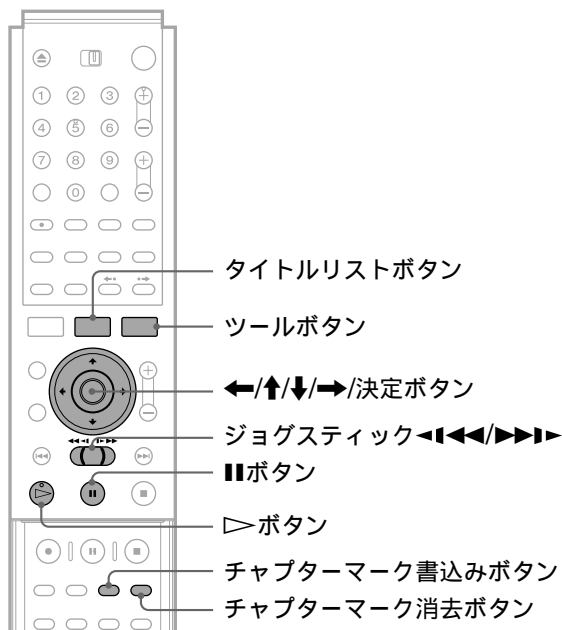
プレイリストのタイトルでできる編集機能：
―タイトルや場面を選んでプレイリストを作る（☞65ページ）。
―タイトルに名前をつける（☞60ページ）。
―複数のタイトルを消去する（☞62ページ）。
―１つのタイトルを消去する（☞61ページ）。
―タイトル内の一部を消去する（A-B 消去）（☞63ページ）。
―タイトルの順序を変える（☞68ページ）。
―1つのタイトルを複数のタイトルに分割する（☞68ページ）。
―複数のタイトルを1つのタイトルに結合する（☞69ページ）。

次のページにつづく

編集する

ここでは基本的な編集について説明します。編集した後は、元の状態に戻すことができないのでご注意ください。
元の録画を変えずにDVD-RWのVRモードを編集したいときは、プレイリストを作成してください（☞65ページ）。

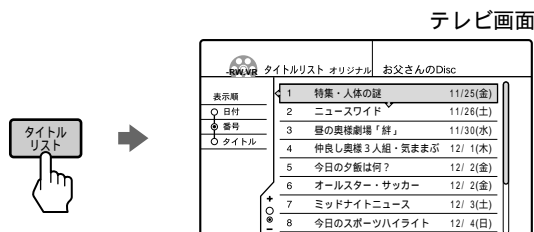
ご注意

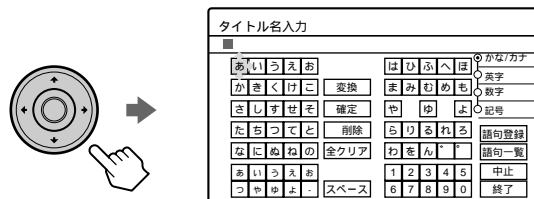
- 「ディスクの管理情報がいっぱいです。」が画面に表示されたら、編集前にいらないタイトルを消去してください。
- DVD-R/DVD-RW（ビデオモード）のとき
  ディスクをファイナライズする前にすべての編集を終えてください。ファイナライズしたディスクを編集することはできません。
- DVD-RW（VRモード）のオリジナルのタイトルのとき
  オリジナルのタイトルを使ってプレイリストを作成することができます。プレイリストを作成した元のオリジナルのタイトルは消去したり編集することはできません。

タイトル名を入力・変更する

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

タイトルに名前をつけたり、変更したりすることができます。入力できる文字数は、最大全角32文字、半角64文字までです。入力したタイトル名はタイトルリストに表示されます。

1 **タイトルリストボタンを押す。**
タイトルリストが出ます。DVD-RW（VRモード）の場合、タイトルリストを「オリジナル」または「プレイリスト」に切り換えるには、ツールボタンを押して、ツールから選びます。

テレビ画面

2 **↑/↓でタイトルを選び、決定ボタンを押す。**
サブメニューが出ます。

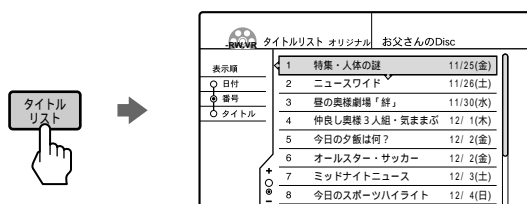
3 **↑/↓で「タイトル名変更」を選び、決定ボタンを押す。**
タイトル名を入力する画面が出ます。入力について詳しくは、☞15ページをご覧ください。

4 **タイトル名の入力・変更が終わったら、←/↑/↓/→で「終了」を選ぶ。**
入力した新しいタイトル名がタイトルリストに表示されます。

タイトルを保護する（プロテクト設定）

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

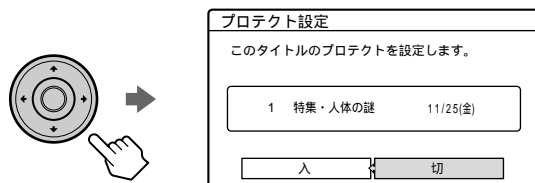
タイトルが誤って消去されないように、タイトルを保護することができます。

1　タイトルリストボタンを押す。

タイトルリストが出ます。タイトルリスト（プレイリスト）が出たら、ツールボタンを押して、ツールから「オリジナル表示」を選びます。

2　↑/↓でタイトルを選び、決定ボタンを押す。

サブメニューが出ます。

3　↑/↓で「プロテクト設定」を選び、決定ボタンを押す。

次の画面が出ます。

4　←/→で「入」を選び、決定ボタンを押す。

タイトルが保護されます。

タイトルリストをズームで表示したとき、保護されたタイトルに🔒がつきます。

保護を解除するには

1　手順**2**で保護されたタイトルを選び、決定ボタンを押す。

2　↑/↓で「プロテクト設定」を選び、決定ボタンを押す。

3　←/→で「切」を選び、決定ボタンを押す。

ディスクごと保護するには

☞41ページをご覧ください。

ご注意

• プレイリストのタイトルを保護することはできません。

1つのタイトルを消去する（タイトル消去）

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

サブメニューから、タイトルを1つずつ消去することができます。

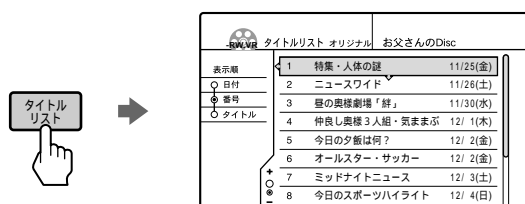
DVD-Rのとき

タイトルを消去してもディスクの空き容量は増えません。

DVD-RW（VRモード）のとき

プレイリストのタイトルを作成したオリジナルのタイトルは消去できません。

1　タイトルリストボタンを押す。

タイトルリストが出ます。DVD-RW（VRモード）の場合、タイトルリストを「オリジナル」または「プレイリスト」に切り換えるには、ツールボタンを押して、ツールから選びます。

2　↑/↓で消去したいタイトルを選び、決定ボタンを押す。

サブメニューが出ます。

3　↑/↓で「タイトル消去」を選び、決定ボタンを押す。

確認画面が出ます。

次のページにつづく

4 **←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

タイトルが消去されます。

選んだタイトルが保護されているとき

確認画面が出ます。

- 消去する場合、→で「プロテクト変更」を選び、保護を解除します。
  保護設定画面が出たら、←/→で「切」を選び、決定ボタンを押します。
- 消去を止める場合、←/→で「閉じる」を選び、決定ボタンを押します。

そのタイトルからプレイリストが作成されているとき

プレイリストを作成したオリジナルのタイトルを消去することはできないので、「閉じる」を選びます。
オリジナルのタイトルを消去したい場合は、まずプレイリストのタイトルを消去してから、オリジナルのタイトルを消去します。

ちょっと一言

- DVD-RWのビデオモードまたはDVD+RWの場合、ディスクマップを使ってタイトルを消去することもできます（☞25ページ）。

複数のタイトルを消去する

（タイトル選択消去）

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

ツールを使って、複数のタイトルを1度にすべて消去することができます。

DVD-Rのとき

タイトルを消去してもディスクの空き容量は増えません。

DVD-RW（VRモード）のとき

プレイリストのタイトルを作成したオリジナルのタイトルは消去できません。

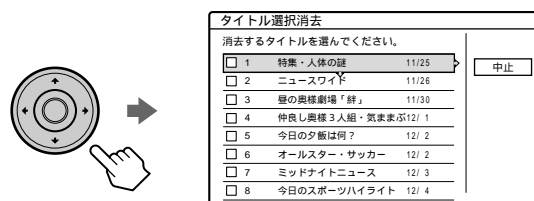
1 **タイトルリストボタンを押す。**

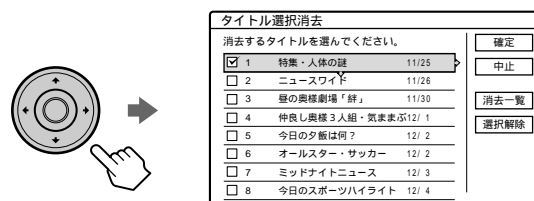
タイトルリストが出ます。DVD-RW（VRモード）の場合、タイトルリストを「オリジナル」または「プレイリスト」に切り換えるには、ツールボタンを押して、ツールから選びます。

2 **ツールボタンを押す。**

ツールが出ます。

3 **↑/↓で「タイトル選択消去」を選び、決定ボタンを押す。**

消去したいタイトルを選ぶ画面が出ます。

4 **↑/↓でタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

選んだタイトルの横のボックスにチェックマークが入ります。
チェックマークを消すには、もう1度決定ボタンを押します。

選んだタイトルを確認するには、「消去一覧」を選びます。
すべてのチェックマークを消すには、「選択解除」を選びます。

5 手順4を繰り返し操作して、消去したいタイトルをすべて選ぶ。

タイトルが保護されているとき
確認画面が出ます。
- 消去する場合、←/→で「プロテクト変更」を選びます。
  保護設定画面が出ます。←/→で「切」を選び、決定ボタンを押します。
- 消去を止める場合、←/→で「閉じる」を選び、決定ボタンを押します。

そのタイトルからプレイリストが作成されているとき
プレイリストを作成したオリジナルのタイトルを消去することはできないので、「閉じる」を選びます。
オリジナルのタイトルを消去したい場合、まずプレイリストのタイトルを消去してからオリジナルのタイトルを消去します。

6 ←/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

確認画面が出ます。
タイトルを選ぶ画面に戻るには、「全て表示」を選びます。

7 ←/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

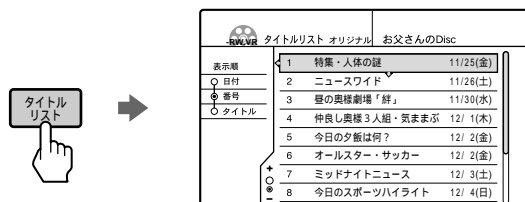
ちょっと一言
- DVD-RWのビデオモードまたはDVD+RWの場合、ディスクマップを使ってタイトルを消去することもできます（☞25ページ）。

タイトルの一部を消去する（A-B消去）

-RW VR

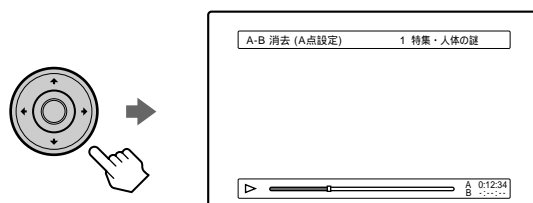
サブメニューを使ってタイトルの一部を消去することができます。
DVD-RW（VRモード）のとき
プレイリストのタイトルを作成したオリジナルのタイトルは消去できません。

1 タイトルリストボタンを押す。

タイトルリストが出ます。タイトルリストを「オリジナル」または「プレイリスト」に切り換えるには、ツールボタンを押して、ツールから選びます。

2 ↑/↓でタイトルを選び、決定ボタンを押す。

サブメニューが出ます。

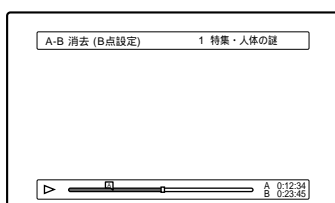
3 ↑/↓で「A-B消去」を選び、決定ボタンを押す。

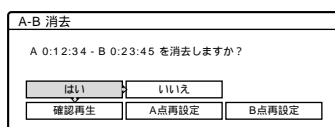
消去開始場面（A点）の設定画面が出ます。
選んだタイトルの再生が始まります。現在の再生している場所を示すバーが表示されます。

タイトルが保護されているとき
確認画面が出ます。
- 消去する場合、←/→で「プロテクト変更」を選びます。
  保護設定画面が出ます。←/→で「切」を選び、決定ボタンを押します。
- 消去を止める場合、←/→で「閉じる」を選び、決定ボタンを押します。

そのタイトルからプレイリストが作成されているとき
プレイリストを作成したオリジナルのタイトルを消去することはできないので、「閉じる」を選びます。
オリジナルのタイトルを消去したい場合、まずプレイリストのタイトルを消去してからオリジナルのタイトルを消去します。

次のページにつづく

4 **Xボタン、ジョグスティック◂◂/▸▸、▷ボタンを使って場面を探し、消去開始場面（A点）で決定ボタンを押す。**

消去終了場面（B点）の設定画面が出ます。

5 **Xボタン、ジョグスティック◂◂/▸▸、▷ボタンを使って場面を探し、消去終了場面（B点）で決定ボタンを押す。**

確認画面が出ます。

内容を確認するには、「確認再生」を選びます。

A点またはB点の設定を変更するには、「A点再設定」または「B点再設定」を選びます。

6 **←/↑/↓/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

A点からB点までのシーンが消去されます。他のシーンも消去するかどうか確認する画面が出ます。

終了する場合、←/→で「いいえ」を選び、決定ボタンを押します。

続けてシーンを消去する場合、←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押します。

ご注意

- 消去した場所の画像や音声が途切れることがあります。
- 5秒未満のシーン消去はできないことがあります。

手動でチャプターを入れるには

-RW VR

好きな場面に手動でチャプターマークを入れることができます。

再生中にチャプターとしてタイトルを分けたい場面でチャプターマーク書込みボタンを押す。

ボタンを押すたびに、「チャプターマーク書込み」が画面に表示され、マークの前後のシーンがチャプターになります。

チャプターマークを消すには

再生中にチャプターマークを消して、2つのチャプターを結合することができます。

1 ⏮または⏭でチャプター番号を探す。

2 消去したいチャプターマークのチャプターを再生しているときに、チャプターマーク消去ボタンを押す。

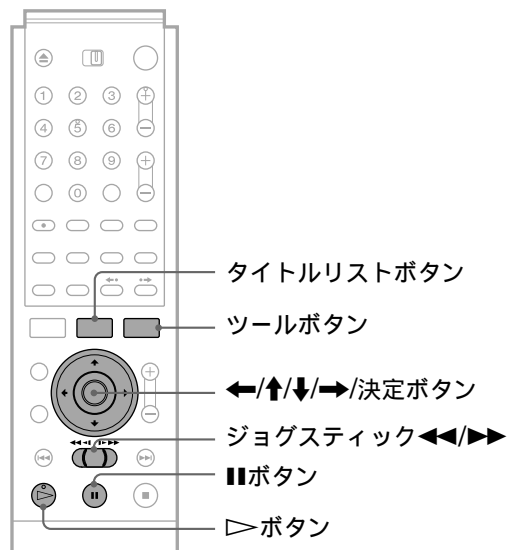
現在再生中のチャプターと1つ前のチャプターが結合され、1つのチャプターになります。

ご注意

- チャプターマークを書き込むときに、一瞬再生が止まることがあります。
- チャプターマークを追加することができないとき、メッセージが表示されます。この場合、ディスクの録画や編集ができなくなることがあります。

プレイリスト編集をする

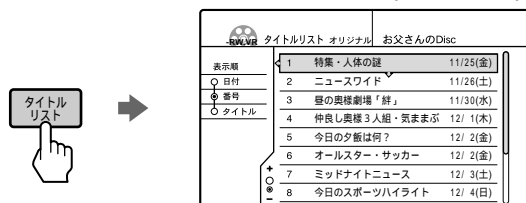
ここではプレイリストの作成方法およびプレイリストを作成することによってできる編集について説明します。
オリジナルのタイトルや他のプレイリストのタイトルからプレイリストを作成します。
プレイリストを編集しても、オリジナルのタイトルはそのままなので、好きなだけ編集することができます。
プレイリストを作成するには、以下を行います。

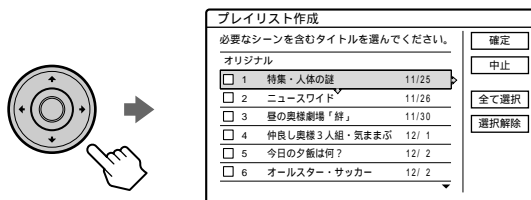
1　タイトルを選びます。
↓
2　選んだタイトルから「シーン切出し」をします。
↓
3　シーンリストでシーンを確認します。
↓
4　シーンリストからシーンを編集します。
↓
5　各シーンをつなげて「プレイリスト」のタイトルを作成します。

他のタイトルからプレイリストを作る

-RW VR

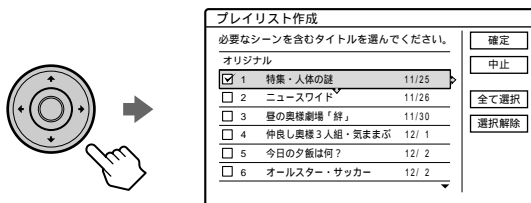
オリジナルや他のプレイリストのタイトルから映像の範囲（シーン）を選び、新しいプレイリストのタイトルを作成します。シーンの順番を変えたり消去するなど、シーンを編集することができます。

1 **タイトルリストボタンを押す。**
オリジナルまたはプレイリストのタイトルリストが出ます。

例：タイトルリスト（オリジナル）

2 **ツールボタンを押す。**
ツールが出ます。

3 **↑/↓で「プレイリスト作成」を選び、決定ボタンを押す。**
タイトルを選ぶ画面が出ます。

4 **↑/↓でプレイリストを作成したいタイトルを選び、決定ボタンを押す。**
選んだタイトルの横のボックスにチェックマークが入ります。
チェックマークを消すには、もう1度決定ボタンを押します。

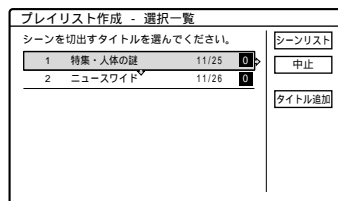
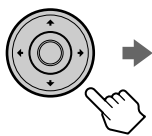
ディスク編集

次のページにつづく

プレイリスト編集をする（つづき）

5 **複数のタイトルから作成する場合、手順4を繰り返し操作する。**

次のページを見るには、↓を押します。
全てのタイトルを選ぶには、「全て選択」を選びます。
すべてのチェックマークを消すには、「選択解除」を選びます。

6 **←/↑/↓/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。**

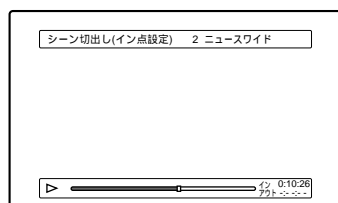
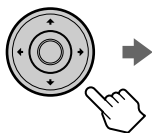
選んだタイトルがリスト表示されます。

7 **↑/↓で1つのタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

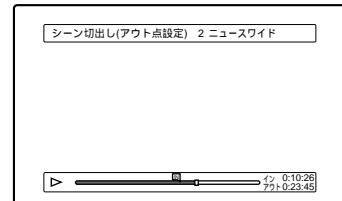
サブメニューが出ます。

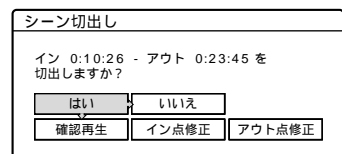
タイトル全体を1つのシーンとして追加するには

「全て切出し」を選び、手順**13**から操作してください。

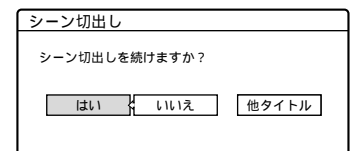
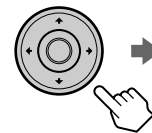
8 **↑/↓で「シーン切出し」を選び、決定ボタンを押す。**

開始場面（イン点）の設定画面が出ます。

9 **IIボタン、ジョグスティック◄II◄◄/►►II►、▷ボタンを使って場面を探し、切出し開始場面で決定ボタンを押す。**

終了場面（アウト点）の設定画面が出ます。

10 **IIボタン、ジョグスティック◄II◄◄/►►II►、▷ボタンを使って場面を探し、切出し終了場面で決定ボタンを押す。**

確認画面が出ます。

内容を確認するには、「確認再生」を選びます。

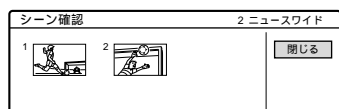
11 **←/↑/↓/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

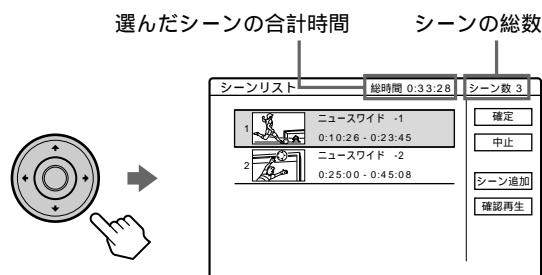
選んだ場面はシーンとして切出され、他のシーンも切出すかどうか選べます。

12 **←/→で項目を選び、決定ボタンを押す。**

同じタイトルからシーン切出しをするには、「はい」を選び、上の手順を繰り返します。
他のタイトルからシーン切出しをするには、「他タイトル」を選び、上の手順を繰り返します。
シーン切出しを終了するには、「いいえ」を選びます。

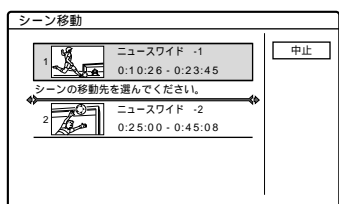
1つのタイトルで切り出したシーンを確認するには

1 ↑/↓で選んだタイトルのリストからタイトルを選び、決定ボタンを押す。
サブメニューが出ます。

2 ↑/↓で「シーン確認」を選び、決定ボタンを押す。
タイトルに含まれる切り出した場面のサムネイルが出ます。

13 ←/↑/↓/→で「シーンリスト」を選び、決定ボタンを押す。

切り出したシーンすべてを含むシーンリストが出ます。

シーンの順番を変えるには（シーン移動）

1 ↑/↓で移動するタイトルを選び、決定ボタンを押す。
サブメニューが出ます。

2 ↑/↓で「シーン移動」を選び、決定ボタンを押す。
移動先選択画面が出ます。

3 ↑/↓で移動先を選び、決定ボタンを押す。
新しい場所にシーンが移動され、シーンリストに戻ります。

シーンを消去するには（シーン消去）

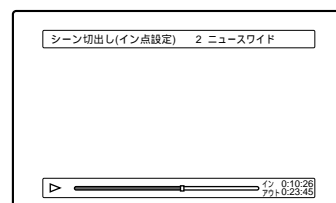
1 ↑/↓で消去するタイトルを選び、決定ボタンを押す。
サブメニューが出ます。

2 ↑/↓で「シーン消去」を選び、決定ボタンを押す。

3 ←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。
シーンが消去され、シーンリストに戻ります。

シーンの内容を変更するには（イン点修正/アウト点修正）

1 ↑/↓で変更するシーンを選び、決定ボタンを押す。
サブメニューが出ます。

2 ↑/↓で「イン点修正」を選び、決定ボタンを押す。
イン点を設定する画面が出ます。

3 手順9〜13を繰り返す。
アウト点を変更するときは、「アウト点修正」を選び、手順**10**〜**13**を繰り返し操作します。

シーンを追加するには

←/↑/↓/→で「シーン追加」を選び、決定ボタンを押し、上の手順を繰り返し操作します。

プレイリストの内容を確認するには

←/↑/↓/→で「確認再生」を選び、決定ボタンを押します。切出されたシーンの再生がリストの順に始まります。再生が終わったら、シーンリストに戻ります。

ディスク編集

次のページにつづく

プレイリスト編集をする（つづき）

14 **←/↑/↓/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。**
選んだシーンをつないで、1つの新しいプレイリストのタイトルができます。タイトル名を設定する画面が出ます。

新たにタイトル名を入力するには
「文字入力」を選び、☞15ページをご覧ください。

元のタイトル名をそのまま使うには
←/→で「確定」を選び、決定ボタンを押します。

入力したタイトル名を含むタイトルリストが出ます。

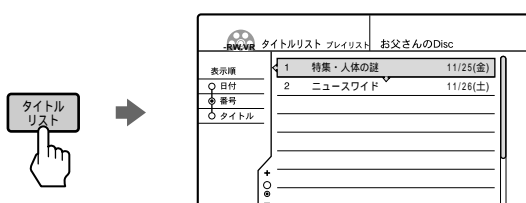
ちょっと一言
- シーンの切出しや編集は、1つのタイトルに50シーンまで設定できます。
- プレイリストのタイトルを作成したら、設定した「イン点」、「アウト点」がチャプターマークになり、それぞれのシーンがチャプターになります。

ご注意
- 編集したシーンを再生するとき、画像が一時停止することがあります。

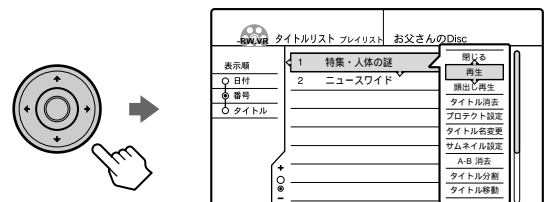
タイトルの順番を変える（タイトル移動）

-RW VR

プレイリストに表示されているタイトルの並び順を変更します。

1 **タイトルリストボタンを押す。**
タイトルリストが出ます。タイトルリスト（オリジナル）が出たら、ツールボタンを押して、ツールから「プレイリスト表示」を選びます。

2 **←で「表示順」を選ぶ。**

3 **↑/↓で「番号」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で移動するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**
サブメニューが出ます。

5 **↑/↓で「タイトル移動」を選び、決定ボタンを押す。**
タイトル移動設定画面が出ます。

6 **↑/↓でタイトルの移動先を選び、決定ボタンを押す。**
選んだタイトルが移動します。新しいタイトルリスト（プレイリスト）に戻ります。

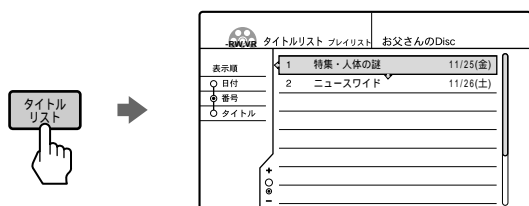
1つのプレイリストのタイトルを2つに分ける

（タイトル分割）

-RW VR

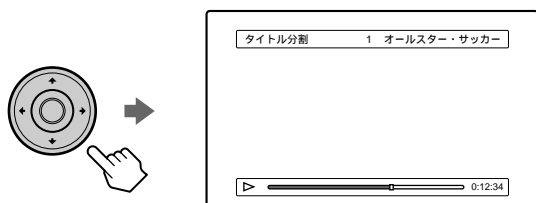
1つのプレイリストのタイトルを2つに分けることができます。例えば、1つのプレイリストのタイトルに2つのサッカーの試合が入っているとき、1つの試合ごとにタイトルを分けることができます。

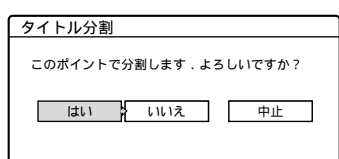
1 タイトルリストボタンを押す。

タイトルリストが出ます。タイトルリスト（オリジナル）が出たら、ツールボタンを押して、ツールから「プレイリスト表示」を選びます。

2 ↑/↓で2つに分けるタイトルを選び、決定ボタンを押す。

サブメニューが出ます。

3 ↑/↓で「タイトル分割」を選び、決定ボタンを押す。

タイトル分割設定画面が出て、タイトルの再生が始まります。

4 IIボタン、ジョグスティック◀◀/▶▶、▷ボタンを使って場面を探し、2つに分ける場面で決定ボタンを押す。

確認画面が出ます。

分ける場面を変更するには、「中止」を選びます。

5 ←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。

新たにタイトル名を入力するかどうかを選ぶ画面が出ます。

新たにタイトル名を入力するには

「はい」を選び、☛15ページの手順にしたがい、新しいタイトル名を入力して、「終了」を選びます。

元のタイトル名をそのまま使うには

「いいえ」を選びます。

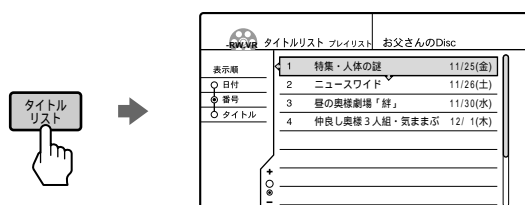
タイトルが2つに分かれます。2つに分かれたタイトルが入っているタイトルリストに戻ります。

複数のプレイリストのタイトルを1つにする（タイトル結合）

-RW VR

複数のタイトルを結合して、プレイリストのタイトルを1つにまとめることができます。

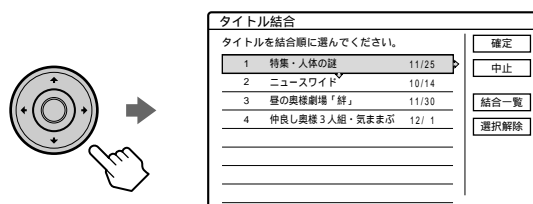
1 タイトルリストボタンを押す。

タイトルリストが出ます。タイトルリスト（オリジナル）が出たら、ツールボタンで押して、ツールより「プレイリスト表示」を選びます。

2 ツールボタンを押す。

ツールが出ます。

3 ↑/↓で「タイトル結合」を選び、決定ボタンを押す。

タイトルを選ぶ画面が出ます。

次のページにつづく

プレイリスト編集をする（つづき）

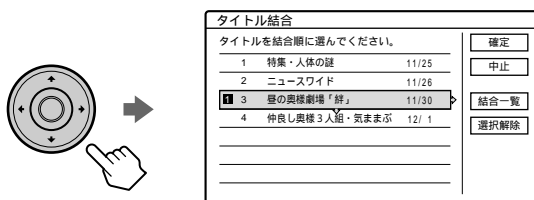
4　↑/↓で結合したいタイトルを選び、決定ボタンを押す。

選んだタイトルの横に、選んだ順番で番号が表示されます。

タイトル結合

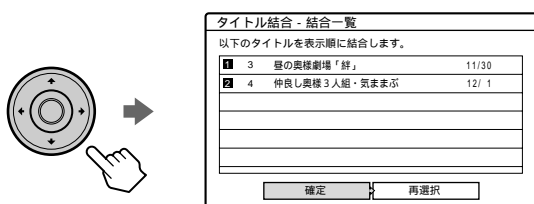
タイトルを結合順に選んでください。

		タイトル	日付
	1	特集・人体の謎	11/25
	2	ニュースワイド	11/26
1	3	昼の奥様劇場「絆」	11/30
	4	仲良し奥様３人組・気ままぶ	12/ 1

確定　中止　結合一覧　選択解除

選択を解除するには、↑/↓でタイトルを選び、決定ボタンを押します。

5　手順4を繰り返し操作して、結合したいタイトルをすべて選ぶ。

結合したタイトルをリスト表示するには、「結合一覧」を選びます。
すべての選んだタイトルの設定を解除するには、「選択解除」を選びます。

6　←/↑/↓/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

確認画面が出ます。

7　←/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

選んだタイトルからタイトル名を選ぶ画面が出ます。
新たにタイトル名を入力するには、「文字入力」を選び、☞15ページをご覧ください。

8　↑/↓で名前を選び、決定ボタンを押す。

タイトルを結合し、タイトルリストに戻ります。

いろいろな編集をする

-RW VR

プレイリストでは以下の編集もできます。
－プレイリストのタイトル名を入力・変更する（☞60ページ）
－プレイリストの1つのタイトルを消去する（☞61ページ）
－プレイリストの複数のタイトルを消去する（☞62ページ）
－プレイリストのタイトルの一部を消去する（A-B消去）（☞63ページ）
－プレイリストのタイトルをチャプターに分ける（☞64ページ）

これらの編集をするには、タイトルリストボタンを押して*、「編集する」（☞60ページ）の操作をしてください。

* タイトルリスト（オリジナル）画面が出たら、ツールボタンを押して、ツールから「プレイリスト表示」を選びます。

ご注意

- プレイリストのタイトルを消去してもディスク容量に空きはできません。

デジタルビデオカメラなどの機器とつなぐ（DV編集）

本機にデジタルビデオカメラなどの機器をつないで、ダビングなどをすることができます。

ダビング、編集の前に必ずお読みください

本機にはデジタル信号を入力するDV IN端子と、アナログ信号を入出力する入出力端子があります。
本機のDV IN端子はi.LINK標準に準拠しています。入力専用となりますが、i.LINK（DV）端子のある機器であれば接続することができます。本機から信号を出力するときは、出力端子をお使いください。詳細については「i.LINKについて」（☞106ページ）をご覧ください。
最初に録画してからディスクを編集したいときは、DV IN端子を使ってDVD-RWのVRモードに録画してください。

DV IN端子からダビングするには

☞下記の「DV IN端子を使ったダビングの準備をする」をご覧ください。

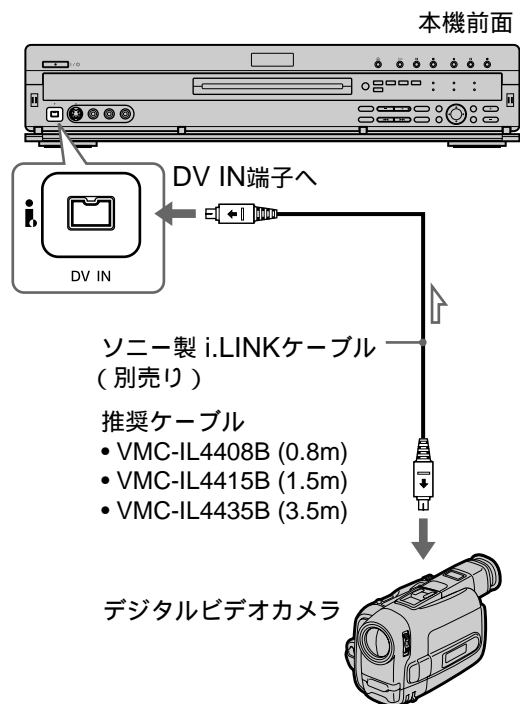
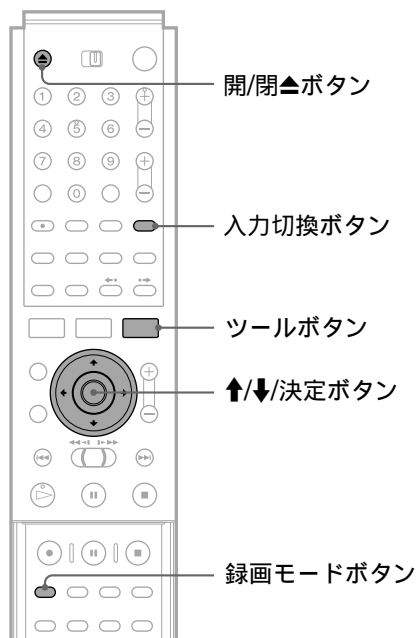
入力端子から録画するには

「ビデオ機器などをつないで録画する」（☞87ページ）をご覧ください。

DV IN端子を使ったダビングの準備をする

本機のDV IN端子にデジタルビデオカメラをつないで、DV/Digital8方式のテープからダビングや編集をすることができます。
本機でテープの早送りや巻戻しをすることができるので、かんたんに操作することができます。個別にデジタルビデオカメラで操作する必要はありません。本機のDV編集機能を使うには以下を行ってください。
接続の前に、デジタルビデオカメラの取扱説明書もご覧ください。

ご注意
• 本機のDV IN端子は入力専用です。
• 本機のDV IN端子（DVC-SD信号）は、MICROMV方式のデジタルビデオカメラのi.LINK端子（MICROMV信号）、およびBSデジタルハイビジョンテレビ、BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナーやD-VHSデッキのi.LINK端子（MPEG-TS信号）とは信号が異なるため、接続できません。
• 著作権保護のための信号が記録されているソフトや放送を録画する場合、録画が制限されることがあります。

ダビング、編集の前に必ずお読みください（つづき）

：映像・音声信号の流れ

1 テレビおよび本機の電源を入れて、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。

2 開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。

充分な空き容量のあるディスクを使ってください。

3 開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。

本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

手順**2**で一度も録画していないDVDディスクを入れた場合、自動的に初期化されます。DVD-RWを使うときは、記録フォーマットを選んでください。

4 デジタルビデオカメラの電源を入れ、ダビングするDV/Digital8方式のテープを入れる。

本機でダビングや編集をするには、デジタルビデオカメラをビデオモードに設定します。

5 リモコンの入力切換ボタンを繰り返し押して、「DV」に切り換える。

次のように本体表示窓が切り換わります。

チャンネル番号 → L1→ L2→ L3 → DV

6 リモコンの録画モードボタンを繰り返し押して、録画モードを選ぶ。

次のように録画モードが切り換わります。

HQ → HSP → SP → LP → EP → SLP

7 **ツールを使って、デジタルビデオカメラで録画したテープから入力する音声を選ぶ。**

1 ツールボタンを押す。

2 ↑/↓で「DV入力音声」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で項目を選び、決定ボタンを押す。

- ステレオ1（お買い上げ時の設定）
- ミックス（ステレオ1および2）
- ステレオ2

録画を開始する準備ができました。

ちょっと一言

- ダビングをする前に、録画の画像を調整することができます。「録画の画質、映像サイズを設定する」（☞35ページ）をご覧ください。
- DVダビングでの編集機能を使うには、DVD-RWディスクのVRモードを使用してください。

ご注意

- 2台以上のデジタルビデオカメラを接続することはできません。
- デジタルビデオカメラによっては、デジタルビデオカメラを本機で操作できないことがあります。
- つないだ機器から本機を操作することは、同じ機種であってもできません。
- 日付や時間、カセットメモリーの内容などをディスクにダビングすることはできません。
- 複数のサンプリング周波数（48kHzや44.1kHz、32kHz）で記録された音声トラックのあるDV/Digital8方式のテープからダビングする場合、再生中、サンプリング周波数が切り換わる場所で数秒間音声が出ません。
- デジタルビデオカメラの時刻を正しく設定しないで録画したテープをダビングすると、シーン検出自動チャプター（☞75、76、79ページ）が使えません。
- 映像サイズの切り換わりの画像や、無記録から記録の切り換わりの画像をダビングして再生したとき、一瞬画像が乱れることがあります。

DVダビングとDV編集機能について

本機ではいろいろな方法でダビングや編集をすることができます。用途に合わせて以下の中から方法を選び、ダビングや編集をしてください。

ワンタッチダビング（☞75ページ）

ONE TOUCH DUBボタンを押すだけのかんたん操作で、テープの内容を丸ごとディスクにダビングします。

プログラムダビング（☞76ページ）

テープの内容の必要な部分だけをディスクにダビングする機能です。テープを再生しながらダビングしたい場面を次々と選んでいくことでプログラム（☞下記）を作成します。ダビングはこの作成したプログラムにしたがって自動的に行われます。ダビングする前にシーンリスト（☞下記）上で選んだ場面（シーン）の順番を変更するなどの編集もできます。

ディスク編集ダビング（☞79ページ）

テープの内容の必要な部分だけをディスクにダビングする機能ですが、テープの内容をすべて一旦ディスクに録画することで、より快適にプログラム（☞下記）を作成することができます。テープの内容をDVD-RWのVRモードのディスクに丸ごとダビングすることで、デジタルビデオカメラでの撮影時の録画スタートから録画ストップまでの1場面を1つのシーンとして、自動でシーンリスト（☞下記）に表示されます（シーンは手動で作ることもできます）。プログラムダビングのように1つ1つシーンを選ぶ必要がありません。このシーンリスト上で不要なシーンを消去したり、順序を変えたりお好みに合わせて編集し、プログラムを完成させます。編集後、DV編集リスト（☞下記）からこのプログラムを使って、他のお好きな種類のディスクにダビングします。
また、最初に使用したDVD-RWディスクには、丸ごとダビングしたオリジナルに加え、編集した内容をプレイリストに保存しておくこともできます。

次のページにつづく

DVダビングとDV編集機能について（つづき）

プログラム再編集（☞82ページ）

DV編集リスト（☞下記）から、ワンタッチダビングとディスク編集ダビングで作成したプログラム（☞下記）を更に編集して、ダビングすることができます。シーンリストでシーンの消去や順序の変更の他に、シーンを新たに追加することもできます。

コピーダビング（☞85ページ）

DV編集リスト（☞下記）に保存されているプログラム（☞下記）を使って、同じ内容でお好きな数だけ他のディスクにコピーできます。他のディスクにコピーするときには、元の映像が録画されているテープから映像を取り込んで、ダビングを行います。

DV編集の「プログラム」について

本機のDV編集では、必要な場面（シーン）を選んだり、シーンの順番を入れ換えたり、不要なシーンを消去したりといった編集内容を「プログラム」と呼びます。プログラムは本機のDV編集リスト（☞下記）に保存されます。また、ワンタッチダビングを行った場合もプログラムとして保存しておくことができます。
同じ内容の複数のディスクを作成するときにこのプログラムを使えば何度も編集などをする必要がありません。また、このプログラムを更に編集してダビングすることもできます。プログラムは、各シーンの開始点と終了点のデータのみを保存しており、映像は含まれていませんので、ダビングの際には元のテープから映像を取り込んでディスクにダビングします。

DV編集リスト

ダビングや編集を行うことで、プログラムが自動的に本機のDV編集リストに保存されます。
DV編集リストは、保存されたプログラムを一覧表示し、ここからプログラムを選んで再編集やコピーダビングができます。最大で20プログラムまで保存できます。

シーンリスト

プログラムの内容はシーンリストに表示されます。各シーンのサムネイル（静止画）や時間情報などを表示します。シーンを追加したり、消去したり、順序を変えるなどの編集を行うときに、このシーンリストを使います。1プログラムには最大で50シーンまで作成できます。

ご注意

- 編集やコピーダビングのときに、元のテープが必要になります。ダビングをした後もテープをなくしたり、テープに上書き録画したりしないでください。

DV編集リスト

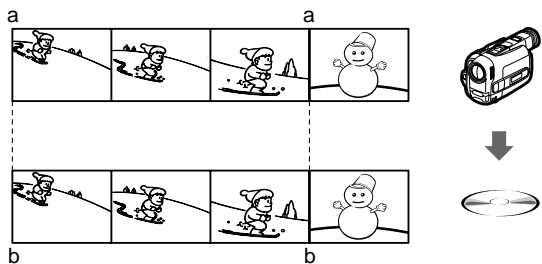
1 プログラム名
2 総再生時間
3 編集またはダビングした日付

シーンリスト

4 サムネイル
5 時間情報
6 選んだプログラムの総再生時間
7 シーンの総数

テープをディスクに丸ごとダビングする（ワンタッチダビング）

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

ONE TOUCH DUBボタンを一押しするだけで、DV/Digital8方式のテープの録画内容を丸ごとお好きなディスクにダビングします。
ボタンを押した後は、本機がデジタルビデオカメラを操作してダビングを完了させます。

DVD-RWのVRモードにダビングするときは、テープの撮影時の録画スタート[a]から録画ストップ[a]までの1場面を1つのチャプターとしてチャプターマーク[b]が自動的に作られます（シーン検出自動チャプター）。他の種類のディスクのときは、セットアップ画面の「フィーチャー」の「自動チャプターマーク」で、設定内容によって6分または15分間隔でチャプターマークを入れます（☞93ページ）。

「DV IN端子を使ったダビングの準備をする」（☞71ページ）の手順1～7を操作して、本体のONE TOUCH DUBボタンを押す。

テープが巻き戻り、テープの内容をダビングし始めます。
ダビングが終わったら、デジタルビデオカメラのテープを巻き戻し、本機の電源が切れます。

ダビング中にダビングを停止するには

録画停止■ボタンを押します。

ちょっと一言

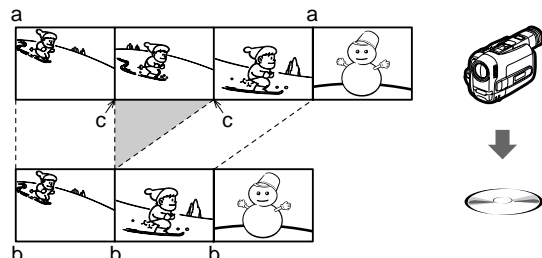
- デジタルビデオカメラでの撮影日時は、DV編集リスト画面（☞82ページ）ではプログラムの名前になります。
（例：DV 03/10/11 11:30AM - 03/11/12 4:46PM）
- セットアップ画面の「フィーチャー」の「ワンタッチダビング設定」で「ディスクファイナライズ」を「自動」に設定すると、ダビング終了時にディスクが自動的にファイナライズされます（☞95ページ）。

ご注意

- ワンタッチダビングのプログラムをDV編集リストに加えるには、セットアップ画面の「フィーチャー」の「ワンタッチダビング設定」で「DV編集リスト登録」を「入」（お買い上げ時の設定）に設定します（☞95ページ）。
- セットアップ画面の「フィーチャー」の「ワンタッチダビング設定」で「DV編集リスト登録」が「入」（お買い上げ時の設定）に設定されていて、本機にすでに20プログラムが保存されていると、ワンタッチダビングは始まりません。このようなときは、本機からお知らせ音が鳴り、本体表示窓が点灯します。DV編集リスト（☞82ページ）から不要なプログラムを消去して、ワンタッチダビングの手順を繰り返してください。
- テープに5分以上記録していない部分があると、ワンタッチダビングは自動的に終了します。
- デジタルビデオカメラによっては、この機能が働かないことがあります。このようなときは、「ビデオ機器などをつないで録画する」（☞87ページ）の説明にしたがってください。
- ダビング終了前に、5分間の無記録動作を自動的に行います。録画停止■ボタンを押すとダビングが終了し、テープを巻き戻して、本機の電源が切れます。

必要な場面を選んでダビングする（プログラムダビング）

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

DV/Digital8方式のテープから場面を選び、選んだ場面だけをお好きなディスクにダビングします。

DVD-RWのVRモードにダビングするときは、テープの撮影時の録画スタート[a]から録画ストップ[a]までの1場面を1つのチャプターとしてチャプターマーク[b]が自動的に作られます（シーン検出自動チャプター）。チャプターマークは選んだ場面のイン点でも作られます[c]。
他の種類のディスクのときは、セットアップ画面の「フィーチャー」の「自動チャプターマーク」で、設定内容によって6分または15分間隔でチャプターマークを入れます（☞93ページ）。

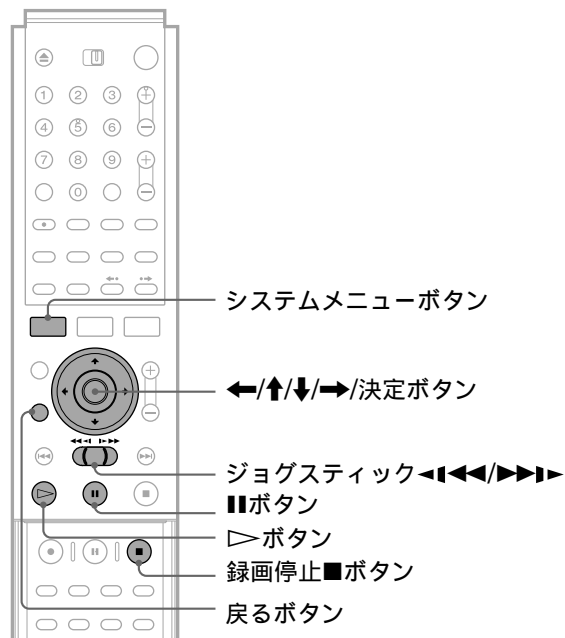
このダビングでは以下を行います：

デジタルビデオカメラを本機につないでダビングの準備をする

ダビングしたい場面を選んで編集する

本機のリモコンを使ってテープの早送り/巻戻しをし、場面を選びます。この時点では選んだ場面はディスクにダビングされません。ダビング用に選択した場面のイン点とアウト点を本機に記憶します。場面の再設定、消去、順序の変更をすることができます。

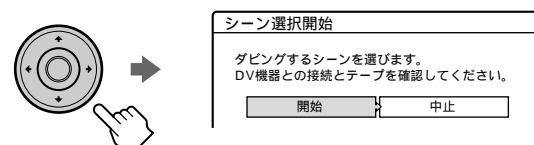
選んだ場面をディスクにダビングする

場面を選んだ後は、本機が自動的にテープの早送りや巻戻しをして、選んだ場面だけをお好きなディスクにダビングします。

1 **「DV IN端子を使ったダビングの準備をする」（☞71ページ）の手順1～7を操作して、システムメニューボタンを押す。**

2 **↑/↓で「DV編集」を選び、決定ボタンを押す。**

DV編集画面が出ます。

3 **↑/↓で「プログラムダビング」を選び、決定ボタンを押す。**

場面の選択を始めるかどうかを選ぶ画面が出ます。

プログラムを途中で止めて保存している場合は（☞手順9）

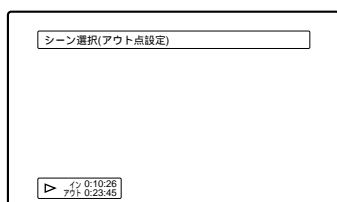
保存しているプログラムを編集するか、新しいプログラムを作成するかどうかを選ぶ画面が出ます。保存しているプログラムを編集するには、「保存データ」を選びます。

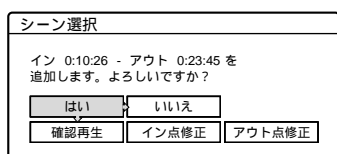
4 ←/→で「開始」を選び、決定ボタンを押す。

ダビング開始場面（イン点）の設定画面が出ます。

5 ▷ボタンを押してデジタルビデオカメラのテープの再生を始める。

6 再生画面を見ながら、IIボタン、ジョグスティック◂ıı◀◀/▶▶ıı▸、▷ボタンでダビング開始場面（イン点）を選び、決定ボタンを押す。

ダビング終了場面（アウト点）の設定画面が出ます。

7 再生画面を見ながら、IIボタン、ジョグスティック◂ıı◀◀/▶▶ıı▸、▷ボタンでダビング終了場面（アウト点）を選び、決定ボタンを押す。

選んだシーンをシーンリストに追加するかどうかを選ぶ画面が出ます。

シーンを見るには、「確認再生」を選びます。イン点またはアウト点を変更するには、「イン点修正」または「アウト点修正」を選びます。手順**5**から繰り返し操作します。

8 ←/↑/↓/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。

選んだシーンが表示されている新しいシーンリストが出ます。

9 ダビングする場面を追加するときは、←/↑/↓/→で「シーン追加」を選び、決定ボタンを押す。手順5〜9を繰り返し操作して、追加するすべてのシーンを選ぶ。

1つのタイトルに50シーンまで設定することができます。

シーンリストを編集するには、←/↑/↓/→でシーンを選んで、決定ボタンを押します。サブメニューが出たら、編集項目を選びます。

シーンを消去するには

1 **↑/↓で「シーン消去」を選び、決定ボタンを押す。**

2 **確認画面が出たら、←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

シーンを移動するには

1 **↑/↓で「シーン移動」を選び、決定ボタンを押す。**
シーンの移動先を選ぶ画面が出ます。

2 **↑/↓で移動先を選び、決定ボタンを押す。**
選んだ場所にシーンが移動します。

シーンの開始または終了場面を変更するには

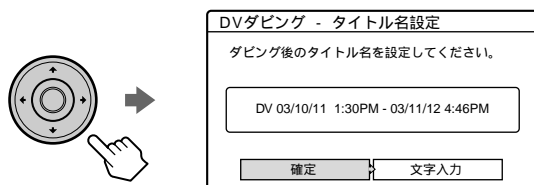
↑/↓で「イン点修正」または「アウト点修正」を選び、決定ボタンを押す。

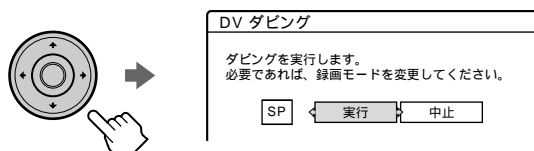
次のページにつづく

必要な場面を選んでダビングする（つづき）

シーンを確認するには
↑/↓で「確認再生」を選び、決定ボタンを押す。

プログラム作成を途中で止めるには、←/↑/↓/→でシーンリストの「中止」を選び、決定ボタンを押します。再び編集するには、手順**3**から操作してください。

10 シーンリストの編集が終わったら、←/↑/↓/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。
タイトル名を入力する画面が出ます。

新たに名まえを入力するには、「文字入力」を選び、☞15ページをご覧ください。

11 ←/↑/↓/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。
タイトル名が決定して、録画を開始するかどうかを選ぶ画面が出ます。録画モードを変えるには、←/→で録画モードを選び、↑/↓で選びます。

12 ←/→で「実行」を選び、決定ボタンを押す。
プログラムしたテープの内容を録画し始めます。
録画を途中で止めるには、録画停止■ボタンを押します。

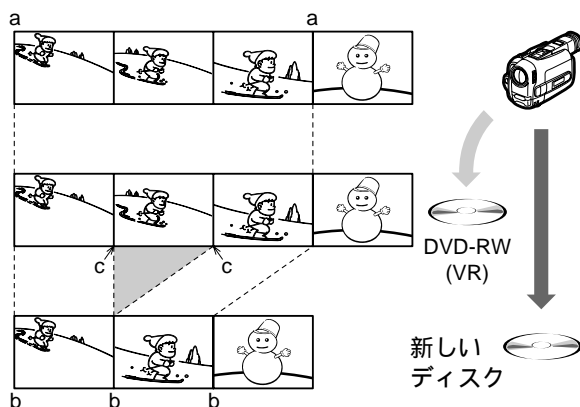
13 録画が終わったら、「閉じる」を選び、決定ボタンを押す。
DV編集画面に戻ります。

14 戻るボタンを繰り返し押して、画面を消す。

ご注意
- テープのタイムコードが連続していなかったり、テープに各録画の間に空きがあるとプログラムどおりにダビングできないことがあります。このようなときは、「ビデオ機器などをつないで録画する」（☞87ページ）の説明にしたがいます。
- DV/Digital8方式のテープが以下のいずれかの状態の場合、プログラム内のシーン開始点、終了点が設定どおりにならないことがあります：
  — デジタルビデオカメラでの記録中に録画モードが変更されていた。
  — テープの記録部分の途中に記録していない部分がある。
- デジタルビデオカメラのテープの1番最初の部分にシーンのイン点を、1番最後の部分にアウト点を設定すると、設定したイン点とアウト点が若干ずれてダビングされることがあります。
- 1秒よりも短いシーンを設定することはできません。
- デジタルビデオカメラによっては、この機能が働かないことがあります。このようなときは、「ビデオ機器などをつないで録画する」（☞87ページ）の説明にしたがいます。

快速編集でダビングする（ディスク編集ダビング）

-RW VR

DV/Digital8方式のテープの録画内容を、最初に丸ごとDVD-RWのVRモードにダビングし、ディスクから必要な場面を選んで、他のディスクにその場面だけをダビングすることができます。そのDVD-RWのVRモードに選んだ場面でプレイリストを作ることもできます。

DVD-RWのVRモードにダビングするときは、テープの撮影時の録画スタート[a]から録画ストップ[a]までの1場面を1つのチャプターとしてチャプターマーク[b]が自動的に作られます（シーン検出自動チャプター）。チャプターマークは選んだ場面のイン点でも作られます[c]。

このダビングでは以下を行います：

デジタルビデオカメラを本機につないでダビングの準備をする

↓

DVD-RWのVRモードにDV/Digital8方式のテープを丸ごとダビングする

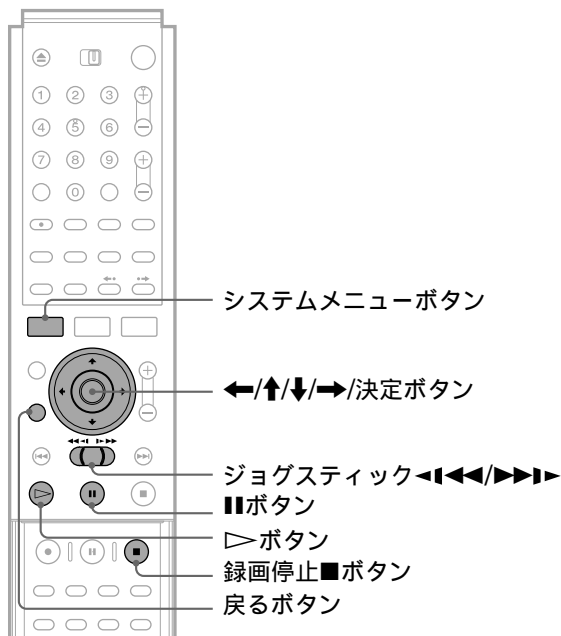
↓

ダビングしたい場面を選んで編集する

ディスクの高速アクセスを利用して、ダビングしたDVD-RWから場面を選びます。「プログラムダビング」（76ページ）の様にテープの早送りや巻戻しをする必要はありません。場面の再設定、消去、順序の変更をすることもできます。

↓

選んだ場面でプレイリストを作成したり、他のディスクにダビングする

場面を選んだ後は、選んだ場面でプレイリストを作ったり、お好きなディスクに選んだ場面だけをダビングします。

1 **「DV IN端子を使ったダビングの準備をする」（71ページ）の手順1〜7を操作して、システムメニューボタンを押す。**

本機に充分な空き容量のあるDVD-RWを入れて、VRモードに初期化してください。

2 **↑/↓で「DV編集」を選び、決定ボタンを押す。**

DV編集画面が出ます。

3 **↑/↓で「ディスク編集ダビング」を選び、決定ボタンを押す。**

ダビングを始めるかどうかを選ぶ画面が出ます。

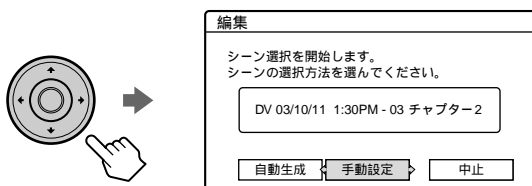
録画モードを変えるには、←/→で録画モードを選び、↑/↓で選びます。

デジタルビデオカメラなどの機器とつなぐ

次のページにつづく

快速編集でダビングする（つづき）

4 ←/→で「実行」を選び、決定ボタンを押す。

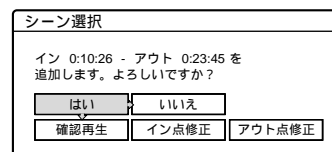
テープの内容をダビングし始めます。
ダビングを途中で止めるには、録画停止■ボタンを押します。
ダビングが終わったら、作ったプログラム内にシーンを自動または手動で作るか、編集を終了するかを選ぶ画面が出ます。

自動でシーンを作るには

←/→で「自動生成」を選び、決定ボタンを押します。
作成したプログラムがシーンに分かれて、シーンリストが出ます。

手動でシーンを作るには

1 ←/→で「手動設定」を選び、決定ボタンを押す。
イン点（シーンの開始場面）を設定する画面が出ます。シーンの再生が始まります。

2 再生画面を見ながら、IIボタン、ジョグスティック◂I◀◀/▶▶I▸、▷ボタンでイン点を選び、決定ボタンを押す。
イン点が設定され、アウト点（シーンの終了場面）を設定する画面が出ます。

3 再生画面を見ながら、IIボタン、ジョグスティック◂I◀◀/▶▶I▸、▷ボタンでアウト点を選び、決定ボタンを押す。
アウト点が設定され、選んだシーンをシーンリストに追加するかどうかを選ぶ画面が出ます。

- シーンを見るには、「確認再生」を選びます。
- イン点またはアウト点を変更するには、「イン点修正」または「アウト点修正」を選びます。

4 ←/↑/↓/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。
選んだシーンが表示されている新しいシーンリストが出ます。

5 ←/↑/↓/→で「シーン追加」を選び、決定ボタンを押す。
シーンの追加先を選ぶ画面が出ます。

6 ↑/↓で追加先を選び、決定ボタンを押す。
イン点（シーン開始）を設定する画面が出ます。

7 手順2〜6の操作を繰り返して、シーンリストに追加したいすべてのシーンを設定します。
50シーンまで設定することができます。

編集を止めるには

←/→で「中止」を選び、決定ボタンを押します。

5 シーンリストを編集するには、←/↑/↓/→でシーンリストからシーンを選び、決定ボタンを押す。

サブメニューが出たら、編集項目を選びます。

シーンを消去するには

1 ↑/↓で「シーン消去」を選び、決定ボタンを押す。

2 確認画面が出たら、←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。

シーンを移動するには

1 ↑/↓で「シーン移動」を選び、決定ボタンを押す。
シーンの移動先を選ぶ画面が出ます。

2 ↑/↓で移動先を選び、決定ボタンを押す。
選んだ場所にシーンが移動します。

シーンの開始または終了場面を変更するには
↑/↓で「イン点修正」または「アウト点修正」を選び、決定ボタンを押す。

シーンを確認するには
↑/↓で「確認再生」を選び、決定ボタンを押す。

操作を止めるには、手順**4**でシーンリストから←/↑/↓/→で「中止」を選び、決定ボタンを押します。

6 シーンリストの編集が終わったら、←/↑/↓/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

編集したプログラムが保存され、プレイリストのタイトルを作成するかどうかを選ぶ画面が出ます。
「いいえ」を選んだ場合、DV編集画面に戻ります。手順**9**から操作してください。

7 ←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。

プレイリストのタイトル名を入力する画面が出ます。
新たに名まえを入力するには、「文字入力」を選び、☞15ページをご覧ください。

8 表示されている名まえを使うときは、←/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

同じディスクに表示されている名まえのプレイリストのタイトルが作られ、DV編集画面に戻ります。
DV/Digital8方式のテープの内容と設定したシーンのプレイリストが入ったディスクができます。
プレイリストのタイトルを編集するには、「プレイリスト編集をする」（☞65ページ）をご覧ください。

9 選んだシーンを他のディスクにダビングする。

選んだシーンをお好みのディスクにコピーします。「他のディスクにコピーする（コピーダビング）」（☞85ページ）の手順**3**から操作してください。

ご注意

- テープのタイムコードが連続していなかったり、テープに各録画の間に空きがあるとプログラムどおりにダビングできないことがあります。このようなときは、「ビデオ機器などをつないで録画する」（☞87ページ）の説明にしたがいます。
- 1秒以下のシーンを設定することはできません。
- DV/Digital8方式のテープが以下のいずれかの状態の場合、プログラム内のシーン開始点、終了点が設定どおりにならないことがあります：
  — デジタルビデオカメラでの記録中に録画モードが変更されていた。
  — テープの記録部分の途中に記録していない部分がある。
- デジタルビデオカメラによっては、この機能が働かないことがあります。このようなときは、「ビデオ機器などをつないで録画する」（☞87ページ）の説明にしたがいます。
- 手順**4**でダビング終了前に、5分間の無記録動作を自動的に行います。録画停止■ボタンを押すとダビングが終了します。

プログラムを再編集する

-RW VR

DV/Digital8方式のテープをダビングするたびに、選んだ場面の開始点と終了点（「プログラム」と呼ばれます）が、DV編集リストに保存されます。DVD-RWのVRモードでワンタッチダビングやディスク編集ダビングをした場合は、シーンの再設定や消去、順序の変更をしてプログラムを再編集することができます。再編集したプログラム内容をお好きなディスクにコピーダビングすることができます。

この機能では以下を行います：

デジタルビデオカメラを本機につないで編集の準備をする

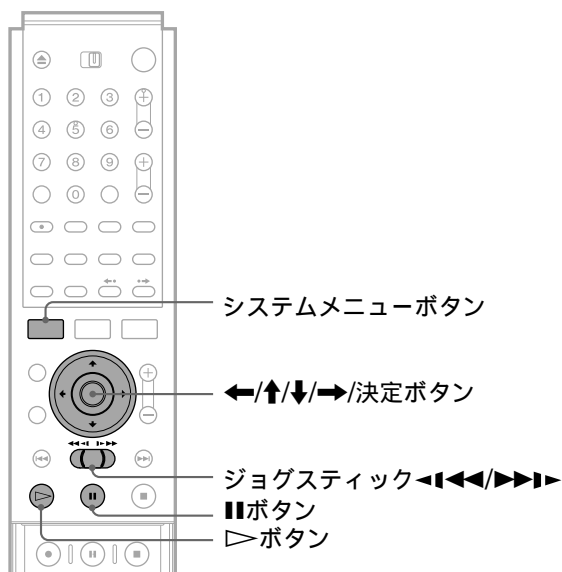
オリジナルのDV/Digital8方式のテープとプログラムを再編集するディスクを使います。

⬇

DV編集リストからプログラムを選ぶ

DV編集リストでプログラムを編集する

選んだ場面を他のディスクにダビングする

本機が自動的にテープの早送りや巻戻しをして、選んだ場面だけをお好きなディスクにダビングします。

1 **「DV IN端子を使ったダビングの準備をする」（☞71ページ）の手順1〜4を操作して、システムメニューボタンを押す。**

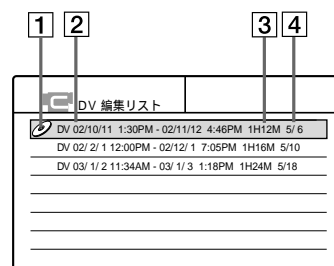
オリジナルのDV/Digital8方式のテープとプログラムを再編集するDVD-RW（VRモード）のディスクを使います。

2 **↑/↓で「DV編集」を選び、決定ボタンを押す。**

DV編集画面が出ます。

3 **↑/↓で「DV編集リスト」を選び、決定ボタンを押す。**

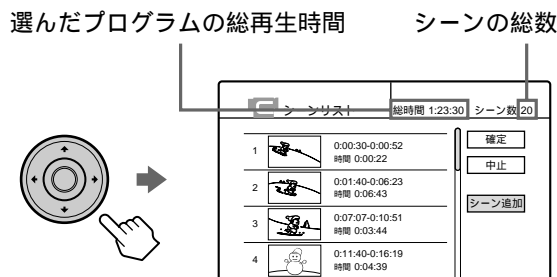
DV編集リストが出ます。

入れたディスクで設定したプログラムの横にディスクマーク（1）が表示されます。ディスクマークが表示されているプログラムのみ編集できます。

1 ディスクマーク
2 プログラム名（カメラでの撮影日時）
3 総再生時間
4 編集またはダビングした日付

4 **↑/↓で編集するプログラムを選び、決定ボタンを押す。**

サブメニューが出ます。

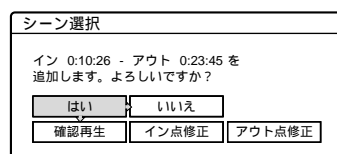
5 ↑/↓で「編集」を選び、決定ボタンを押す。

プログラムに含まれるすべてのシーンが表示されたシーンリストが出ます。

新しいシーンを追加するには

1 ←/↑/↓/→で「シーン追加」を選び、決定ボタンを押す。
シーンの追加先を選ぶ画面が出ます。

2 ↑/↓で追加先を選び、決定ボタンを押す。
シーンの開始場面（イン点）を設定する画面が出ます。シーンの再生が始まります。

3 再生画面を見ながら、❚❚ボタン、ジョグスティック◂❚◀◀/▶▶❚▸、▷ボタンでイン点を選び、決定ボタンを押す。
イン点が設定され、シーンの終了場面（アウト点）を設定する画面が出ます。

4 再生画面を見ながら、❚❚ボタン、ジョグスティック◂❚◀◀/▶▶❚▸、▷ボタンでアウト点を選び、決定ボタンを押す。
アウト点が設定され、選んだシーンをシーンリストに追加するかどうかを選ぶ画面が出ます。

- シーンを見るには、「確認再生」を選びます。
- イン点またはアウト点を変更するには、「イン点修正」または「アウト点修正」を選びます。

5 ←/↑/↓/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。
選んだシーンが表示されている新しいシーンリストが出ます。他にもシーンを追加するには、手順1から繰り返し操作します。

シーンのないプログラムを選んだ場合は
手順4でワンタッチダビングなどシーンのないプログラムを選ぶと、シーンを作るかどうかを選ぶ画面が出ます。
自動でシーンを作るには、←/→で「自動生成」を選び、決定ボタンを押します。
作成したプログラムがシーンに分かれて、シーンリストが出ます。
手動でシーンを作るには、←/→で「手動設定」を選び、決定ボタンを押します。シーンを追加する画面が出ます。上記の手順3〜5を操作します。50シーンまで追加することができます。

6 ↑/↓で編集するシーンを選び、決定ボタンを押す。

サブメニューが出ます。

7 ↑/↓で編集項目を選び、決定ボタンを押す。

シーンを消去するには

1 ↑/↓で「シーン消去」を選び、決定ボタンを押す。

2 確認画面が出たら、←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。

シーンを移動するには

1 ↑/↓で「シーン移動」を選び、決定ボタンを押す。
シーンの移動先を選ぶ画面が出ます。

2 ↑/↓で移動先を選び、決定ボタンを押す。
選んだ場所にシーンが移動します。

シーンの開始または終了場面を変更するには
↑/↓で「イン点修正」または「アウト点修正」を選び、決定ボタンを押す。

シーンを確認するには
↑/↓で「確認再生」を選び、決定ボタンを押す。

操作を止めるには、シーンリストから←/↑/↓/→で「中止」を選び、決定ボタンを押します。

次のページにつづく

プログラムを再編集する（つづき）

8 **シーンリストの編集が終わったら、←/↑/↓/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。**

プレイリストのタイトルを作成するかどうかを選ぶ画面が出ます。
「いいえ」を選んだ場合、編集したプログラムは保存され、DV編集リストに戻ります。
手順**11**に進んで、他のディスクにダビングしてください。

9 **←/→で「はい」を選び、決定ボタンを押す。**

編集したプログラムは保存され、プレイリストのタイトル名を入力する画面が出ます。オリジナルのプログラムが上書きされるのでご注意ください。
新たに名まえを入力するには、「文字入力」を選び、☞15ページをご覧ください。

10 **表示されている名まえを使うときは、←/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。**

同じディスクに表示されている名まえのプレイリストのタイトルが作られ、DV編集画面に戻ります。
DV/Digital8方式のテープの内容と設定したシーンのプレイリストが入ったディスクができます。
プレイリストのタイトルを編集するには、「プレイリスト編集をする」（☞65ページ）をご覧ください。

11 **選んだシーンを他のディスクにダビングする。**

選んだシーンをお好みのディスクにコピーダビングします。「他のディスクにコピーする（コピーダビング）」（☞85ページ）の手順**4**から操作してください。

プログラムを確認するには

プログラムを編集したあとに、再生して変更を確認することができます。

1. DV編集リストが出ているときに、↑/↓で確認したいプログラムを選び、決定ボタンを押す。
2. サブメニューから↑/↓で「確認再生」を選び、決定ボタンを押す。

プログラムのプレイリストのタイトルを作るには

プログラムを編集したあとに、編集したプログラムのプレイリストのタイトルを作ることができます。
プレイリストは本機に入っているDVD-RWのVRモードに作られます。

1. DV編集リストが出ているときに、↑/↓でプログラムを選び、決定ボタンを押す。
2. サブメニューから↑/↓で「プレイリストへ追加」を選び、決定ボタンを押す。
   プレイリストのタイトル名を入力する画面が出ます。
   新たに名まえを入力するには、「文字入力」を選び、☞15ページの操作をします。
3. 表示されている名まえを使うときは、←/→で「確定」を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- 1秒以下のシーンを設定することはできません。
- ワンタッチダビングのプログラムをDV編集リストに加えるには、セットアップ画面の「フィーチャー」の「ワンタッチダビング設定」で「DV編集リスト登録」を「入」（お買い上げ時の設定）に設定します（☞95ページ）。

他のディスクにコピーする（コピーダビング）

-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

DV編集リストのプログラムをコピーすることができます。
ワンタッチダビングやプログラムダビング、ディスク編集ダビングをするたびに、選んだ場面の開始点と終了点（「プログラム」と呼ばれます）が、DV編集リストに保存されます。DV編集リストからプログラムを選び、その情報を使ってプログラムと同じ内容をお好きなディスクにコピーダビングすることができます。

この機能では以下を行います：

デジタルビデオカメラを本機につないでダビングの準備をする

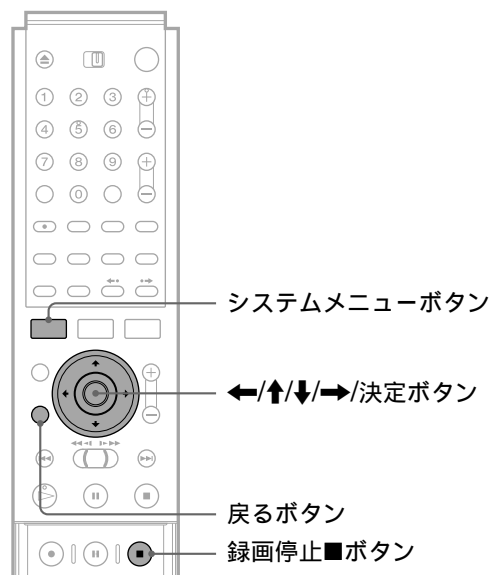
DV編集リストにプログラムしたDV/Digital8方式のテープを使います。

⬇

DV編集リストからプログラムを選ぶ

⬇

選んだ場面を他のディスクにダビングする

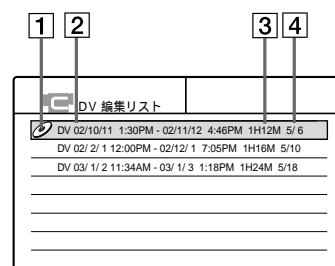
本機が自動的にテープの早送りや巻戻しをして、選んだ場面だけをお好きなディスクにダビングします。DVD-RWのVRモードでは、それぞれのシーンの開始場面（イン点）やテープの撮影時の録画スタートをした場面にチャプターマークが入ります。他のディスクでは、セットアップ画面の「フィーチャー」の「自動チャプターマーク」で、設定内容によって6分または15分間隔にチャプターマークを入れます（☞93ページ）。

1 「DV IN端子を使ったダビングの準備をする」（☞71ページ）の手順1〜7を操作して、システムメニューボタンを押す。

オリジナルのDV/Digital8方式のテープとコピーするお好きなディスクを使います。

2 ↑/↓で「DV編集」を選び、決定ボタンを押す。

DV編集画面が出ます。

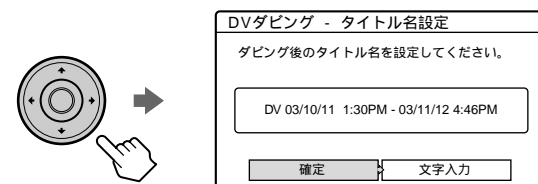
3 ↑/↓で「DV編集リスト」を選び、決定ボタンを押す。

DV編集リストが出ます。

1 ディスクマーク
2 プログラム名（カメラでの撮影日時）
3 総再生時間
4 編集またはダビングした日付

4 ↑/↓でディスクにコピーダビングするプログラムを選び、決定ボタンを押す。

サブメニューが出ます。

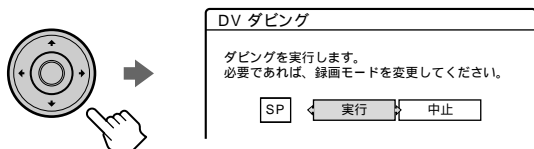
5 ↑/↓で「DVダビング」を選び、決定ボタンを押す。

プレイリストのタイトル名を入力する画面が出ます。

新たに名まえを入力するには、「文字入力」を選び、☞15ページをご覧ください。

次のページにつづく

他のディスクにコピーする（つづき）

6 **表示されている名まえを使うときは、⬅/➡で「確定」を選び、決定ボタンを押す。**

タイトル名が決定して、コピーダビングを開始するかどうかを選ぶ画面が出ます。
録画モードを変えるには、⬅/➡で録画モードを選び、⬆/⬇で選びます。

7 **⬅/➡で「実行」を選び、決定ボタンを押す。**

プログラムしたテープの内容を録画し始めます。
コピーダビングを途中で止めるには、録画停止■ボタンを押します。

8 **コピーダビングが終わったら、決定ボタンを押して、「閉じる」を選びます。**

DV編集画面に戻ります。

9 **戻るボタンを繰り返し押して、画面を消す。**

プログラムの名まえを変更するには

1. DV編集リストが出ているときに、⬆/⬇で変更したいプログラム名を選び、決定ボタンを押す。
2. サブメニューから⬆/⬇で「名称変更」を選び、決定ボタンを押す。
   プログラム名を入力する画面が出ます。
3. ☛15ページの説明にしたがって、名まえを入力する。

プログラムを消去するには

1. DV編集リストが出ているときに、⬆/⬇で消去したいプログラムを選び、決定ボタンを押す。
2. サブメニューから⬆/⬇で「消去」を選び、決定ボタンを押す。
3. ⬅/➡で「はい」を選び、決定ボタンを押す。

ちょっと一言

- 手順**5**で「確認再生」を選ぶと、そのプログラムタイトルに含まれるシーンを確認することが出来ます。

ご注意

- 他のDVD機器で再生したいときは、ディスクをファイナライズしてください（☛39ページ）。
- ワンタッチダビングのプログラムをDV編集リストに加えるには、セットアップ画面の「フィーチャー」の「ワンタッチダビング設定」で「DV編集リスト登録」を「入」（お買い上げ時の設定）に設定します（☛95ページ）。
- 録画内容を含まない部分を編集した場合、コピーダビング機能は働かないことがあります。
- デジタルビデオカメラによっては、この機能が働かないことがあります。そのようなときは、「ビデオ機器などをつないで録画する」（☛87ページ）の説明にしたがってください。

ビデオ機器などをつないで録画する

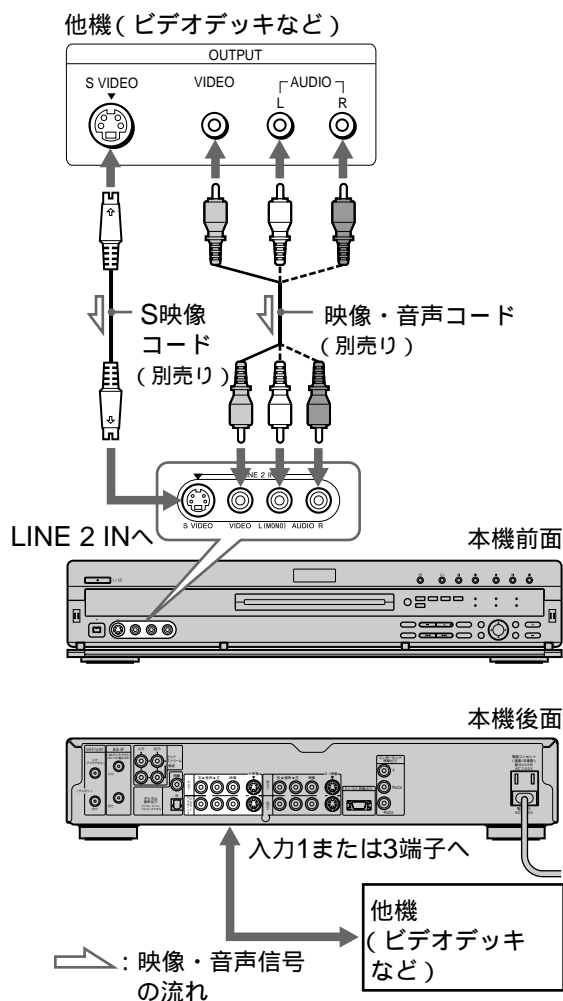
-RW VR　-RW VIDEO　+RW　-R

ビデオデッキやビデオカメラなどの他機を接続して、映像・音声の出力信号を本機で録画することができます。
DV出力端子（i.LINK端子）がある機器の場合は、本機前面のDV IN端子を使うことができます（☞71ページ）。
つないだ機器の取扱説明書もご覧ください。

DV編集機能が使えない場合は

お持ちのデジタルビデオカメラにDV IN端子があっても、DV編集機能が使えない場合は、☞下記の「接続した機器から録画する」の説明にしたがって、以下を操作してください。

－本機前面のDV IN端子にデジタルビデオカメラを接続する。
－手順**4**で「DV」を選ぶ（☞88ページ）。
－手順**6**でツールの「DV入力音声」から「ステレオ1」（お買い上げ時の設定）または「ミックス」、「ステレオ2」のいずれかを選んでください（☞88ページ）。

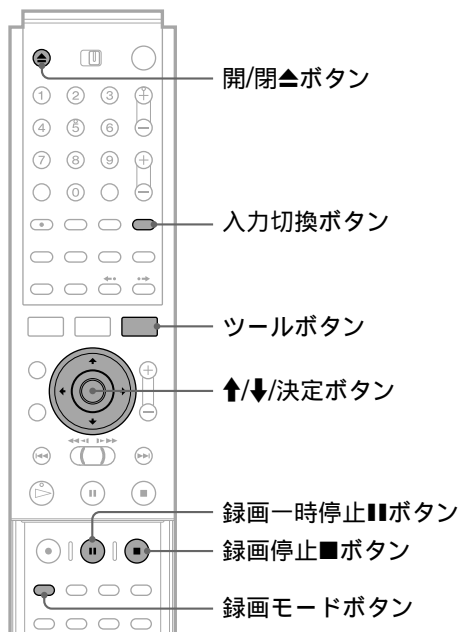
入力1またはLINE 2 IN、入力3端子に他機を接続する

ちょっと一言

• 本機の入力端子につないだ機器がモノラルのときは、モノラルの音声を音声右/左から出力できる音声コード（別売り）をお使いください。

ご注意

• S映像コードでつないだときは、映像・音声コードの映像端子（黄）はつなぎません。
• 本機の出力端子を他機の入力端子へつないだまま、その機器の出力端子を本機の入力端子へつながないでください。ブーンという音が出ることがあります。
• 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像は、ダビングすることができません。

次のページにつづく

接続した機器から録画する

1 **テレビと本機の電源を入れて、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

2 **開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

3 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**
本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

4 **入力切換ボタンを繰り返し押して、接続した入力に切り換える。**
次のように本体表示窓が切り換わります。
チャンネル番号 → L1→ L2→ L3 → DV

5 **録画モードボタンを繰り返し押して、録画モードを選ぶ。**
次のように録画モードが切り換わります。
HQ → HSP → SP → LP → EP → SLP

6 **ツールを使って、入力音声を選ぶ。**
1 ツールボタンを押す。
2 ↑/↓で「外部入力音声」を選び、決定ボタンを押す。
3 ↑/↓で音声を選び、決定ボタンを押す。
- ステレオ（お買い上げ時の設定）
- 二重音声*

* 音声多重放送の番組をDVD-RWのビデオモードまたはDVD+RW、DVD-Rに録画するときは、セットアップ画面の「オプション」で「二重音声記録」から「主音声」または「副音声」の音声を選びます（☞95ページ）。

7 **録画一時停止❚❚ボタンを押して本機を録画一時停止状態にする。**

8 **本機の入力端子につないだ機器にテープを入れて、再生一時停止状態にする。**

9 **本機の録画一時停止❚❚ボタンと、他機の一時停止または再生ボタンを同時に押す。**
録画が始まります。

10 **録画を止めるには、本機の録画停止■ボタンを押す。**

ちょっと一言
- 録画をする前に、録画の画像を調整することができます。「録画の画質、映像サイズを設定する」（☞35ページ）をご覧ください。

ご注意
- ゲームの画面を録画すると、画像が乱れることがあります。

設定と調整

セットアップ画面を使って、本機をお好みに合わせて設定することができます。
ここでは、セットアップ画面のしくみやセットアップ画面の使い方、項目ついて説明します。

設定画面のしくみについて

セットアップ画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVDの字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。

システムメニュー

「セットアップ」を選ぶ

「基本設定」（☞ 別冊「接続と準備」）

「画面設定」（☞ 91ページ）

セットアップ
基本設定 ＴＶタイプ： 16：9
画面設定 一時停止モード： 自動
音声設定 プログレッシブ設定： 自動
フィーチャー 入力１： 映像
オプション 入力３： 映像
かんたん設定

「音声設定」（☞ 92ページ）

セットアップ
基本設定 オーディオ ATT： 切
画面設定 オーディオ DRC： スタンダード
音声設定 ダウンミックス： ドルビーサラウンド
フィーチャー デジタル出力： 入
オプション ドルビーデジタル ダウンミックスPCM
DTS 切
かんたん設定

「フィーチャー」（☞ 93ページ）

「オプション」（☞ 95ページ）

セットアップ
基本設定 ディスク初期化： 初期化時に選択
画面設定 二重音声記録： 主音声
音声設定 表示窓の明るさ： 明
フィーチャー 自動画面表示： 入
オプション リモコンモード： DVD3
電源コンセント： 非連動
かんたん設定 工場出荷設定

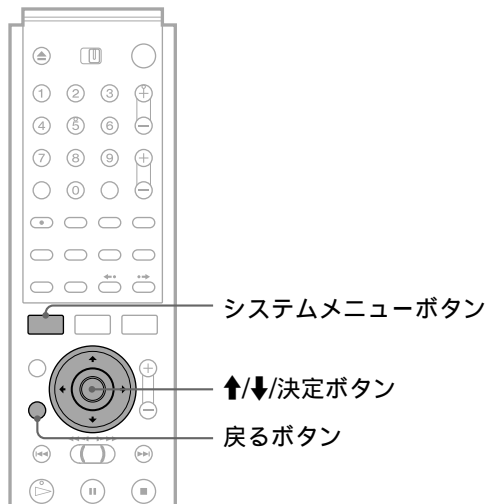
「かんたん設定」（☞ 別冊「接続と準備」）

設定と調整

セットアップ画面を使う

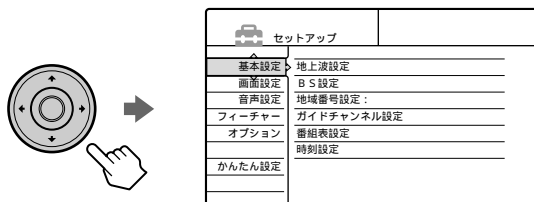
セットアップ画面の使い方について説明します。

ご注意

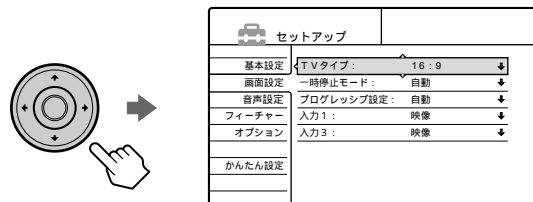
- ディスクに含まれている再生時の設定は、セットアップ画面での設定より優先され、設定しても機能が働かないことがあります。

1 **停止中にシステムメニューボタンを押す。**

システムメニューが出ます。

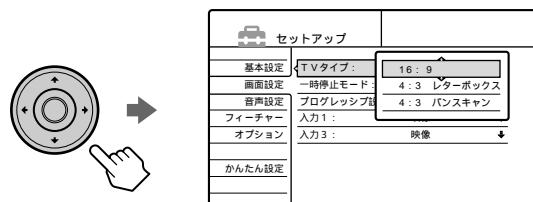
2 **↑/↓で「セットアップ」を選び、決定ボタンを押す。**

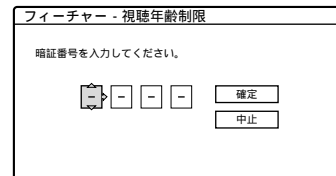
セットアップ画面が出ます。

3 **↑/↓で「基本設定」、「画面設定」、「音声設定」、「フィーチャー」、「オプション」、「かんたん設定」から、設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。**

選択した設定の画面が出ます。

例）「画面設定」

4 **↑/↓で設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。**

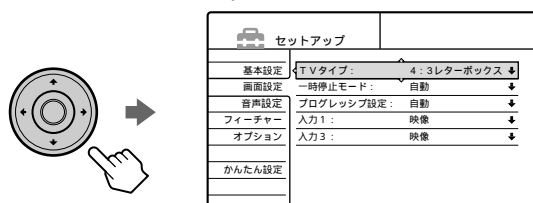
設定内容が出ます。

例）「TVタイプ」

設定項目によっては、新たに設定画面が出ることがあります。

例）「視聴年齢制限」

「視聴年齢設定」については、☞93ページをご覧ください。

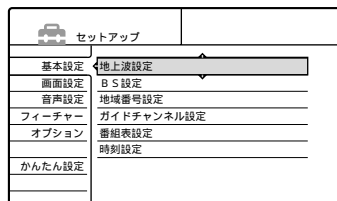
5 **↑/↓で設定内容を選び、決定ボタンを押す。**

設定項目の次に設定した内容が表示されます。

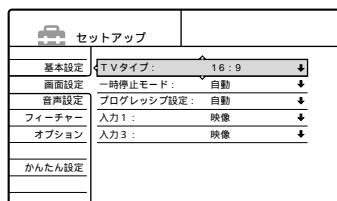
例）「4：3レターボックス」

設定画面を消すには

戻るボタンを繰り返し押します。

基本設定

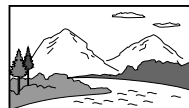
ここでは、本機の基本的な設定をします。設定をするときは、☞別冊「接続と準備」をご覧ください。

映像に関する設定（画面設定）

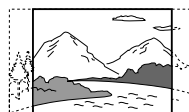
テレビやチューナー、デコーダーなどの接続の条件に合わせて設定します。

セットアップ画面で「画面設定」を選びます。操作のしかたは、「セットアップ画面を使う」（☞90ページ）をご覧ください。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

TVタイプ

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の4:3画面テレビ）を設定します。

項目	内容
16:9	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき
4:3レターボックス	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像の場合は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する
4:3パンスキャン	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像の場合は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する

16:9

4:3レターボックス

4:3パンスキャン

ご注意

- ディスクによっては、「4：3パンスキャン」を選んでいても、自動的に「4：3レターボックス」で再生されることがあります。

一時停止モード（DVDのみ）

一時停止にしたときの画像のモードを設定します。

項目	内容
自動	通常はこの設定にする。動きの大きい被写体の画像がぶれずに見られる
フレーム	動きの少ない被写体の画像が高い解像度で見られる

プログレッシブ設定

映像信号表示をプログレッシブに設定しているときに（☞48ページ）、素材の変換方法を設定します。

項目	内容
自動	通常はこの設定にする。ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換える
ビデオ	記録されている映像がビデオ素材であるかフィルム素材であるかに関わらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換する

入力1

入力１端子からの入力映像信号の種類を選ぶ。

項目	内容
映像	VIDEO端子でつないだときに選ぶ
S映像	S VIDEO端子でつないだときに選ぶ

次のページにつづく

セットアップ画面を使う（つづき）

入力3

入力3端子からの入力映像信号の種類を選ぶ。

項目	内容
映像	VIDEO端子でつないだときに選ぶ
S映像	S VIDEO端子でつないだときに選ぶ

音声に関する設定（音声設定）

再生するときの音の設定を、再生や接続などの条件に合わせて設定します。

セットアップ画面で「音声設定」を選びます。操作のしかたは、「セットアップ画面を使う」（☞90ページ）をご覧ください。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

オーディオATT（attenuation（アテニュエイション））

本機の音声出力レベルを低くして、音が歪まないようにします。
この機能は、次の端子からの出力に効果があります。
－出力1/出力2音声右左端子

項目	内容
入	スピーカーからの音が歪むときなどにこの設定にする
切	通常はこの設定にする

オーディオDRC（Dynamic（ダイナミック） Range（レンジ） Control（コントロール））（DVDのみ）

オーディオDRC対応のDVDの音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。この機能は、次の端子からの出力に効果があります。
－出力1/出力2音声右左端子
－「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に設定したときのデジタル音声出力同軸または光端子

項目	内容
スタンダード	通常はこの設定にする
テレビ	小さい音までよく聞こえるようにする
ワイドレンジ	迫力のある音になる

ダウンミックス（DVDのみ）

リアスピーカーの音声成分（チャンネル）を含むドルビーデジタルまたはDTS方式で記録されているDVDを2チャンネルに変換して再生するとき、この設定を切り換えます。リア音声成分（チャンネル）について詳しくは「再生しているチャンネルを表示する」（☞53ページ）をご覧ください。
この設定は、次の端子からの出力に効果があります。
－出力1/出力2音声右左端子
－「ドルビーデジタル」を「ダウンミックスPCM」に設定したときのデジタル音声出力同軸または光端子

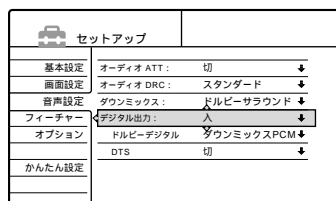
項目	内容
ドルビーサラウンド	通常はこの設定にする。サラウンド用にマルチチャンネル音声を処理した2chで出力する
ノーマル	ステレオ用にマルチチャンネル音声をミックスした2chで出力する

デジタル出力

デジタル音声出力同軸および光端子から音声信号を出力するかしないかを選びます。

項目	内容
入	通常はこの設定にする。この設定を選んだら、☞下記の「音声デジタル出力の信号を設定する」を行う
切	デジタル回路がアナログ回路に与える影響を最小限に抑えられる

音声デジタル出力の信号を設定する

デジタル音声出力同軸および光端子に、デジタル入力端子のあるAVアンプやMDデッキなどの機器をつないだときの、音声信号の出力方式を設定します。接続について詳しくは、☞別冊「接続と準備」をご覧ください。
「デジタル出力」で「入」を選んでから、「ドルビーデジタル」および「DTS」を設定してください。

設定した音声信号の出力方式に対応していない機器を接続していると、音が出なくなったり、異音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

- **ドルビーデジタル（DVDのみ）**
  ドルビーデジタル信号のデジタル出力方式を選びます。

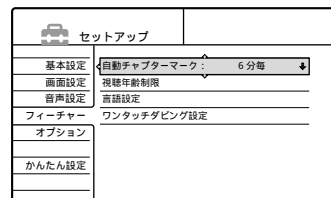
項目	内容
<u>ダウンミックスPCM</u>	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。出力されているときに選ぶ。出力される信号のサラウンド効果の有無は「音声設定」の「ダウンミックス」の設定によって決まる（☞92ページ）
ドルビーデジタル	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ

- DTS（DVD**ビデオのみ**）
  DTS信号のデジタル出力方式を選びます。

項目	内容
入	DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ
<u>切</u>	DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときに選ぶ

フィーチャー設定

フィーチャー設定では、以下の機能を使うための設定をすることができます。

セットアップ画面で「フィーチャー」を選びます。
操作のしかたは、「セットアップ画面を使う」（☞90ページ）をご覧ください。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

自動チャプターマーク

録画中に、一定間隔でチャプターを自動的に区切ります。

項目	内容
マークしない	録画中にチャプターを区切らない
<u>6分毎</u>	録画中、約6分経過ごとにチャプターを区切る
15分毎	録画中、約15分経過ごとにチャプターを区切る

ご注意
- 録画する動画の情報量によっては、実際に区切られるチャプターの間隔はここで設定した間隔とは異なることがあります。設定した区切りの間隔はあくまでも目安としてお使いください。
- DVD-RWのVRモードでDV編集を行うときは、この設定は働きません。シーン検出自動チャプターで自動的にチャプターマークが作られます（☞75、76、79ページ）。

視聴年齢制限（DVDビデオのみ）

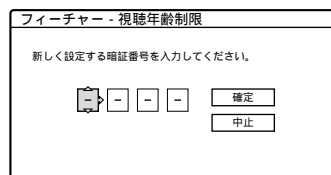
DVDビデオには、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し替えて再生します。

1 「セットアップ画面を使う」（☞90ページ）の手順**1**～**3**の操作をして、セットアップ画面で「フューチャー」を選ぶ。

2 ↑/↓で「視聴年齢制限」を選び、→または決定ボタンを押す。

- **暗証番号が登録されていないとき**
  暗証番号登録の画面が出ます。

設定と調整

次のページにつづく

セットアップ画面を使う（つづき）

- **暗証番号がすでに登録されているとき**
  暗証番号入力の画面が出ます。

3 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、「確定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「地域」を選び、決定ボタンを押す。
「地域」の選択項目が表示されます。

5 ↑/↓で視聴制限レベルの基準にする地域を選び、決定ボタンを押す。
地域が選ばれます。
「その他の地域」を選んだときは、☞右記の表から地域コードを選び、数字ボタンで入力し、「確定」を選び、決定ボタンを押します。

6 ↑/↓で「レベル」を選び、決定ボタンを押す。
「レベル」の選択項目が表示されます。

7 ↑/↓で制限するレベルを選び、決定ボタンを押す。
視聴年齢制限の設定が終了します。
レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

視聴制限を解除するときは

手順**7**で「レベル」を「切」にします。

暗証番号を変更するには

1 手順**4**で「暗証番号変更」を選び、決定ボタンを押す。
暗証番号登録の画面が出ます。

2 数字ボタンで新しい4桁の暗証番号を入力し、「確定」を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

- 登録した暗証番号を忘れてしまったときは、「オプション」の「工場出荷設定」で「視聴年齢制限」を選びます（☞96ページ）。
- 視聴制限機能がないディスクを再生するときは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。つづき再生を解除した場合は、最初に設定したレベルに戻ります。

地域コード

使用する地域	コード番号
アルゼンチン	2044
イギリス	2184
イタリア	2254
インド	2248
インドネシア	2238
オーストラリア	2047
オーストリア	2046
オランダ	2376
カナダ	2079
韓国	2304
シンガポール	2501
スイス	2086
スウェーデン	2499
スペイン	2149
タイ	2528
中国	2092
チリ	2090
デンマーク	2115
ドイツ	2109
日本	2276
ニュージーランド	2390
ノルウェー	2379
パキスタン	2427
フィリピン	2424

使用する地域	コード番号
フィンランド	2165
ブラジル	2070
フランス	2174
ベルギー	2057
ポルトガル	2436
マレーシア	2363
メキシコ	2362
ロシア	2489

言語設定

- DVD**メニュー言語**
  ディスクのメニューの言語を切り換えます。
- **音声言語**
  音声の言語を切り換えます。
  「オリジナル」を選ぶと、ディスク内の優先されている言語が選ばれます。
- **字幕言語**
  字幕の言語を切り換えます。
  「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

ちょっと一言

- 「DVDメニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で「その他→」を選んだときは、言語コード一覧表（☛113ページ）から言語コードを選び入力してください。数字ボタンで言語コードを入力します。

ご注意

- 「DVDメニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で選んだ言語がディスクに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

ワンタッチダビング設定

以下の項目が表示されます。

- **ディスクファイナライズ**
  ワンタッチダビング（☛75ページ）の後に、ファイナライズを自動的にするかどうか設定します。

項目	内容
自動	ワンタッチダビングをすると、自動的にディスクをファイナライズする
手動	手動でディスクをファイナライズする

- DV**編集リスト登録**
  DV/Digital8方式のテープをワンタッチダビングするときに、プログラムを作成することができます。作成したプログラムを編集して、ダビングすることができます。詳しくは、☛75ページをご覧ください。

項目	内容
入	自動的にDV編集リストへ追加する
切	プログラムとして保存されない

その他の設定（オプション）

他にも以下の項目を設定することができます。

セットアップ画面で「オプション」を選びます。操作のしかたは、「セットアップ画面を使う」（☛90ページ）をご覧ください。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

ディスク初期化（DVD-RWのみ）

DVD-RWのディスク初期化のときの記録フォーマットを選びます。

項目	内容
VR	自動的にVRモードで初期化する
ビデオ	自動的にビデオモードで初期化する
初期化時に選択	初期化するときに記録フォーマットを選べるようにする

二重音声記録（DVD-RWのVRモード以外の録画可能なディスク）

ディスクに録画するときの音声を設定します。
DVD-RWのVRモードに録画するときは、主音声と副音声の両方を記録することができるので、設定する必要はありません。

項目	内容
主音声	音声多重放送の主音声で録音する
副音声	音声多重放送の副音声で録音する

設定と調整

次のページにつづく

セットアップ画面を使う（つづき）

表示窓の明るさ

本体の表示窓の明るさを調整します。

項目	内容
明	明るくする
暗	暗くする
消灯	表示を消す

自動画面表示

項目	内容
入	本機の電源を入れたときなどに、自動的に画面に情報が表示される
切	画面表示ボタンを押したときのみ、情報が表示される

リモコンモード

他のDVD機器があるとき、本機のリモコンモードを設定します。選んだ項目にリモコンのリモコンモードスイッチを合わせます。詳しくは、☞別冊「接続と準備」の「手順**7**：リモコンを準備する」をご覧ください。

項目	内容
DVD1	お買い上げ時の設定と他のDVD機器の本体のリモコンモードが同じときに選ぶ
DVD2	お買い上げ時の設定と他のDVD機器の本体のリモコンモードが同じときに選ぶ
DVD3	お買い上げ時の設定

電源コンセント

☞別冊「接続と準備」の「準備**6**：電源コードをつなぐ」をご覧ください。

工場出荷設定

各設定ごとに、出荷時の状態（お買い上げ時の設定）に戻すことができます。選んだ設定のすべての項目の内容がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

1 「セットアップ画面を使う」（☞90ページ）の手順**1**～**3**の操作をして、セットアップ画面で「オプション」を選ぶ。

2 ↑/↓で「工場出荷設定」を選び、→または決定ボタンを押す。
設定項目選択画面が出ます。

3 ↑/↓でお買い上げ時の設定に戻したい設定を「基本設定」、「画面設定」、「音声設定」、「フィーチャー」、「オプション」、「視聴年齢制限」または「全て」から選び、→または決定ボタンを押す。
確認画面が出ます。

4 ←/→で「実行」を選び、決定ボタンを押す。
選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻ります。

5 「終了」が出たら、決定ボタンを押す。

かんたん設定

かんたん設定をしなおすときは、☞別冊「接続と準備」をご覧ください。

その他

ここでは、本機をご使用になる上でのご注意や、本機が正常に動かないときに解決する方法などについて説明します。
また、各部のなまえや索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

電源

電源が入らない。
→ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

画像

映像が出ない、乱れる。
→ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。
→ 接続コードが断線している。
→ セットアップ画面が出ている。戻るボタンを押して消す。
→ 番組表が出ている。戻るボタンを押して消す。
→ テレビとの接続を確認する（☛別冊「接続と準備」）。
→ テレビを本機に接続している入力（「ビデオ」など）に切り換える。
→ ハイビジョンテレビ専用のコンポーネント入力端子（Y/PB/PR）に本機を接続している。S映像コードまたは映像コードで接続する。
→ プログレッシブ方式に対応していないテレビとつないでいるときに、本機をプログレッシブ方式に設定している（PROGRESSIVEランプが点灯している）。本体のPROGRESSIVEボタンを押してランプを消す。
→ プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビでも、プログレッシブを設定していると映像が乱れることがある。本体のPROGRESSIVEボタンを押してランプを消す。
→ ディスクに汚れや傷がある。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	対処
	→ 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続していると、一部のDVDプログラムに使用されているコピー制御信号が画質に悪影響をおよぼす可能性がある。 本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続する（☞別冊「接続と準備」）。
本機で受信しているテレビ放送が映らない。	→ セットアップ画面で、「基本設定」の「地上波設定」を選び、「手動チャンネル設定」で、手動でチャンネルを合わせる（☞別冊「接続と準備」）。 → 入力切換ボタンで正しい外部入力を選ぶ。または、チャンネル＋/－ボタンで他のテレビ局を選ぶ。 → 地上波デジタルテレビジョン放送の開始にともない、「アナログ周波数変更」が行われた地域では、変更前のチャンネルは停波され、番組が見られない。変更後のチャンネルに手動で合わせる（☞別冊「接続と準備」）。
本機で受信しているテレビ放送の画像が汚い。	→ アンテナの向きを調節する。 → 画像を手動微調整する（☞別冊「接続と準備」）。 → 本機とテレビを離して設置する。 → 本機から離してアンテナ線をたばねる。 → 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。
テレビのチャンネルを変えられない。	→ テレビの入力切換を押して見たいチャンネルに切り換える。 → アンテナ線を正しく接続する（☞別冊「接続と準備」）。 → 入力切換ボタンを押して映像が映るように入力をBS放送か地上波放送に合わせる。 → チャンネルをとばすよう設定している場合は、チャンネル＋/－ボタンでは選局できない（☞別冊「接続と準備」）。
本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。	→ 入力切換ボタンを押して、入力1端子につないでいるときは「L1」を、LINE2 IN端子につないでいるときは「L2」を、入力3端子につないでいるときは「L3」、デジタルビデオカメラ用DV IN端子につないでいるときは「DV」を本体表示窓に出す。 → 番組表が出ている。戻るボタンを押して消す。 → S映像端子を使って本機の入力1または入力3端子につないだ場合は、セットアップ画面の「画面設定」で「入力1」または「入力3」を「S映像」に設定する（☞別冊「接続と準備」）。
本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。	→ DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、別売りのチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれている。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つなぐ。
画面設定の「TVタイプ」で設定した画像の形で再生できない。	→ 画像の形が固定されているディスクを再生している。
画面の縦横比がおかしい。	→ テレビの縦横比に画像を合わせてください（☞91ページ）。
BS放送の番組が映らない。	→ BSアンテナやBSデコーダーを正しくつなぐ（☞別冊「接続と準備」）。 → BSアンテナの向きを調整する（☞別冊「接続と準備」）。 → BSアンテナのごみや雪を取り除く。 → セットアップ画面で、「基本設定」の「BS設定」を選び、「チャンネル設定」を「選局しない」に設定する（☞別冊「接続と準備」）。
WOWOWが映らない。	→ 受信契約をして、BSデコーダーを正しくつなぐ（☞別冊「接続と準備」）。 → BSデコーダーの電源を入れる。 → セットアップ画面で、「基本設定」の「BS設定」を選び、「チャンネル設定」を「選局しない」に設定する（☞別冊「接続と準備」）。 → セットアップ画面で、「基本設定」の「BS設定」を選び、「チャンネル設定」で「BS5」を「デコーダー」に設定する（☞別冊「接続と準備」）。

音声

音が出ない。	→ ディスクに汚れや傷がある。 → 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。 → 接続コードが断線している。 → アンプの入力端子を確認する。 → アンプの入力切換で本機の音声が出るようにしていない。 → 一時停止、スロー再生になっている。 → 早送りまたは早戻しになっている。 → デジタル音声出力（光または同軸）端子から音声が出ないときはセットアップ画面の「音声設定」を確認する（☛92ページ）。 → 録画するときにセットアップ画面の「基本設定」で「地上波設定」の「自動ステレオ受信」を「入」に設定する（☛別冊「接続と準備」）。
音がひずむ。	→ セットアップ画面の「音声設定」で「オーディオATT」を「入」に設定する（☛92ページ）。
音が小さい。	→ DVDによっては、再生時の音量が小さい場合がある。セットアップ画面の「音声設定」で「オーディオDRC」を「テレビ」に設定（☛92ページ）すると、改善されることがある。 → セットアップ画面の「音声設定」で「オーディオATT」を「切」に設定する（☛92ページ）。
音声多重放送の音声が切り換えられない。	→ 音声多重放送（主音声および副音声）の音声をDVD-RW（ビデオモード）やDVD+RW、DVD-Rに記録することはできない。録画する前に、セットアップ画面の「オプション」で「二重音声記録」を「主音声」または「副音声」に設定する（☛95ページ）。主音声と副音声の両方を記録するには、DVD-RWのVRモードに録画する。 → 電波が弱いためモノラルまたは主音声だけで録画されていた。アンテナの向きを調節するか、別売りのアンテナブースターで電波を増幅する。

番組表（Gガイド）

番組表が表示されない。	→ 接続と「かんたん設定」が終了しても、番組表のデータを受信するまでは表示されない。受信が終わるまでしばらく待つ。受信までに、1日程度かかることもある。 → 日付や時刻が正しく設定されていない（☛別冊「接続と準備」）。 → 番組表のデータを送信している放送局（☛別冊「接続と準備」）の受信状態が悪いため、番組表を表示できない。 → 間違った地域番号が設定されている。セットアップ画面で「かんたん設定」を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直す（☛別冊「接続と準備」の「準備**8**：かんたん設定をする」）。 → Gガイドの番組情報送信放送局または送信時刻が変わったため。正しい放送局や時刻を設定する（☛別冊「接続と準備」）。 → Gガイドの番組情報送信放送局または送信時刻を誤った設定に変更したため。セットアップ画面で「かんたん設定」を選び、もう一度設定をやり直す（☛別冊「接続と準備」の「準備**8**：かんたん設定をする」）。 → 録画中だったため、番組表が取得されない。 → 番組表データの受信中にチャンネルを切り換えた。 → お住まいの地域によっては、番組表を受信できない場合がある。
表示されない放送局がある。	→ セットアップ画面の「基本設定」の「手動チャンネル設定」で「アップダウン選局」が「する」に設定されている（☛別冊「接続と準備」）。 → 間違った地域番号が設定されている。セットアップ画面で「かんたん設定」を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直す（☛別冊「接続と準備」の「準備**8**：かんたん設定をする」）。 → 番組表のデータに含まれない放送局は表示されない。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

番組表が受信・更新されない。	➔ 更新時の受信状態が悪く、最新の番組表を受信できなかった。 ➔ 番組表データの受信中にチャンネルを切り換えた。 ➔ Gガイドの番組情報送信放送局または送信時刻が変わったため。正しい放送局や時刻を設定する（☛別冊「接続と準備」）。 ➔ Gガイドの番組情報送信放送局または送信時刻を誤った設定に変更したため。セットアップ画面で「かんたん設定」を選び、もう一度設定をやり直す（☛別冊「接続と準備」の「準備**8**：かんたん設定をする」）。 ➔ 受信時刻に録画中または再生中だったため、番組表が受信・更新されなかった。 ➔ 受信時刻にシンクロ録画予約待機中（☛37ページ）だったため、番組表が受信・更新されなかった。
番組表に表示されない番組がある。	➔ 受信状態が悪いため、すべての番組表データを受信できなかった。 ➔ 時刻別番組表には、短い番組（5分間の番組など）は表示されない。チャンネル別番組表を使う（☛別冊「接続と準備」）。

録画・予約・編集

裏番組録画中、テレビでチャンネルを変えられない。	➔ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。
録画●ボタンを押しても、すぐに録画が始まらない。	➔ 録画されていないDVD-RWのディスクを入れて、VRモードに初期化しているため。本体表示窓の「LOAD」が消えるまで待つ。
録画中に録画停止■ボタンを押してもすぐに止まらない。	➔ 録画が止まる前にディスクにデータを記録するため、数秒かかる。
録画中に■ボタンを押しても、録画が止まらない。	➔ 録画停止■ボタンを押す。
予約したのに録画されていない。	➔ 録画中に停電があった。 ➔ 1時間以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す（☛別冊「接続と準備」の「時計を合わせる」）。 ➔ 予約した後で、予約したチャンネルをとばしたため（☛別冊「接続と準備」の「不要なチャンネルをとばす」）。 ➔ 電源プラグをコンセントからはずし、もう一度差し込む。 ➔ コピー制御信号が含まれている映像を録画しようとしていた。 ➔ 後から設定した予約、または優先設定をした予約が重なっていた（☛34ページ）。
予約した内容が途中で切れている。	➔ 予約録画中に停電が起きて電源が切れたため。1時間以内に停電が回復すれば時計は止まらず、回復時から終了時刻まで録画される。1時間以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直す（☛別冊「接続と準備」の「時計を合わせる」）。 ➔ 後から設定した予約、または優先設定をした予約が重なっていた（☛34ページ）。 ➔ ディスク残量が足りなかった。
以前録画した内容がなくなっている。	➔ DVDディスクにパソコンで録画したデータは、ディスクを本機に入れたときに消去されることがある。

Gコード

Gコードが入力できない。予約内容が違う。

- → 間違ったGコードが入力されている。正しいGコードを入力する。
- → 日付がずれている。日付・時計を正しく合わせる（☞別冊「接続と準備」の「時計を合わせる」）。
- → 間違った地域番号が設定されている。セットアップ画面の「かんたん設定」で正しい地域番号を設定する。
- → 受信している放送局が登録されていない。受信チャンネルを追加し、そのチャンネルのGコード予約の設定をする（☞別冊「接続と準備」の「Gコード予約できる放送局を追加する」）。
- → ケーブルテレビ（CATV）は、Gコードで予約できないことがある。時刻指定予約をする。

本機につないだチューナーからの録画

シンクロ録画予約したのに録画されていない。

- → 本機につないだ機器の電源を切り忘れたため。本機につないだ機器の電源を切ってからシンクロ録画予約待機にする（☞37ページ）。
- → 本機がシンクロ予約待機状態になっていない。シンクロ録画ボタンを押して本機をスタンバイモードにする。本体のSYNCHRO RECランプが点灯していることを確認する（☞37ページ）。

シンクロ録画予約した内容が途中で切れている。

- → 本機とつないだ機器の予約が本体の予約と重なっている（☞38ページ）。
- → シンクロ録画中に停電が起きて電源が切れたため。

チューナーの電源を入れると、本機が自動的に録画を始めてしまう。

- → シンクロ録画機能が働いている。チューナーの電源を切って、リモコンのシンクロ録画ボタンを押す。

再生

再生が始まらない。

- → ディスクが入っていない。
- → 録画されていないディスクが入っている。
- → ディスクが裏返しに入っている。再生面を下にする。
- → ディスクが斜めにずれて入っている。
- → CD-ROMなどの再生できないディスクを入れている（☞44ページ）。
- → 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている（☞44ページ）。
- → 結露している（☞3ページ）。
- → 他機で録画したディスクを本機で再生する場合、ファイナライズされていないディスクは再生することができない（☞44ページ）。

再生がディスクの最初から始まらない。

- → つづき再生になっている（☞47ページ）。停止中に、ツールから「つづき再生解除」を選び、決定ボタンを押して、つづき再生を解除する。
- → 自動的にタイトルメニュー、DVDメニューの画面が出るディスクを入れている。

再生が自動的に始まる。

- → 自動的に再生が始まるDVDを入れている。

再生が自動的に止まる。

- → ディスクによってはオートポーズ信号が記録されているものがある。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。

停止、早送り/早戻し、スロー再生などの操作ができない。

- → 操作を禁止しているディスクを再生している。ディスクに付属の説明書もあわせて見る。

音声言語を変更できない。

- → 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。
- → 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。
- → DVDメニューから操作してみる。

字幕を変更できない。

- → 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。
- → 字幕の変更や消すのを禁止しているDVDを再生している。
- → DVDメニューから操作してみる。

アングルを変更して見ることができない。

- → 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。
- → 本体表示窓に「ANGLE」が出ていない場面で、アングルを切り換えている（☞54ページ）。
- → アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。
- → DVDメニューから操作してみる。

次のページにつづく

表示

時刻が止まっている。	→ 時計を合わせる（☛別冊「接続と準備」の「時計を合わせる」）。 → 1時間以上の停電で時計が止まっている。時計を合わせ直す（☛別冊「接続と準備」の「時計を合わせる」）。
本体のTIMER RECランプが点滅している。	→ ディスクの空き容量がないか、録画されているタイトル数が99タイトルになっているため。続けて録画する場合は、録画するディスクを入れる。 → 本機に録画可能なディスクが入っていない。
間違った放送局名が表示される。	→ 間違った地域番号が設定されている。セットアップ画面で「かんたん設定」を選び、正しい地域番号でかんたん設定をやり直す（☛別冊「接続と準備」「手順**8**：かんたん設定をする」）。 → 引越して番組表を受信できない場合などに、前に受信していた放送局名が表示されることがある。セットアップ画面の「オプション」で「工場出荷設定」（☛96ページ）を行うと、消すことができる。
録画モードが正しく表示されない。	→ 3分未満の録画をしたとき、再生中に録画したときの録画モードを正しく表示できないことがある。設定した録画モードで録画されるが、再生時の表示が変わることがある。

リモコン

リモコンが働かない。	→ 乾電池が消耗している（☛別冊「接続と準備」の「準備**7**：リモコンを準備する」）。 → 乾電池を交換すると、テレビのメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る場合がある。リモコンのメーカー指定ボタンを合わせ直す（☛別冊「接続と準備」の「リモコンで各社のテレビを操作する」）。 → リモコンを本体に向けて操作する（☛別冊「接続と準備」の「準備**7**：リモコンを準備する」）。 → 本体とリモコンのリモコンモードが違っている。同じリモコンモードにする（☛別冊「接続と準備」の「準備**7**：リモコンを準備する」）。 → リモコンを本体から遠いところで操作している。 → リモコンに乾電池が入っていない（☛別冊「接続と準備」の「準備**7**：リモコンを準備する」）。
本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニーのDVDプレーヤーが同時に動いてしまった。	→ 本機と他機のリモコンモードが同じになっている。本機のリモコンモードを変える（☛別冊「接続と準備」の「準備**7**：リモコンを準備する」）。
リモコンの数字ボタンでチャンネルを選ぶことができない。	→ チャンネルは、チャンネル＋/－ボタンで選ぶ。数字ボタンはGコード予約をするときに使う。

正常に動作しない。	→ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切ってから電源コードを抜き、再びコードを差して電源を入れる。
チャンネルを切り換えたとき画像が出るまで時間がかかる。	→ 番組表の受信が終了した後は、画像が出るまで時間がかかることがある。
本機の表示窓に何も表示されない。	→ セットアップ画面の「オプション」で「表示窓の明るさ」を「消灯」に設定している（☞96ページ）。
アルファベットや数字で5桁の番号が本機表示窓に表示されている。	→ 自己診断機能が働いている（☞103ページ）。
⏏（開/閉）ボタンを押してもディスクトレイが開かない。	→ ディスクに録画や編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに数秒かかることがある。これは、本機がディスクにディスク情報を追加しているため。
「RECOVERY」が本機表示窓に表示されている。	→ 録画中に停電などで電源が切れてから電源が入ると、本機の修復機能が働く。表示窓から「RECOVERY」が消えるまで待つ。

自己診断機能について

（アルファベットで始まる表示が出たら）

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号（例：C 15 50）が表示されます。その際は次のように対応してください。

サービス番号の最初の3桁	原因と対応
C 13	ディスクが汚れています ➡ 柔らかい布でディスクを拭きます（☞105ページ）
C 31	ディスクが正しく入っていません ➡ ディスクを正しく入れ直します
E XX （XXは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働きました ➡ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください 例：E 61 10

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
症状が改善されないときは、お客様ご相談センターへご連絡ください（☞裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではDVDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

●型名：RDR-GX7
●ディスクの種類：DVDビデオ、DVD-RW、DVD-Rなど
●接続しているアンテナ：VHF/UHF、VHF/UHF/BS混合、CATV
●つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名
●故障の状態：できるだけ詳しく
●購入年月日：

ディスクの取り扱い上のご注意

- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当るところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿られた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
  ー円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星型など）をしたディスク
  ー紙やシールの貼られたディスク
  ーセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

番組表について

本機では、番組表*の表示機能にGガイドシステムを採用しています。Gガイドシステムを利用した番組表は、特定の放送局（ホスト局）の地上波テレビ放送とともに送信されています。本機は、そのデータを1日数回自動的に受信して、テレビ画面に番組表を表示しています。
ホスト局からの放送を受信できる地域にお住まいの場合は、かんたん設定を行うだけで、この番組情報サービスを無料にてご利用いただけます。ただし、お住まいの地域や電波状況によっては、ご利用できない場合もあります。

* 当社では、Gガイドシステムを利用した番組表のサービス内容には関与していません。

Gガイドシステムについて

Gガイドシステムは、（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドがサービス主体となり、特定の放送局の放送波を利用して番組表データを送信するサービスです。番組表のデータ送信は（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドと、データ送信を行う放送局側で行われているため、都合によりデータが送信されない場合もあります。

Gガイドのサービス地域について

Gガイドシステムを利用した番組表データは、次の放送局より送信されています（2002年10月現在）。

- 北海道地域ー北海道放送（HBC）
- 東北地域ー青森テレビ（ATV）、秋田テレビ（AKT）、IBC岩手放送（IBC）、テレビユー山形（TUY）、東北放送（TBC）、 テレビユー福島（TUF）
- 関東地域ー東京放送（TBS）
- 中部地域ー新潟放送（BSN）、信越放送（SBC）、静岡放送（SBS）、中部日本放送（CBC）、テレビ山梨（UTY）、チューリップテレビ（TUT）、北陸放送（MRO）、福井テレビ（FTB）
- 近畿地域ー毎日放送（MBS）、朝日放送（ABC）
- 中国・四国地域ー山陽放送（RSK）、中国放送（RCC）、テレビ山口（TYS）、山陰放送（BSS）、伊予テレビ（ITV）、テレビ高知（KUTV）
- 九州・沖縄地域ーRKB毎日放送（RKB）、長崎放送（NBC）、大分放送（OBS）、熊本放送（RKK）、宮崎放送（MRT）、 南日本放送（MBC）、琉球放送（RBC）

i.LINK（アイリンク）について

本機のデジタルビデオカメラ用i.LINK端子はi.LINKに準拠したデジタルビデオカメラ用DV IN端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ちょっと一言

- i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
  IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

ご注意

- i.LINKは、すべての対応機器での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100Mbps*）
S200（最大転送速度　約200Mbps）
S400（最大転送速度　約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

本機のi.LINK端子は入力専用です。また、本機のi.LINK端子（DVC-SD信号）は、MICROMV方式のデジタルビデオカメラのi.LINK端子（MICROMV信号）、およびBSデジタルハイビジョンテレビ、BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナーやD-VHSデッキのi.LINK端子（MPEG-TS信号）とは信号が異なるため、接続できません。使用方法および、接続の際のご注意については☞71ページをご覧ください。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションの有無などについては、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。
4ピン←→4ピン（DVダビング時）

i.LINKはIEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINK、i™は商標です。

主な仕様

システム

形式	DVDレコーダー
信号方式	JEITA標準、NTSCカラー方式
受信チャンネル	VHF：1～12チャンネル UHF：13～62チャンネル CATV：C13～C38チャンネル BS：1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル
映像受信方式	周波数シンセサイザー方式
音声受信方式	スプリットキャリア方式
アンテナ入出力	地上波：VHF/UHF1軸、75Ω F型コネクター BS-IF：75Ω F型コネクター（コンバーター用電源出力DC15V 最大4W、芯線側＋、メニューにて自動/入/切を切り換え）
タイマー	時計方式：クォーツロック、12時間デジタル表示 停電補償時間：約1時間
映像圧縮方式	MPEG
音声圧縮方式/ビットレート	Dolby Digitalステレオ/256 kbps

音声特性（再生時）

周波数特性	DVD（PCM 96 kHz）：4 Hz～44 kHz（±1.0 dB）/DVD（PCM 48 kHz）：4 Hz～22 kHz（±0.5 dB）/CD：4 Hz～20 kHz（±0.5 dB）*
信号対雑音比（S/N比）	DVD：115 dB*
全高調波ひずみ率	DVD：0.002 %*
ダイナミックレンジ	DVD：110 dB/CD：100 dB*
ワウ・フラッター	DVD：測定限界（0.001% W PEAK）以下*

* JEITA（電子情報技術産業協会）の規定による測定値です。

音声特性（録画/再生時）

周波数特性	DVD（Dolby Digital 48 kHz）：10 Hz～20 kHz（±1.0 dB）
信号対雑音比（S/N比）	DVD：96 dB
全高調波ひずみ率	DVD：0.004 %
ダイナミックレンジ	DVD：96 dB

96 kHz PCM音声の測定は出力1/2音声右/左を使用。96 kHz PCM音声は、デジタル音声出力（同軸または光）端子から48 kHzに変換されて出力されます。

入・出力端子

映像入力	入力1/LINE 2 IN（フロント）/入力3/デコーダー入力の3系統、 ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
映像出力	出力1/出力2の2系統、 ピンジャック、1.0 Vp-p/75 Ω
S映像入力	入力1/LINE 2 IN（フロント）/入力3/デコーダー入力の3系統、 4ピンミニDIN、 輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω 色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
S1映像出力	出力1/出力2の2系統、4ピンミニDIN 輝度信号：1.0 Vp-p/75 Ω 色信号：0.286 Vp-p/75 Ω
音声入力	入力1/LINE 2 IN（フロント）/入力3/デコーダー入力の3系統、 ピンジャック、入力レベル：2 Vrms（入力インピーダンス：22 kΩ以上）
音声出力	出力2系統、 ピンジャック、出力レベル：2 Vrms（負荷インピーダンス：10 kΩ）
デジタル音声出力	光：角型光ジャック1系統/-18 dBm（発光波長660 nm） 同軸：ピンジャック1系統/0.5 Vp-p/75 Ω
コンポーネント映像出力	ピンジャック/Y：1.0 Vp-p/75 Ω、 PB/CB：0.7 Vp-p/75 Ω、 PR/CR：0.7 Vp-p/75 Ω
D1/D2映像出力	D端子/Y：1.0 Vp-p/75 Ω、 PB/CB：0.7 Vp-p/75 Ω、 PR/CR：0.7 Vp-p/75 Ω
DV入力	i.LINK 4ピン S100 DV IN 1系統
ビットストリーム/検波	検波入力：ピンジャック、0.67 Vp-p/75 Ω 検波出力：ピンジャック、0.67 Vp-p/75 Ω ビットストリーム入力：ピンジャック、0.5 Vp-p/75 Ω ビットストリーム出力：ピンジャック、0.5 Vp-p/75 Ω

電源、その他

電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	53 W
許容動作温度	5 ℃～ 35 ℃
許容動作湿度	25 %～ 80 %
最大外形寸法	430 × 89 × 381 mm（幅×高さ×奥行き）最大突起含む
本体質量	約 5.7 kg
付属品	映像・音声コード（1） 電源コード（1） F型コネクター付き同軸ケーブル（1） リモコン（1） 単3形（R6）乾電池（2）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

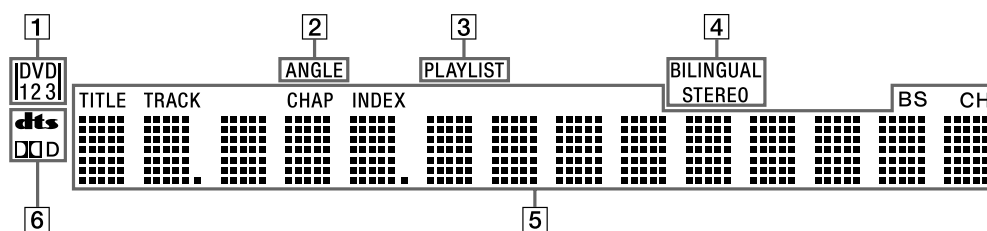
各部の説明は（　）内のページをご覧ください。

本体

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。
＊のボタンには凸（突起）がついています（CHANNEL＋/－ボタンは「＋」のみ）。操作の目印としてお使いください。

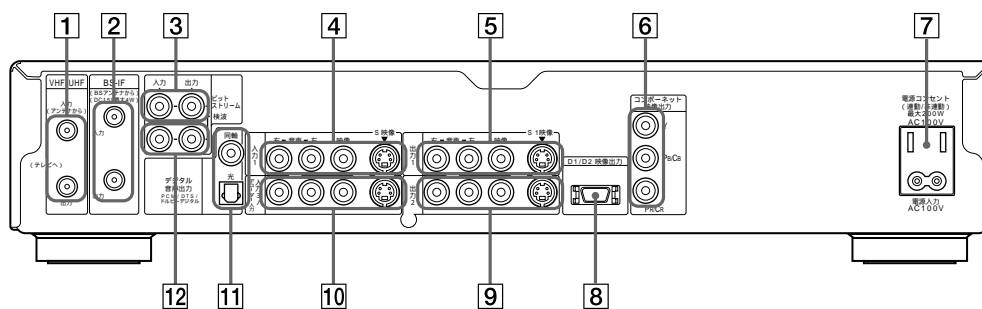
前面

1 I/⏻（電源）スイッチ/ランプ（18）
2 表示窓（52、109）
3 ディスクトレイ（26）
4 Ⓡ（リモコン受光部）（☞別冊「接続と準備」）
5 ディスク種類ランプ
6 ⏏（開/閉）ボタン（26）
7 ▷（再生）ボタン/ランプ（46）
8 ❚❚（一時停止）ボタン/ランプ（49）
9 ■（停止）ボタン（45）
10 REC●（録画）ボタン/ランプ（29）
11 REC PAUSE❚❚（録画一時停止）ボタン/ランプ（29）
12 REC STOP■（録画停止）ボタン（28）
13 SYNCHRO REC（シンクロ録画）ランプ（38）
TIMER REC（予約録画）ランプ（31）
FINALIZED（ファイナライズ済）ランプ（39）
PROGRESSIVEランプ（48）
14 ZOOM＋/－ボタン（12）
15 CUSOR MODEボタン（13）
16 TOOLSボタン（13）
17 ←/↑/↓/→/ENTER（決定）ボタン（14、15）
18 RETURN（戻る）ボタン（14）
19 SYSTEM MENUボタン（12）
20 ONE TOUCH DUB（ワンタッチダビング）ボタン（75）
21 REC MODE（録画モード）ボタン（29）
22 ⏮/⏭（前/次）ボタン（49）
23 CHANNEL＋/－ボタン*（29）
24 PROGRESSIVEボタン（48）
25 INPUT SELECT（入力切換）ボタン（29、88）
26 LINE2 IN 端子（87）
27 i DV IN端子（71）

本機表示窓

1 リモコンモード表示（☞別冊「接続と準備」）
2 ANGLE（アングル）表示（54）
3 PLAYLIST（プレイリスト）表示（13）
4 STEREO（ステレオ）/BILINGUAL（バイリンガル）（ステレオ/音声多重）表示（53）
5 以下のように表示します（52）
再生経過時間/残量時間表示
タイトル/チャプター/トラック/インデックス番号表示
録画時経過時間表示
現在時刻表示
BSチャンネル表示
チャンネル表示
6 音声信号表示（44）

ちょっと一言

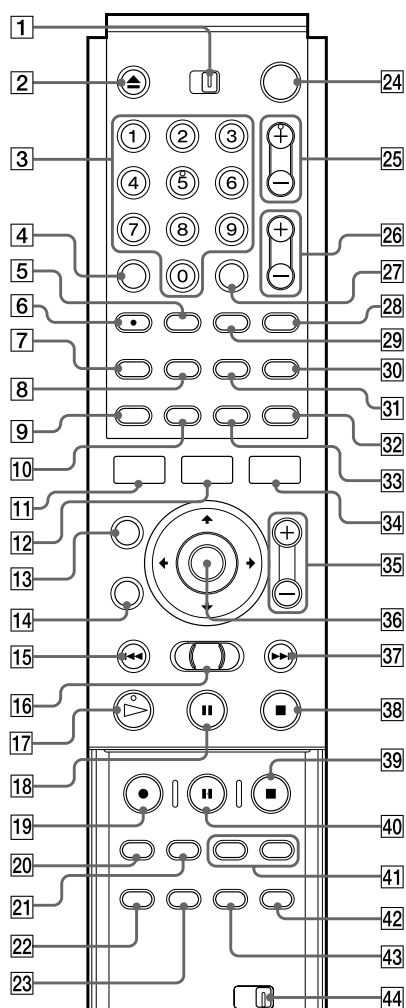
- 表示窓を消すことができます。セットアップ画面の「オプション」で「表示窓の明るさ」を「消灯」にしてください（☞96ページ）。

後面（各部の説明は、☞別冊「接続と準備」をご覧ください）

1 VHF/UHF 入/出力端子
2 BS-IF 入/出力端子
3 ビットストリーム 入/出力端子
4 入力1 音声右左/映像/S映像端子
5 出力1 音声右左/映像/S1映像端子
6 コンポーネント映像出力 Y、PB/CB、PR/CR 端子
7 電源コンセント/電源入力端子
8 D1/D2映像出力端子
9 出力2 音声右左/映像/S1映像端子
10 入力3/デコーダー入力 音声右左/映像/S映像端子
11 デジタル音声出力 同軸/光端子
12 検波 入/出力端子

次のページにつづく

各部のなまえ（つづき）

リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。
リモコンの上にオレンジ色の目印がついているボタンは、TV/DVDスイッチを「TV」に切り換えているときにテレビの操作にも使えます。

1 TV/DVDスイッチ（☞別冊「接続と準備」）
2 開/閉⏏ボタン（26）
3 数字ボタン*（50）
4 クリアボタン（50）
5 字幕ボタン（54）
6 音声ボタン*（53）
7 トップメニューボタン（48）
8 メニューボタン（48）
9 番組表ボタン（18）
10 番組説明ボタン（18）
11 システムメニューボタン（12）
12 タイトルリストボタン（12）
13 カーソルモードボタン（13）
14 戻るボタン（14）
15 ⏮（前）ボタン（49）
16 ジョグスティック◂❙◀◀/▶▶❙▸（サーチ）（47、49）
17 ▷（再生）ボタン*（46）
18 ❚❚（一時停止）ボタン（49）
19 録画●ボタン（29）
20 録画モードボタン（29）
21 シンクロ録画ボタン（38）
22 予約ボタン（32）
23 Gガイドボタン（19）
24 電源ボタン（18）
25 チャンネル＋/－ボタン*（29）
26 音量＋/－ボタン（☞別冊「接続と準備」）
27 確定ボタン（50）
28 入力切換ボタン（29）
29 画面表示ボタン（37、51）
30 ワイド切換ボタン（☞別冊「接続と準備」）
31 時間表示ボタン（52）
32 •➜（フラッシュ＋）ボタン（49）
33 ⬅•（フラッシュ－）ボタン（49）
34 ツールボタン（13）
35 ズーム＋/－ボタン（12）
36 ←/↑/↓/→/決定ボタン（14、15）
37 ⏭（次）ボタン（49）
38 ■（停止）ボタン（45）
39 録画停止■ボタン（28）
40 録画一時停止❚❚ボタン（29）
41 チャプターマーク書込み/消去ボタン（64）
42 サラウンドボタン（54）
43 アングルボタン（54）
44 リモコンモードスイッチ（☞別冊「接続と準備」）

* のボタンには凸（突起）がついています（数字ボタンは「5」のみ、チャンネル＋/－ボタンの「＋」のみ）。操作の目印としてお使いください。

用語解説

五十音順

ア行

インターレース（飛び越し走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方法。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっている。

カ行

ガイドチャンネル
ジェムスター社が各放送局に割り当てている識別番号。

サ行

受信チャンネル
本機が放送局を受信したときのチャンネル。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じ。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定される。

タ行

タイトル
DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたる。

チャプター
DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないディスクもある。

トラック
ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）。

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズの開発した音声の圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。映画館の立体音響システム「ドルビーデジタル」と同様の高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

ハ行

番組表（Gガイド）
テレビ画面上に表示される電子テレビ番組表の1つ。Gガイドとは特定の放送局から番組表データを送信するサービスのこと。本機では、地上波放送の電波と一緒に送信されている情報を受信して表示する。電波状況によって、番組表を受信できない場合がある。

ビットレート
DVDに圧縮して記録されている画像と音声の、1秒あたりの情報量を示す値。単位は画像の場合Mbps（Mega bit per second）で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000,000ビットであることを表す。音声の場合の単位はkbps（kilo bit per second）。この値が大きいほど情報量は多くなるが、必ずしも画質や音質とは直接関係しない。

ビデオ素材、フィルム素材
DVDの映像素材の種類。ビデオ素材はテレビドラマやテレビアニメーションやコンサートなどの音楽番組（1秒30フレーム、60フィールド）をDVDに記録したもの。フィルム素材とは映画フィルム（1秒24コマ）をDVDに記録したもの。

表示チャンネル
本機で放送局を選ぶとき表示されるチャンネル。変更することもできる。

プログレッシブ（順次走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方法。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対して、はじめから1秒を60フレームで構成するなどで高品質な映像を再現できる。

次のページにつづく

用語解説（つづき）

アルファベット順

CATV
　契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送のこと。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができる。
　CATVはCable Television（ケーブル・テレビジョン）の略。

D映像信号
　D端子付きデジタルテレビと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。
　D端子には対応する信号フォーマットによってD1、D2、D3、D4端子がある。
- D1端子：525i（480i）の信号
- D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号
- D3端子：525i（480i）と525p（480p）と1125i（1080i）の信号
- D4端子：525i（480i）と525p（480p）と1125i（1080i）と750p（720p）の信号

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DTS
　デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声をマルチチャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

G**コード**
　一部の新聞や雑誌のテレビ欄で、各番組の末尾にのっている番組を予約するための番号。

GB
　ギガバイトと読む。ディスクの容量を表す単位で、数値が大きいほど大容量となる。

言語コード一覧表

詳しくは、95ページをご覧ください。

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Byelorussian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali; Bangla
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua

コード	言語
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic
1299	Cambodian
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian
1332	Lithuanian
1334	Latvian; Lettish
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	(Afan)Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance

コード	言語
1482	Kirundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho
1502	Serbo-Croatian
1503	Singhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati
1514	Sesotho
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana
1535	Tonga
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

言語名表記はISO639:1988（E/F）に準拠

索引

「　」内は画面に表示される用語です。

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

ヤ行

ラ行

ワ行

アルファベット/数字順

その他

ディスク早見表

◎：適しています。
○：使用できます。
△：機能によって制限があります。
×：使用できません。

本機をお使いいただくときに、以下を参考にして、ディスク（DVD-RまたはDVD+RW、DVD-RW）や記録フォーマット（DVD-RWディスクのVRモードやビデオモード）を選んでください。それぞれのディスクは6時間まで録画することができます。

使用用途	-RW VR	-RW VIDEO	+RW	-R
テレビ番組を録画する	◎	◎	◎	○
不要な録画を消去して、繰り返し使用する	◎	○	○	×
録画した内容をディスク上で編集する	◎	△	△	△
接続した機器からの録画や編集をする	◎	◎	◎	◎
録画したディスクの配布	○ *1	◎	◎	◎
他のDVD機器で再生	○ *1	◎	◎	◎

主な機能	-RW VR	-RW VIDEO	+RW	-R
録画				
上書き可能（Rewritable）	○	○	○	×
自動的に一定間隔でチャプターを作る	○	○	○	○
手動で好きな場所にチャプターを作る	○	×	×	×
「1回だけ録画可能」の番組を録画する	○	×	×	×
音声多重放送の番組を両音声（主/副）とも記録する	○	×	×	×
16：9（ワイド）画面で録画する	○	○*2	×	○*2
編集				
基本的な編集をする	○	○	○	○*3
多彩な編集を楽しむ（プレイリストでの編集）	○	×	×	×
DV編集				
ワンタッチダビング	○	○	○	○
プログラムダビング	○	○	○	○
ディスク編集ダビング	○	○*4	○*4	○*4
シーン検出自動チャプター	○	×	×	×
他のDVD機器との互換性				
ファイナライズ操作しなくても再生可能	○*5	×	○*5	×
タイトルメニュー（DVDメニュー）の作成	×	○	○	○

*1 VRモード対応のDVD機器のみDVD-RWのVRモードは再生できます。
*2 録画モードがSPまたはHSP、HQで、「録画画像サイズ」が「16：9」に設定のときのみ
*3 タイトルを消去してもディスクに空きはできません。
*4 もう1枚何も録画されていないDVD-RWディスクが必要です。
*5 再生するDVD機器によっては、ファイナライズしないと使用できないことがあります。

ご注意

• 上の機能や制限などは、本書をご確認の上ご使用ください。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35	お問い合わせはお客様ご相談センターへ ●ナビダイヤル：0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます） ●携帯電話・PHSでのご利用は：03-5448-3311 ●Fax：0466-31-2595 受付時間：月〜金 9:00〜20:00、土・日・祝日 9:00〜17:00

Sony Corporation Printed in Japan

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。